FUNAI

地上・BS・110度CSデジタル
# ハイビジョン液晶テレビ

## 取扱説明書


はじめに 2
接続とかんたん一括設定 24
視聴する 50
視聴予約する 79
録画する 87
再生する 98
消去する 103
外部機器を使う 105
各種設定 124
さまざまな情報 170


型番
FL-65UP5000
FL-55UP5000
FL-49UP5000
FL-65UD4100
FL-55UD4100
FL-49UD4100
FL-43UB4000

HDMI HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE
G-GUIDE

# もくじ



## はじめに


もくじ…… 2
安全のために必ずお守りください…… 6
ご使用上のお願い…… 11
ご使用の前に…… 14
- 本書について …… 14
- 本書で使用するマークの意味 …… 14

各部のなまえとはたらき…… 16
- 本機前面／側面／背面（FL-65UP5000／FL-55UP5000／FL-49UP5000） …… 16
- 本機前面／側面／背面（FL-65UD4100／FL-55UD4100／FL-49UD4100） …… 18
- 本機前面／側面／背面（FL-43UB4000） …… 20
- リモコン …… 22


## 接続とかんたん一括設定


準備の流れ…… 24
- 準備1 ▶ 付属品の確認 …… 25
- 準備2 ▶ リモコンの準備 …… 25
- 準備3 ▶ スタンドを取り付ける …… 26
- 準備4 ▶ miniB-CASカードを入れる …… 34
- 準備5 ▶ アンテナをつなぐ …… 36
- 準備6 ▶ 電源を入れる …… 42
- 準備7 ▶ 「かんたん一括設定」をする …… 43


## 視聴する


デジタル放送を見る…… 50
- デジタル放送を見る（地上・BS・110度CSデジタル） …… 50
- データ放送を見る …… 52
- 他の機器の映像を見る（入力切換） …… 53
- 音声を切り換える …… 54
- 自動的に電源を切る（おやすみタイマー） …… 54
- 自動的に電源を入れる（オンタイマー） …… 54
- 画面表示を確認する …… 56
- 現在時刻を表示する …… 57
- 字幕を出す …… 57
- ECOモードにする …… 57
- 画面モードを選ぶ …… 58

番組表を見る…… 60
- 番組表を表示する／消す …… 60
- 番組表を使う …… 61
- 番組表の表示／受信について …… 64

見たい番組を探す（番組検索／ジャンル・出演者） …… 65
注目番組一覧を表示する…… 67
番組のくわしい情報（番組内容）を見る …… 68
「ネットワーク」で動画を楽しむ…… 70
- 「ネットワーク」を利用するために必要な接続と設定 …… 70
- 利用するサービスを選んで専用画面を表示する …… 70

テレビを使いこなす…… 72
- ホームメニュー機能の使いかた …… 72

## 視聴する


- 映像切換(チャンネル内の映像を切り換える) …… 74
- ヘッドホン音量(ヘッドホンから出力される音量を調節する) …… 75
- 静止画(画面を静止させる) …… 75
- 本機や放送局からのお知らせを読む …… 76
- CSボード(110度CSデジタル放送からのお知らせ)を読む …… 77
- miniB-CASカード情報を確認する …… 78


## 視聴予約する


**視聴予約について…… 79**

**番組表や番組検索から視聴予約する…… 80**

**時間を指定して視聴予約する(時刻指定予約) …… 82**

**予約を確認する／取り消す…… 84**


## 録画する


**録画する…… 87**
- ワンタッチ録画をする …… 87

**録画予約をする…… 88**
- 番組予約録画をする …… 88
- 時刻を指定して録画予約する(時刻指定予約) …… 90
- 予約を確認する／修正する／取り消す …… 92

**録画についての補足説明…… 94**
- 録画番組の構成について …… 94
- およその録画時間(目安) …… 94
- 録画の種類 …… 94
- 同時操作 …… 94
- 録画についての制限事項 …… 94
- 予約についての制限事項 …… 95
- 予約をしたときの本機の動き …… 95
- 予約が重なった場合 …… 95
- 複数の録画予約の優先順位 …… 95
- 録画予約が実行されない条件 …… 95
- HDDについて …… 96
- USB-HDDについて …… 96
- USB機器について …… 97
- 番組･チャプター･ファイル･フォルダについて …… 97


## 再生する


**録画した番組を見る(再生する) …… 98**
- いろいろな見かた …… 99
- 番組を保護する･保護を解除する …… 101
- 番組をハードディスク間で移動する …… 102


## 消去する


**番組を消去･全消去する …… 103**
- 番組を消去する …… 103
- 番組を全消去する …… 104


## 外部機器を使う


**ホームネットワーク上の機器やUSBメモリーの写真や動画を見る…… 105**
- 写真や動画を表示する …… 105
- 写真を見る …… 107
- 写真をスライドショーで見る …… 108
- 動画を見る …… 108

**HDMI-CEC対応機器を操作する …… 110**
- HDMI-CEC対応機器の操作のしかた …… 110

## 外部機器を使う


- HDMI-CEC対応アンプの音量を調節する …… 111
- 接続機器の電源を切る …… 111
- 接続機器に連動して本機の電源を入れる …… 112
- デジタル放送を一発録画で録る …… 112

**USB-HDDを接続・設定する …… 114**
- USB-HDDってどんな機器？ …… 114
- SeeQVault-HDDってどんな機器？ …… 114
- USB-HDDをつなぐ前に …… 114
- USB-HDDをつなぐ …… 115
- SeeQVault-HDDを初期化する（SeeQVault用として他機でも使用する） …… 118
- SeeQVault-HDDを取りはずす …… 118

**USB-HDDを通常録画用として登録する …… 119**

**HDD/USB-HDDの登録名を変更する …… 121**
- HDDの登録名を変更する …… 121
- USB-HDD／SeeQVault-HDDの登録名を変更する …… 122

**登録を解除する …… 123**
- USB-HDDの登録を解除する …… 123


## 各種設定


**画質設定をする …… 124**
- 画質設定の表示のしかた …… 124
- 映像モードを切り換える …… 125
- 明るさ調整を設定する …… 125
- 明暗調整を設定する …… 126
- 精細感調整を設定する …… 126
- 色彩調整を設定する …… 127
- 倍速駆動を設定する …… 127
- フィルムモードを設定する …… 128
- PCモードを設定する …… 128

**音声設定をする …… 129**
- 音声設定の表示のしかた …… 129
- 音声モードを切り換える …… 130
- 詳細調整を設定する …… 131
- デジタル音声出力を設定する …… 132
- スピーカー出力を設定する …… 132
- ヘッドホン／音声出力設定を設定する …… 133

**省エネ設定をする …… 134**
- 省エネ設定の表示のしかた …… 134
- 省エネ設定の各項目を設定する …… 135

**制限設定をする …… 136**
- 制限設定の表示のしかた …… 136
- 暗証番号を登録して視聴年齢制限を設定する …… 136

**リンク設定をする …… 140**
- HDMI-CECの設定をする …… 140

**ネットワークを接続・設定する …… 141**
- LANケーブルを使って接続する …… 141
- 無線LANを使って接続する …… 142

**ネットワークの設定をする …… 144**
- ネットワーク設定の表示のしかた …… 144
- ネットワーク接続方法を設定する …… 144
- 無線LANでの接続設定をする …… 145

## 各種設定


- IPアドレス／DNS設定をする …… 146
- ネットワーク接続テストを行う …… 149
- ネットワーク状態を表示する …… 149
- ネットアプリの利用規約を表示する …… 150
- ネットワーク経由で電源オンを設定する …… 150
- 機器連携設定をする …… 151

**放送受信設定をする …… 152**

- かんたん一括設定で再設定する …… 152
- 地上デジタル放送のチャンネル設定をする …… 153
- 数字ボタンのチャンネルを追加･変更する …… 155
- チャンネルの飛び越し(スキップ)を設定する …… 156
- デジタル放送の受信状態を確認する …… 157
- 文字スーパーを設定する …… 159
- 居住地域と郵便番号を設定する …… 159
- 番組表(Gガイド)の設定をする …… 160

**その他の設定をする …… 162**

- その他の設定の表示のしかた …… 162
- HDMI入力信号を設定する …… 162
- 電源LED …… 163
- クイック起動を設定する …… 163
- テレビの設置を設定する …… 164
- ビデオ画面自動切換の設定をする …… 164
- 緊急警報放送の受信を設定する …… 165
- 放送波による自動更新の設定をする …… 165
- メモリ切換を設定する …… 166

**設定を初期化する …… 167**

- 一部の設定を初期化する …… 167
- すべての情報を初期化する …… 167
- ネットワークによるソフトウェアの更新を行う …… 169
- 本機の情報を確認する …… 169


## さまざまな情報


**各メディアに関するその他のお知らせ …… 170**

- 本機で再生／取り込みできる動画ファイルについて …… 170
- 本機で再生できるJPEG ファイルについて …… 170

**miniB-CASカードについて …… 171**

**デジタル放送について …… 172**

**仕様 …… 173**

**保証とアフターサービス …… 175**

**症状診断シート …… 176**

**困ったときは …… 177**

- よくあるご質問 …… 177

**メッセージ表示一覧 …… 182**

**お手入れのしかた …… 183**

**アイコン一覧 …… 184**

**用語の説明 …… 185**

**無線LANを使う際のお願い …… 189**

**著作権などについて …… 191**

**さくいん …… 193**

**壁掛けユニット取り付け時について …… 194**

# 安全のために必ずお守りください

**この製品を正しく安全にお使いいただくために、次の事項に注意してください。**

## ■ 絵表示について

- この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
- 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

| | | | |
|---|---|---|---|
| ⚠警告 | 誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性があるもの | ⚠注意 | 誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結び付く可能性があるもの |

- 絵表示の例

● 記号は必ず行っていただきたい行為を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと）が描かれています。

⃠ 記号は禁止の行為であることを示しています。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

△ 記号は注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

- 絵表示の意味

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 必ず指示に従い、行ってください。 | | 絶対に濡れた手で触れないでください。 |
| | 絶対に分解／修理はしないでください。 | | 破裂に注意してください。 |
| | 絶対に濡らさないでください。 | | 絶対に行わないでください。 |
| | 高温に注意してください。 | | 絶対に水場では使用しないでください。 |
| | 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 | | 注意してください。 |
| | 絶対に触れないでください。 | | |

**※ この取扱説明書のイラストや画面はイメージであり、実際とは異なる場合があります。**

## 家庭用品品質表示法に基づく表示

### 使用上のご注意

- 内部の温度が上昇しますので、設置の際は通気のために製品の周囲に間隔をおいてください。
- 温度の高い場所や湿気の多い場所で使用しないでください。
- 感電の危険があるため、裏ぶたを開けないでください。
- ちり、ほこりをとるため内部を掃除するときは、お買い上げの販売店、電気店などにご相談ください。

表示者　大阪府大東市中垣内7丁目7番1号　船井電機株式会社

## ■ 眼精疲労について

- 長時間液晶テレビの映像を見続けると、目に疲労が蓄積されます。

## ■ 本液晶テレビの廃棄

- 事業者が廃棄する場合
  本液晶テレビを廃棄するときには産業廃棄物管理票（マニフェスト）の発行が義務づけられています。くわしくは各都道府県産業資源循環協会にお問い合わせください。産業廃棄物管理票は、（公社）全国産業資源循環連合会に用意されています。
- 個人が廃棄する場合
  本機を廃棄されるときは「**すべての初期化**」を行う必要があります。くわしくは P.167 をご覧ください。

## ■ ご注意

- **本機の近くで携帯電話およびPHSなどを使用すると、テレビ画面や音声にノイズが入ることがあります。この現象は本機の故障ではありません。携帯電話およびPHSなどを使用するときは、本機から離れた場所でご使用ください。**
- ビデオの近くに本機を置いた場合は、映像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一このような状況が生じた場合は、ビデオと本機を離してください。

## ⚠警告

## ■ ご使用になるとき

**本機をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かない**

禁止

- 落ちたり、倒れたりして、けがの原因となるため注意してください。

**本機の上に水などの入った容器や金属物、ろうそくを置かない（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）**

水漏れ禁止

- こぼれて本機の内部に入った場合は、火災・感電の原因となります。

**本機を水でぬらさない**
**水滴のかかる場所に置かない**

水濡れ禁止

水場での使用禁止

- 海岸・水場や雨天・降雪時の窓辺での使用や設置に注意してください。
- 風呂場では使用しないでください。
- 内部に水が入ると、火災・感電・故障につながります。

**本機を改造または分解しない**

改造・分解禁止

- キャビネットを分解したり、カバーや裏ぶたをはずしたりしないでください。感電の原因となります。
- 内部の点検・調整・修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

**アンテナは送配電線から離れた場所に設置する**

注意

- 倒れた場合は、感電事故の原因となります。

**本機にダストスプレー（エアダスター）を使用しない**

禁止

- 製品内部にガスが溜まった場合は、引火し爆発する恐れがあります。

**miniB-CASカードは乳幼児の手の届くところに放置しない**

放置禁止

- miniB-CASカードを台紙から取り出したら、ただちにminiB-CASカード挿入口に挿し込んでください。
- 万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

## ■ 電池の取り扱い

**乾電池を使用する場合は、被覆がやぶれたり、はがれたりしていないものを使用する**

禁止

- 乾電池そのものがショートし、やけどする危険があります。

**電池は乳幼児の手の届くところに置かない**

注意

- 万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

## ■ 電源コード・プラグの取り扱い

**電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントを使用してください。**
**通電を遮断するには、電源プラグを抜いてください。**

交流100V

**本機を指定(表示)された電源電圧(交流100V)以外で使用しない**

- 指定(表示)以外で使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
- 接続する前に指定の電源電圧に適合しているかもう一度確かめてください。

ほこりをとる

**電源プラグのほこりなどはとる**

- 絶縁不良となり、火災・感電の原因となります。
- ほこりをとる際は、かわいた布でふいてください。

接触禁止

**雷が鳴りだしたらアンテナ線や電源プラグに触れない**

- 落雷すると感電することがあります。

禁止

**濡れた手で電源プラグを抜き挿ししたり、水や液体をかけたりしない**

- 水は電気を通すため、感電の恐れがあります。
- 必ずかわいた手で持ってください。

禁止

**電源コードを正しく使用する**

- 束ねない
- 延長・タコ足配線しない
- 固定しない

- 束ねての使用やステップルなどで固定すると内部の電線が切れ発熱し焼損・発火の原因となります。
- タコ足配線すると発熱し、火災・故障の原因となります。

禁止

**電源コードを傷つけない**

- 破損させない
- 加熱しない
- 引っぱらない
- 加工しない
- 切断しない
- ねじらない
- 曲げない
- 重いものをのせない

- そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

禁止

**電源は、必要に応じてブレーカやヒューズを設置した専用回路からとる**

- 発火の原因になります。

禁止

**電源プラグは確実に挿し込み、抜き挿しが弱くなったものは使用しない**

- 不完全な挿し込みは接触不良となり発熱・火災・感電の原因となります。
- 時々点検をしてください。

禁止

**本機の開口部(通風孔など)から内部に金属類や燃えやすいものなどを挿し込まない**

- 火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止

**電源プラグやコードは温度や湿度の高いところ(こたつの中やサウナなど)で使用しない**

- 感電・火災の原因となります。

注意

**電源プラグやコードは乳幼児が触れたり、手が届いたりするところに放置しない**

- 感電の原因となります。

注意

**電源コードを動かすと電源が入ったり、切れたりするときや、コードが部分的に熱いときは使用しない**

- コード内部の電線が切れているため、使用すると感電・火災の原因となります。

使用禁止

プラグを抜く

**本機内部に水や異物が入ったときは使うのをやめ、電源プラグをコンセントから抜く**

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店にご相談ください。
- 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

## ■ 異常が発生したとき(電源プラグを抜く)

使用禁止

プラグを抜く

**本機や電源コードが異常なとき(煙が出ている、異常に熱い、変なにおいがする)は使うのをやめ電源プラグをコンセントから抜く**

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。
お客様による修理は危険ですからお買い上げの販売店にご相談ください。

使用禁止

プラグを抜く

**本機を落としたり、キャビネットを破損したりした場合は、電源プラグをコンセントから抜く**

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご相談ください。

注意

プラグを抜く

**画面が映らない、音声が出ないなどの故障状態のときは電源プラグをコンセントから抜く**

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご相談ください。

注意

プラグを抜く

**電源プラグやコードが傷んでいる場合（刃の曲がり、プラグカバーの傷み、心線の露出、断線など）は電源プラグをコンセントから抜く**

- そのまま使うと火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご相談ください。

## ⚠注意

## ■ 設置・移動するとき

塩害注意

**海水や塩害に注意**

- 海辺にお住まいの方は窓からの海水や塩害に注意してください。

使用禁止

**本機を車の中で使用しない**
**自動車内に放置しない**

- 本機は車載用ではありません。
- 車載で使用した場合は、車特有のノイズをひろい、音声や画像が乱れます。
- 窓を閉めきった自動車内では、夏場は高温になり、キャビネットが変形し、発火・発煙事故の恐れがあります。また冬場や雨期には結露が発生し、本機の故障の原因となります。
- お車に付いているACコンセントや市販されている車載用インバータなどを使って本機を使用しないでください。

設置禁止

**本機を次のような場所に置かない**

- 湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湯気が当たる場所
- 熱器具の近く
- 直射日光の当たる場所
- 押し入れや本棚など風通しの悪い場所
- 閉めきった自動車内など高温になるところ

- 発熱による変形や火災・感電・故障の原因となります。

禁止

**本機の上に乗ったり、ぶらさがったりしない**

- バランスがくずれて倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。
- 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止

**本機を持ち運ぶとき振動や衝撃をあたえない**

- 故障の原因となることがあります。

禁止

**本機の通風孔をふさがない**

- 風通しの悪い狭い場所に置かない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- テーブルクロスなどをかけない
- 本機の設置は、上面30 cm 以上、背面20 cm以上、左右10 cm以上の間隔をおく

- 内部に熱がこもり火災の原因になります。

禁止

**本機をキャスター付きテレビ台に設置する場合には、キャスター止めをする**

- 動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

注意

**アンテナ工事は専門業者にお願いする**

- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店にご相談ください。

正しく設置する

**安定した場所に設置する**

- 本機は安定した場所に設置してください。転倒し、けがの原因となることがあります。

## ■ 電源コード・プラグの取り扱い

プラグを抜く

**お手入れの際、電源プラグをコンセントから抜く**

- 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

プラグを抜く

**次のような場合は、電源プラグをコンセントから抜いておく**
- **長期間使わないとき**
- **旅行をするとき**

- 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

プラグを抜く

**本機を移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線や外部の接続線もはずす**

- そのまま移動するとコードに傷がつき火災・感電の原因となります。

禁止

**電源コードを引っ張らない**

- 電源プラグを抜くとき、電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となります。
- 必ず電源プラグを持って抜いてください。

禁止

**電源コードを引き回さない**

- 戸を介して別の部屋へ引き回さないでください。コード内部の電線が切れて焼損や火災の原因となります。

禁止

**電源プラグに洗剤や殺虫剤をかけない**

- 発煙・発火の原因となります。

高温注意

**電源コードを熱器具に近付けない**

- コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

## ■ ご使用になるときのご注意


掃除

**年に1度を目安に本機内部の掃除を依頼する**

- 内部にほこりがたまったまま使用すると火災や故障の原因となることがあります。
- 内部の掃除やその費用については、お買い上げの販売店にご相談ください。


禁止

**液晶パネルの破損**

- 液晶パネルはガラスでできています。液晶パネルが破損したとき、ガラスの破片には直接触れないでください。けがをする恐れがあります。

## ■ 電池の取り扱いについてのご注意


正しく入れる

**乾電池は正しく挿入する**

- プラス(+)とマイナス(ー)の向きを正しく入れる
- 誤って挿入すると破裂・液漏れによりけがや周囲を汚損する原因となることがあります。


使用禁止

**指定されていない電池を使用しない**

- 破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。


使用禁止

**新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない**

- 破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。


破裂注意

**乾電池の取り扱いに注意**
- **ショートさせない**
- **分解・加熱をしない**
- **火の中に投入しない**
- **日光や火などの過度の熱にさらさない**

- 破裂する危険があります。

# ご使用上のお願い



## 置き場所や取り扱い

■ソフトウェアのダウンロード中に本機の電源コードを抜いたり、停電が発生したりした場合は、本機が使用できなくなります。
■本機をレコーダーなどの近くに置くと、映像や音声が乱れるなど、故障の原因となることがあります。
■ほかの機器と近付けすぎると、機器がお互いに悪影響を与えることがあります。また、本機の近くで携帯電話やPHSを使用すると、映像や音声にノイズが入ることがありますので、本機からできるだけ離してご使用ください。
■本機を移動する場合は、あらかじめ外部接続機器（外付けハードディスクなど）を取りはずした状態で行ってください。
■磁石や強い磁気を帯びたものを近づけると、映像や音声に悪影響を与えたり、記録が損なわれたりすることがあります。
■本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください。本機の受信周波数帯域（VHF：90～222MHz、UHF：470～770MHz、BS：1032MHz～1336MHz、CS：1595MHz～2071MHz）に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。
■タテ置きでのご使用は故障の原因となることがありますので、お止めください。
■キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにすると、変質したり塗装がはがれたりするなどの原因となります。
■ワックスのかかった床などに直接置くと、本機底面のすべり止め用ゴムと床材の密着性が上がり、床材のはがれや着色の原因となることがあります。
■長期間ご使用にならないときは液漏れを防ぐため、リモコンの乾電池を取り出しておいてください。また、外部接続機器がつながっている場合は本機から取りはずし、電源を切っておいてください。
※長期間ご使用にならない場合も、ときどき電源を入れて作動させてください。ソフトウェアの更新がある場合に更新されなかったり、機能に支障をきたしたりして、本機が正しく作動しない場合があります。
■本機は日本国内専用です。海外では使用できません。また、海外での修理対応もできません。(This unit is designed for use in Japan only. No servicing is available outside of Japan.)
■車載での使用はしないでください。
■本機の内部にほこりが溜まらないように、設置場所の定期清掃を行ってください。ほこりが溜まると故障の原因となる場合があります。

## アンテナについて

■妨害電波をさけるために、電線や道路などからなるべく離してください。
■風雨にさらされているので、定期的に点検・交換することをおすすめします。
■アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

## お手入れについて

■キャビネットや液晶パネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。
■汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってからふき取り、最後にかわいた布でからぶきしてください。中性洗剤をご使用の際は、その注意書をよくお読みください。
■シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。傷んだり、塗料がはがれたりすることがあります。
■化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

## 修理について

■**本機が動作しなくなった場合は、ご自分で分解や修理をしないでください。**
電源プラグを抜き、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口へご相談ください。

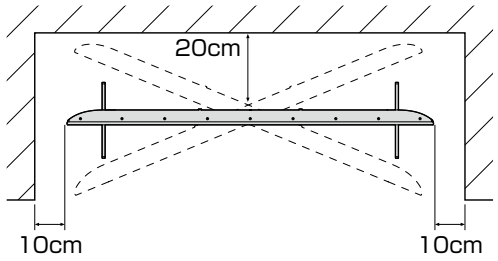
# ご使用上のお願い（つづき）

**天候不良によっては、**
**画質、音質が悪くなる場合があります**

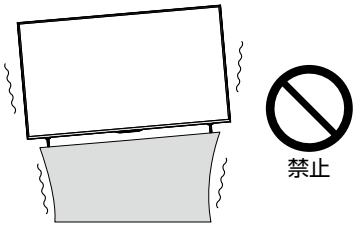
衛星デジタル放送の場合は、雨の影響により衛星からの電波が弱くなっているときは、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えます。（降雨対応放送が行われている場合）降雨対応放送に切り換わったときは、画面にメッセージが表示されます。
降雨対応放送では、画質や音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合があります。

## 本機の設置についてのお願い

- 最低限、下図のスペースを設けてください。




- 不安定な場所に置かないでください。
台の上に設置するときは、平坦ですべりにくい、本機の外形より大きい、変形しない台の上に置いてください。




**ご注意**

- 傾斜面や、水平でない面、カーペットなどの軟らかい面への設置をさけてください。
- 本機の下へ物をはさまないでください。

## 転倒防止についてのお願い

**ご注意**

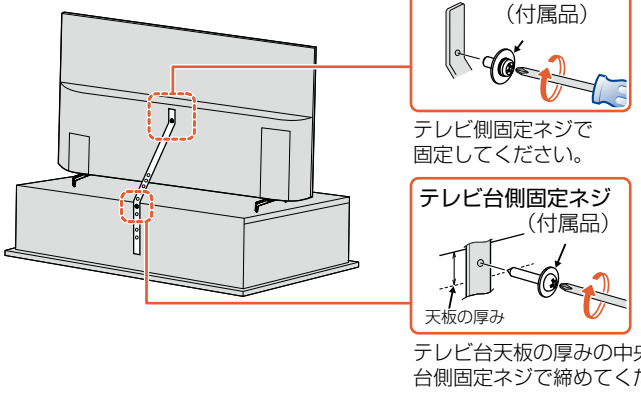
- 衝撃などで本機が転倒すると、けがの原因になることがあります。ご家庭での安全確保のために、置く場所が決まったら以下の処置をお願いします。以下の処置内容は、振動や衝撃での製品の転倒、落下によるけがなどの危害を軽減するためのものですが、すべての地震などに対してその効果を保証するものではありません。

### テレビ台や家具などへの固定

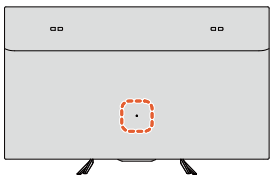
お使いのテレビ台や家具が木製の場合は、下図の通り、付属の転倒防止バンドをテレビ側固定ネジで本機に取り付けた後、テレビ台側固定ネジでお使いのテレビ台や家具に固定してください。

また、スチール製やガラス製など、テレビ台や家具に転倒防止バンドで固定できないときや、強度が十分でないときは、お買い上げの販売店や工事店までご相談ください。

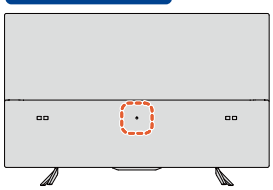
**FL-65UP5000** **FL-55UP5000** **FL-49UP5000** 本機背面




**FL-65UD4100** **FL-55UD4100** **FL-49UD4100** 本機背面



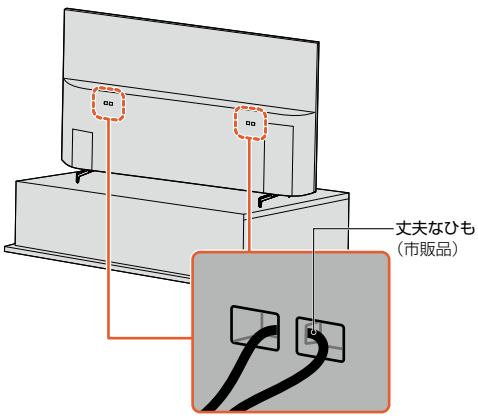
**FL-43UB4000** 本機背面



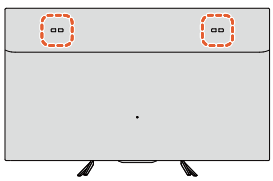
### 壁や柱などの安定した場所への固定

図のように、本機を壁や柱などの安定した場所に本機の重さに耐えられる丈夫なひも（市販品）で確実に取り付けてください。

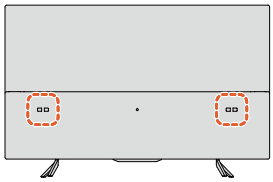
**FL-65UP5000** **FL-55UP5000** **FL-49UP5000** 本機背面

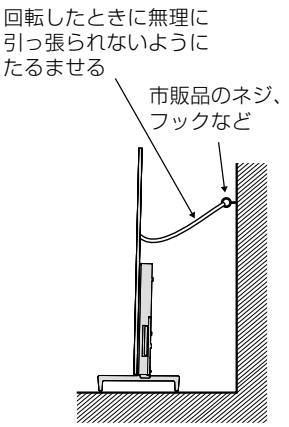



**FL-65UD4100** **FL-55UD4100** **FL-49UD4100** 本機背面



**FL-43UB4000** 本機背面






**ご注意**

- 再び移動させるときはネジやひもをはずしてから行ってください。
- ネジ、ひもなどの取り付けは確実に行ってください。

# ご使用の前に



## 本書について

■本書の操作説明は、リモコンでの操作を中心に説明しています。
■「本機」とは「お使いのテレビ」のことを、「他機」とは「本機以外の機器」のことを表します。
■本機や本機の操作画面などで「外付けハードディスク」を「USB-HDD」と表現していることがあります。
■画面表示の細部や説明文、表現、ガイド、メッセージの表示位置などは、本書と製品で異なることがあります。
■本書では、「アプリケーション」を省略して「アプリ」と表現している場合があります。
■本書で例として記載している各画面の内容やキーワードなどは説明用です。
■本書の説明には専門的な用語を使用している場合があります。
用語については、「用語の説明」P.185をご覧ください。
■本機の動作状態によっては、実行できない操作をしたときに画面にメッセージや⃠が表示される場合があります。
本書では、画面にメッセージが表示される操作制限についての説明は省略している場合があります。
■製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、本機背面の製造番号と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。
■本書で使用している本機のイラストは、一部をのぞきFL-65UP5000です。

## 本書で使用するマークの意味

| マーク | 説明 |
|---|---|
| ご注意 | 取扱上のご注意を記載しています。 |
| お知らせ | 機能などの補足説明、参考にしていただきたいこと、制限事項などを記載しています。 |
| P.1 | 関連する内容が記載されている本書のページ番号を記載しています。 |
| ホーム からでも 操作OK!! | ホームを押しても基本の手順と同じ操作や設定などが行えます。 |
| ➡ | 決定や▶などで選択すること、または次の動作に移行する場合に記載しています。 |

### メディアや方式を表すマーク

| | |
|---|---|
| HDD | 内蔵ハードディスク |
| USB-HDD | 外付けハードディスク |
| SeeQVault -HDD | SeeQVault対応外付けハードディスク |

## リモコンについて

**「アルカリ乾電池ご使用時の注意」**

アルカリ乾電池は、外枠がプラス極になっているために、リモコンのマイナス極バネが乾電池のマイナス極と被覆（外枠の被覆がはがれている場合）に同時に接触した場合は、乾電池そのものがショート（短絡）状態になり、ショートした部分が発熱し、やけどする危険があります。アルカリ乾電池をご使用になる場合は、被覆がやぶれたり、はがれたりしていないものをご使用ください。

- 乾電池ご使用の際は、新しい乾電池と古い乾電池や異なる種類の乾電池（アルカリ乾電池とマンガン乾電池など）を混ぜずに、同一メーカー・同一型番のものを同時にご使用ください。違う乾電池を混ぜると、それぞれの乾電池の性能が違うため、発熱、破裂、発火の原因となりますのでご注意ください。
- 乾電池が完全に入らない状態で使うと乾電池が発熱し、やけどや故障の原因となることがあります。
- 乾電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池の単４形乾電池（1.5 V 2 本）をお使いください。
- オキシライド乾電池（ZR6）、エボルタ乾電池（LR6）などは、リモコン誤動作の原因となりますので、使用しないでください。
- 長期間使用しないときは、リモコンから乾電池を取り出してください。
- 以下の場合は乾電池が消耗しています。すべての乾電池を新しいものに交換してください。（付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換することをおすすめします。）
  - リモコンの使用距離が短くなってきたときや、一部のボタンを押しても動作しなくなってきたとき。
- 不要となった乾電池は、お住まいの地域の条例に従って処理してください。
- Wake-on-LANに対応した機器から本機を操作する場合やFUNAI Connectアプリで本機のリモコン操作をする場合は、操作結果を確認できるように本機が見える位置から操作してください。

### ▷リモコンが効かない場合について

- 乾電池が消耗している可能性があります。乾電池を交換してください。P.25

### ▷リモコンの使用範囲について

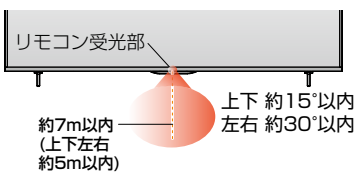
リモコンは、本機のリモコン受光部に向けて使用してください。

距離…本機正面から 7m以内

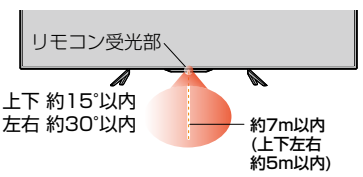
角度…本機正面から 上下約 15° 以内（5m以内）
左右約 30° 以内（5m以内）

- リモコン受光部に強い光が当たっていると、リモコンが動作しないことがあります。

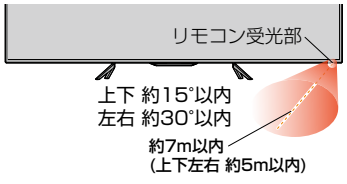
FL-65UP5000 FL-55UP5000 FL-49UP5000



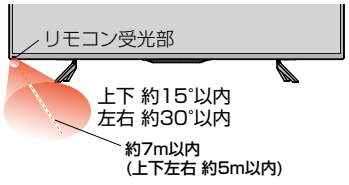

FL-65UD4100




FL-55UD4100 FL-49UD4100




FL-43UB4000



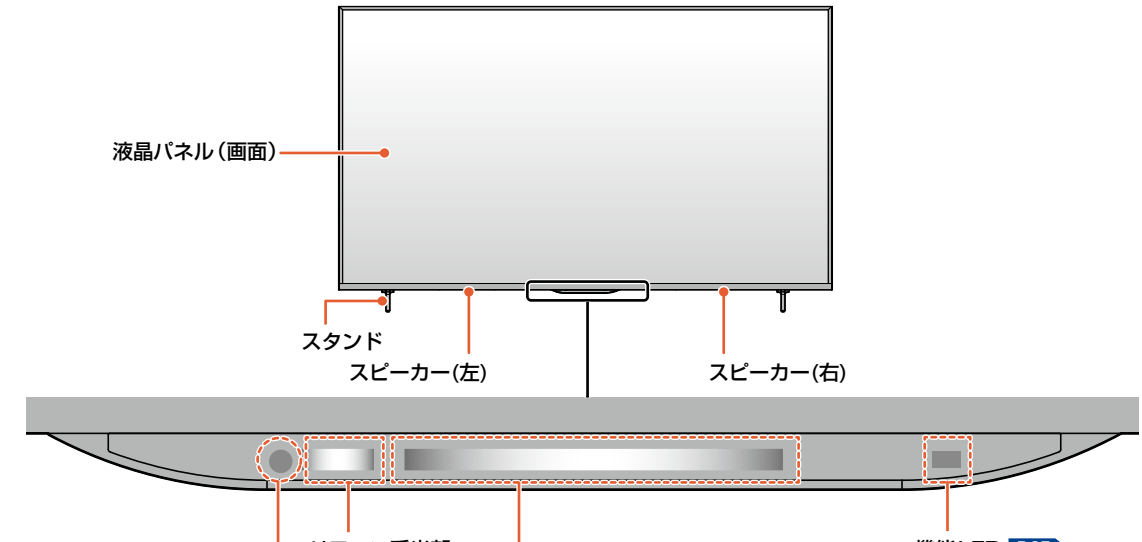

### ▷リモコンの取扱い

- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 直射日光の当たるところや高温になる場所、湿度の高い場所に置かないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置いたりしないでください。
- ベンジン、シンナーなど揮発性の液体でふかないでください。

# 各部のなまえとはたらき

## 本機前面／側面／背面(FL-65UP5000／FL-55UP5000／FL-49UP5000)





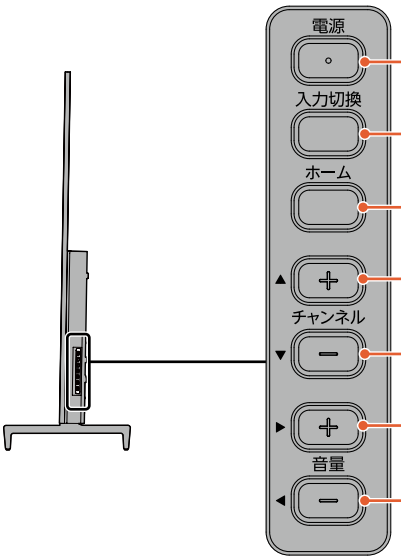

**電源LED** P.42

青点灯･･･リモコンまたは本機の電源ボタンで「入」にし、テレビが動作している状態、本機の起動中

消灯･････リモコンまたは本機の電源ボタンで「切」にした待機状態、[電源LED]を[切]にした状態

**機能LED** P.95

白点灯･･･予約があるとき、録画中




**電源**

**入力切換** P.53

BDレコーダーなどを見るときに押します。

〈例：地上デジタル放送視聴時〉押すごとに、

地上デジタル→BSデジタル→CSデジタル→HDMI1→HDMI2→HDMI3→HDMI4→ビデオ→地上･･･

の順に切り換わります。

メニュー画面表示中はリモコンの決定と同じはたらきをします。P.72

**ホーム** P.72

ホームメニューを表示します。

**チャンネル＋／－** P.50

チャンネルを切り換えます。視聴している放送の種類の中でチャンネルを順送り、または逆送りで切り換えます。

ビデオ入力などの映像を見ているときは、最後に見ていた放送波を表示して、チャンネルを切り換えます。

メニュー画面表示中はリモコンの▲または▼と同じはたらきをします。P.72

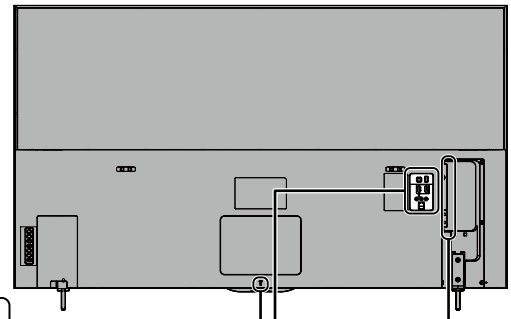
**音量＋／－** P.50

音量を調節します。

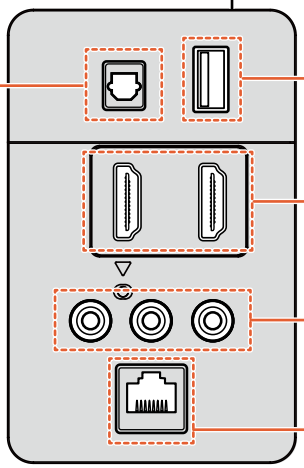
メニュー画面表示中はリモコンの◀または▶と同じはたらきをします。P.72

**お知らせ**

- 電源ボタンで「切」にすると待機状態になり、最小限のシステム機能およびデジタルチューナーなどの回路は通電しています。
- 本機は待機状態のときに、自動的にデジタル放送のメンテナンス情報を受信して、ソフトウェアの更新が行われる場合がありますので、長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は電源プラグをコンセントから抜かないことをおすすめします。
- 受信状態により、デジタル放送などで操作できなくなった場合は、電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから再度電源プラグを挿してみてください。
- テレビ画面に向けて光線銃などを使い、画面を標的にするゲーム機では、正しく動作しないことがあります。くわしくはゲーム機に付属の取扱説明書をご覧ください。
- ビデオの特殊再生機能(早送り、一時停止など)を使うと映像が乱れることがあります。



**盗難防止器具取付スロット**
セキュリティワイヤーロックなどの取り付けが可能です。



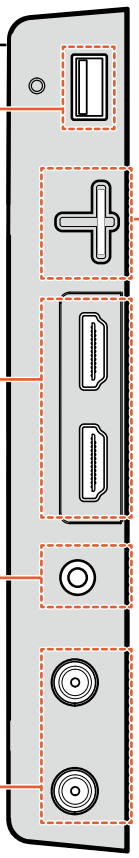
**USBメモリーを接続する** P.105

**USB-HDD（外付け）を接続する** P.114

**HDMI機器を接続する** P.39

**ビデオやDVDプレーヤーなどのビデオ出力をアナログ接続する** P.38

**LANケーブルを接続する** P.141



**市販品の光デジタルケーブルで、デジタル音声（光）入力端子をもつオーディオ機器と接続する** P.41

**ステレオのヘッドホンを挿し込む**
スピーカーとヘッドホンで別々に音量が設定できます。

スピーカーとヘッドホンを同時に使用したい場合は、「ヘッドホン出力設定」を「スピーカー非連動」に切り換えてください。 P.133

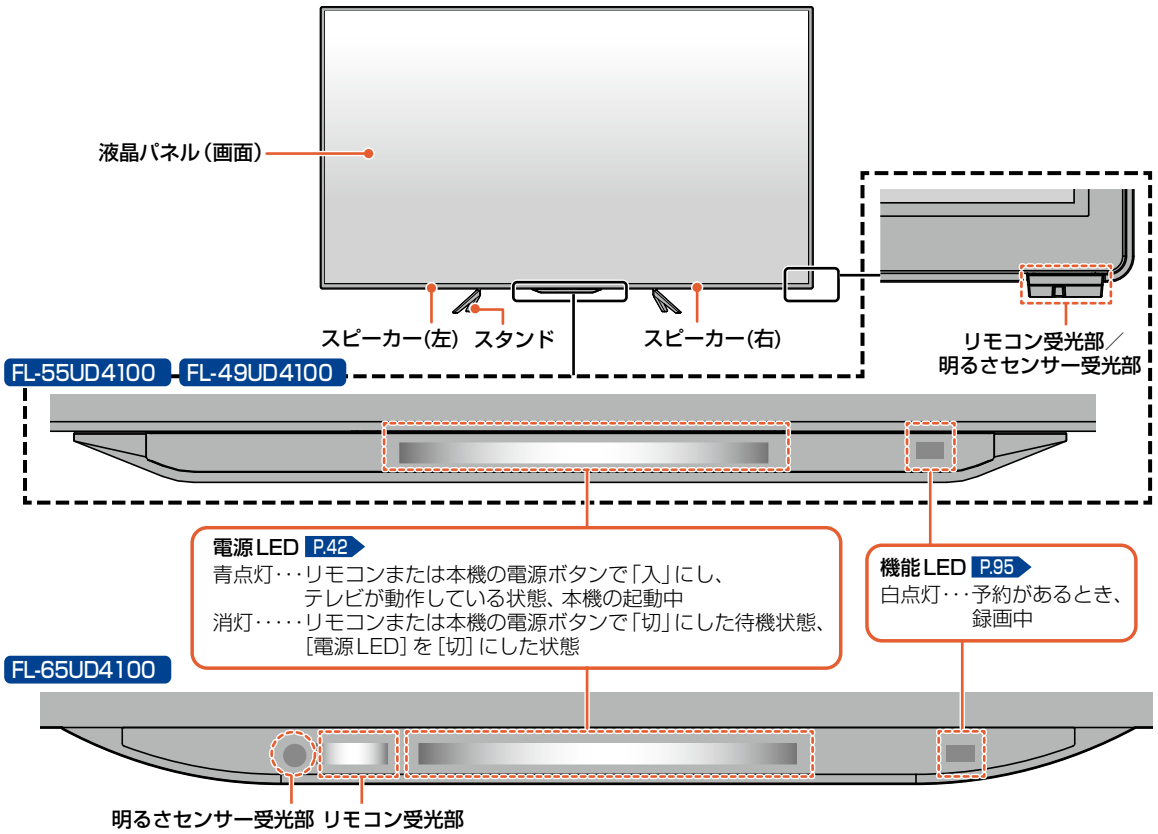
**アンテナケーブルを接続する**
（上）地上デジタル入力 P.36　（下）BS・110度CS入力 P.36

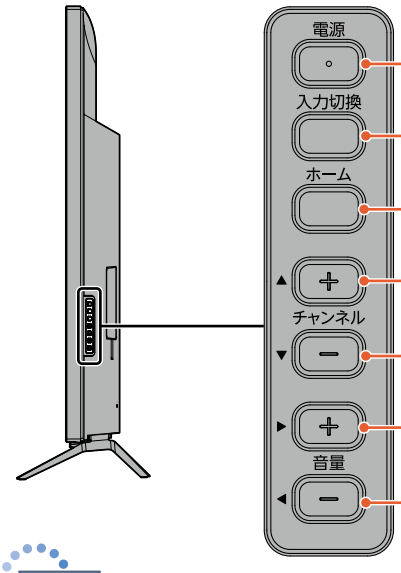
**付属のminiB-CASカードを入れる**
- miniB-CASカードを抜き挿しするときは、必ず電源が切れている状態で行ってください。
- カードを入れる前に、この取扱説明書の「ご購入メモ」 P.176 にカード番号を記入してください。
- 付属のminiB-CASカード以外のものを入れないでください。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違えるとminiB-CASカードは機能しません。また、取り出せなくなったり、破損したりする場合がありますのでご注意ください。

**ご注意**

- 接続は電源プラグを抜いた状態で行ってください。
- 映像・音声接続用のプラグと端子で色分けがしてあるものは、それぞれ色が合うようにつないでください。
  **映像**…黄、**音声ー左**…白、**音声ー右**…赤
- プラグはしっかり挿し込んでください。不完全な接続は雑音、映像ノイズなどの原因になります。
- ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らずに、プラグを持って抜き取ってください。
- 接続する機器が近すぎると、機器をつないで映像が乱れたり、雑音が出たりすることがあるので、十分に離してください。
- 機器によっては接続が異なる場合がありますので、接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

# 本機前面／側面／背面（FL-65UD4100／FL-55UD4100／FL-49UD4100）




**電源**

**入力切換** P.53
BDレコーダーなどを見るときに押します。
〈例：地上デジタル放送視聴時〉押すごとに、
地上デジタル→BSデジタル→CSデジタル→
HDMI1→HDMI2→HDMI3→HDMI4→ビデオ→地上･･･
の順に切り換わります。
メニュー画面表示中はリモコンの決定と同じはたらきをします。P.72

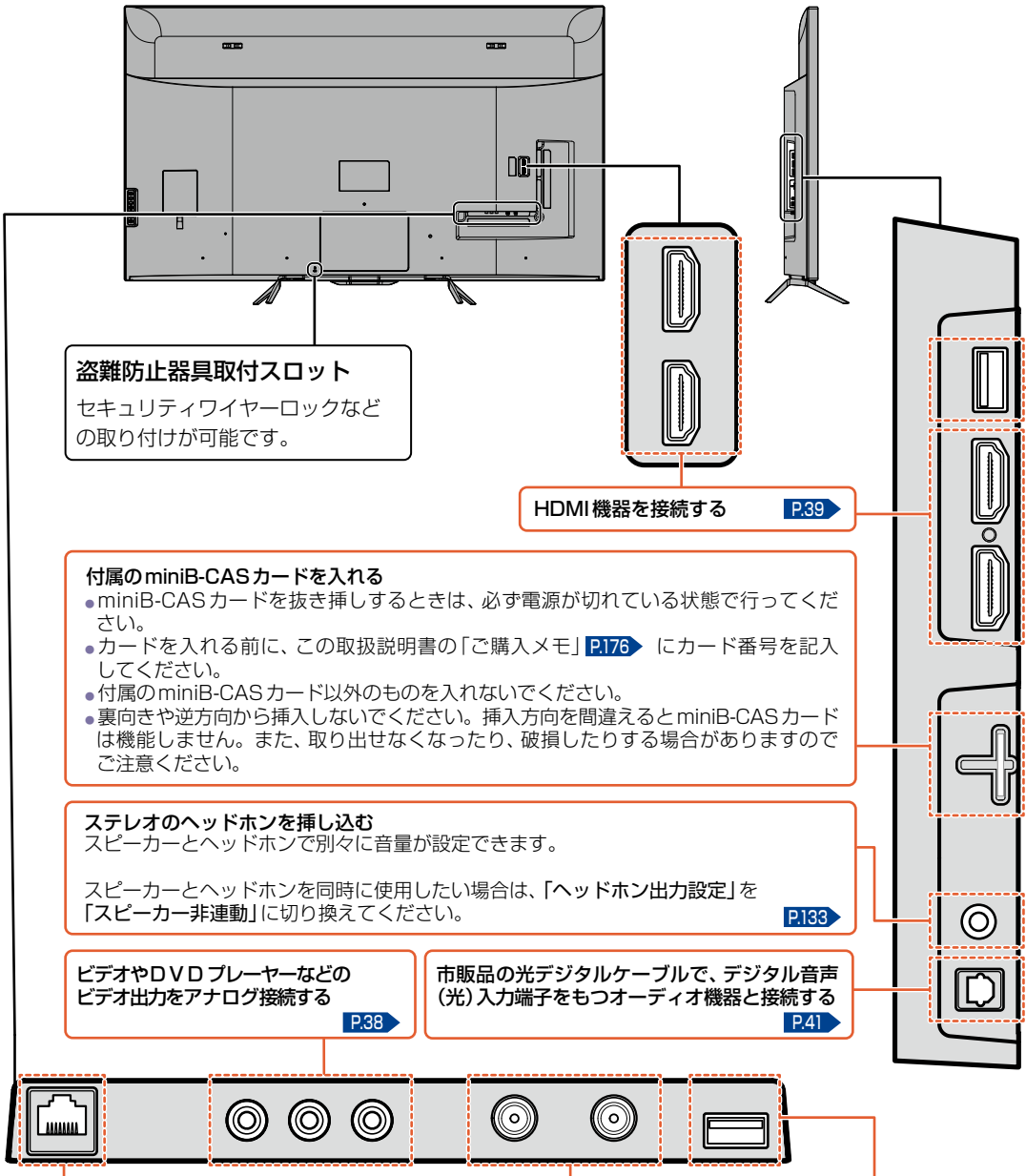
**ホーム** P.72
ホームメニューを表示します。

**チャンネル＋／－** P.50
チャンネルを切り換えます。視聴している放送の種類の中でチャンネルを順送り、または逆送りで切り換えます。
ビデオ入力などの映像を見ているときは、最後に見ていた放送波を表示して、チャンネルを切り換えます。
メニュー画面表示中はリモコンの▲または▼と同じはたらきをします。P.72

**音量＋／－** P.50
音量を調節します。
メニュー画面表示中はリモコンの◀または▶と同じはたらきをします。P.72

**お知らせ**

- 電源ボタンで「切」にすると待機状態になり、最小限のシステム機能およびデジタルチューナーなどの回路は通電しています。
- 本機は待機状態のときに、自動的にデジタル放送のメンテナンス情報を受信して、ソフトウェアの更新が行われる場合がありますので、長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は電源プラグをコンセントから抜かないことをおすすめします。
- 受信状態により、デジタル放送などで操作できなくなった場合は、電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから再度電源プラグを挿してみてください。
- テレビ画面に向けて光線銃などを使い、画面を標的にするゲーム機では、正しく動作しないことがあります。
くわしくはゲーム機に付属の取扱説明書をご覧ください。
- ビデオの特殊再生機能（早送り、一時停止など）を使うと映像が乱れることがあります。



**盗難防止器具取付スロット**
セキュリティワイヤーロックなどの取り付けが可能です。

HDMI機器を接続する P.39

**付属のminiB-CASカードを入れる**
- miniB-CASカードを抜き挿しするときは、必ず電源が切れている状態で行ってください。
- カードを入れる前に、この取扱説明書の「ご購入メモ」P.176 にカード番号を記入してください。
- 付属のminiB-CASカード以外のものを入れないでください。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違えるとminiB-CASカードは機能しません。また、取り出せなくなったり、破損したりする場合がありますのでご注意ください。

**ステレオのヘッドホンを挿し込む**
スピーカーとヘッドホンで別々に音量が設定できます。

スピーカーとヘッドホンを同時に使用したい場合は、「**ヘッドホン出力設定**」を「**スピーカー非連動**」に切り換えてください。 P.133

**ビデオやＤＶＤプレーヤーなどのビデオ出力をアナログ接続する** P.38

**市販品の光デジタルケーブルで、デジタル音声（光）入力端子をもつオーディオ機器と接続する** P.41

LANケーブルを接続する P.141

アンテナケーブルを接続する
（右）地上デジタル入力 P.36
（左）BS・110度CS入力 P.36

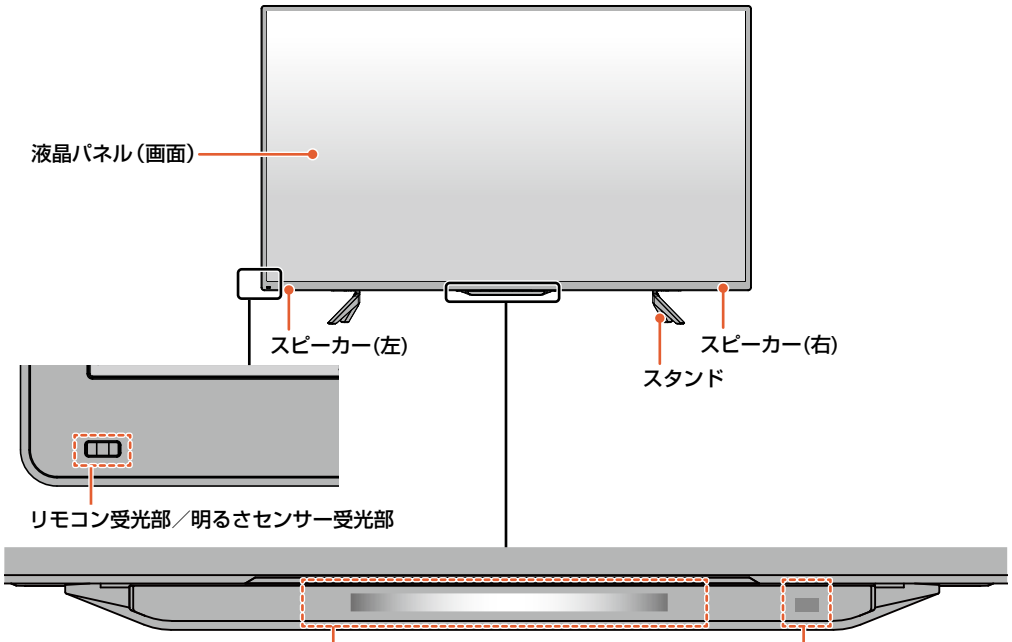
USB-HDD（外付け）を接続する P.114

USBメモリーを接続する P.105

**ご注意**
- 接続は電源プラグを抜いた状態で行ってください。
- 映像・音声接続用のプラグと端子で色分けがしてあるものは、それぞれ色が合うようにつないでください。
  **映像**…黄、**音声ー左**…白、**音声ー右**…赤
- プラグはしっかり挿し込んでください。不完全な接続は雑音、映像ノイズなどの原因になります。
- ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らずに、プラグを持って抜き取ってください。
- 接続する機器が近すぎると、機器をつないで映像が乱れたり、雑音が出たりすることがあるので、十分に離してください。
- 機器によっては接続が異なる場合がありますので、接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

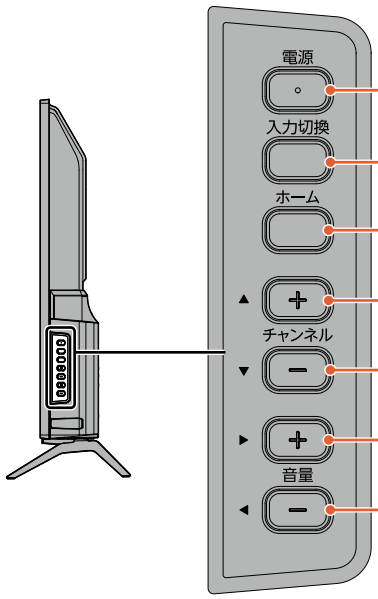
# 本機前面／側面／背面(FL-43UB4000)






**電源LED** P.42
青点灯･･･リモコンまたは本機の電源ボタンで「入」にし、テレビが動作している状態、本機の起動中
消灯･････リモコンまたは本機の電源ボタンで「切」にした待機状態、［電源LED］を［切］にした状態

**機能LED** P.95
白点灯･･･予約があるとき、録画中




**電源**

**入力切換** P.53
BDレコーダーなどを見るときに押します。
〈例：地上デジタル放送視聴時〉押すごとに、
地上デジタル → BSデジタル → CSデジタル → HDMI1 → HDMI2 → HDMI3 → HDMI4 → ビデオ → 地上･･･
の順に切り換わります。
メニュー画面表示中はリモコンの決定と同じはたらきをします。P.72

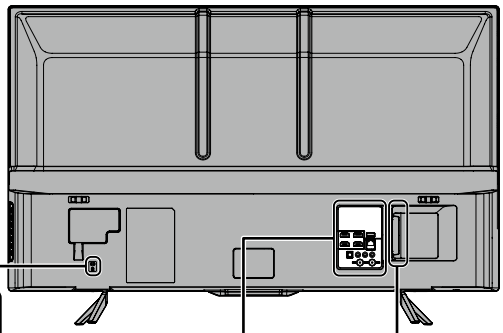
**ホーム** P.72
ホームメニューを表示します。

**チャンネル＋／－** P.50
チャンネルを切り換えます。視聴している放送の種類の中でチャンネルを順送り、または逆送りで切り換えます。
ビデオ入力などの映像を見ているときは、最後に見ていた放送波を表示して、チャンネルを切り換えます。
メニュー画面表示中はリモコンの▲または▼と同じはたらきをします。P.72

**音量＋／－** P.50
音量を調節します。
メニュー画面表示中はリモコンの◀または▶と同じはたらきをします。P.72

**お知らせ**

- 電源ボタンで「切」にすると待機状態になり、最小限のシステム機能およびデジタルチューナーなどの回路は通電しています。
- 本機は待機状態のときに、自動的にデジタル放送のメンテナンス情報を受信して、ソフトウェアの更新が行われる場合がありますので、長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は電源プラグをコンセントから抜かないことをおすすめします。
- 受信状態により、デジタル放送などで操作できなくなった場合は、電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから再度電源プラグを挿してみてください。
- テレビ画面に向けて光線銃などを使い、画面を標的にするゲーム機では、正しく動作しないことがあります。くわしくはゲーム機に付属の取扱説明書をご覧ください。
- ビデオの特殊再生機能（早送り、一時停止など）を使うと映像が乱れることがあります。



**盗難防止器具取付スロット**
セキュリティワイヤーロックなどの取り付けが可能です。

**USBメモリーを接続する** P.105

**HDMI機器を接続する** P.39

**USB-HDD（外付け）を接続する** P.114

**LANケーブルを接続する** P.141

**ビデオやDVDプレーヤーなどのビデオ出力をアナログ接続する** P.38

**市販品の光デジタルケーブルで、デジタル音声（光）入力端子をもつオーディオ機器と接続する** P.41

**アンテナケーブルを接続する**
（右）地上デジタル入力 P.36
（左）BS・110度CS入力 P.36

**付属のminiB-CASカードを入れる**
- miniB-CASカードを抜き挿しするときは、必ず電源が切れている状態で行ってください。
- カードを入れる前に、この取扱説明書の「ご購入メモ」P.176 にカード番号を記入してください。
- 付属のminiB-CASカード以外のものを入れないでください。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違えるとminiB-CASカードは機能しません。
  また、取り出せなくなったり、破損したりする場合がありますのでご注意ください。

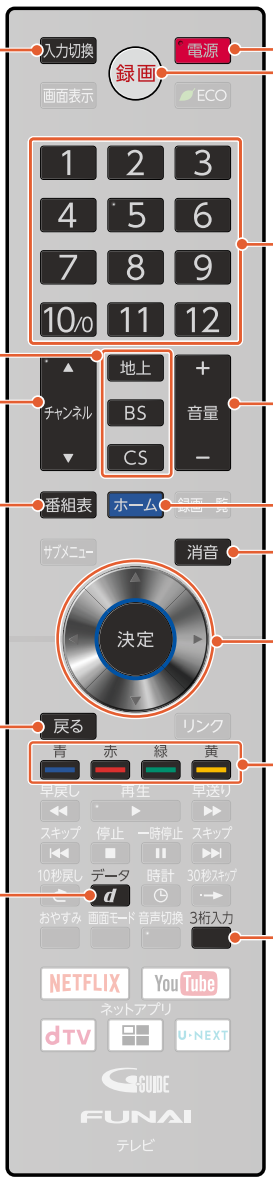
**ステレオのヘッドホンを挿し込む**
スピーカーとヘッドホンで別々に音量が設定できます。
スピーカーとヘッドホンを同時に使用したい場合は、「ヘッドホン出力設定」を「スピーカー非連動」に切り換えてください。 P.133

**ご注意**

- 接続は電源プラグを抜いた状態で行ってください。
- 映像・音声接続用のプラグと端子で色分けがしてあるものは、それぞれ色が合うようにつないでください。
  **映像**…黄、**音声ー左**…白、**音声ー右**…赤
- プラグはしっかり挿し込んでください。不完全な接続は雑音、映像ノイズなどの原因になります。
- ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らずに、プラグを持って抜き取ってください。
- 接続する機器が近すぎると、機器をつないで映像が乱れたり、雑音が出たりすることがあるので、十分に離してください。
- 機器によっては接続が異なる場合がありますので、接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

# リモコン

## ふだんよく使うボタン




押すごとに、入力が切り換わる
〈例：地上デジタル放送視聴時〉
地上→BS→CS→HDMI1→HDMI2→HDMI3→HDMI4→ビデオ→地上・・・の順に切り換わります。 P.53

放送波を切り換える P.50
地上……地上デジタル放送
BS……BSデジタル放送
CS……110度CSデジタル放送

視聴している放送の種類の中でチャンネルを順送り、または逆送りで切り換える P.50
ビデオ入力などの映像を見ているときは、最後に見ていた放送波を表示して、チャンネルを切り換えます。
視聴しないチャンネルをスキップすることができます。 P.156

番組表を表示する P.60

メニューなどの画面を表示中に1つ前の画面に戻る

データ放送に切り換える P.52

電源を「入」／「切」する P.42

番組を録画する P.87

数字ボタン P.50
チャンネルを直接選んだり、数字を入力したりします

音量を調節する P.50

ホームメニューを表示する P.72

音を一時的に消す
もう一度押すと元の音量に戻ります。

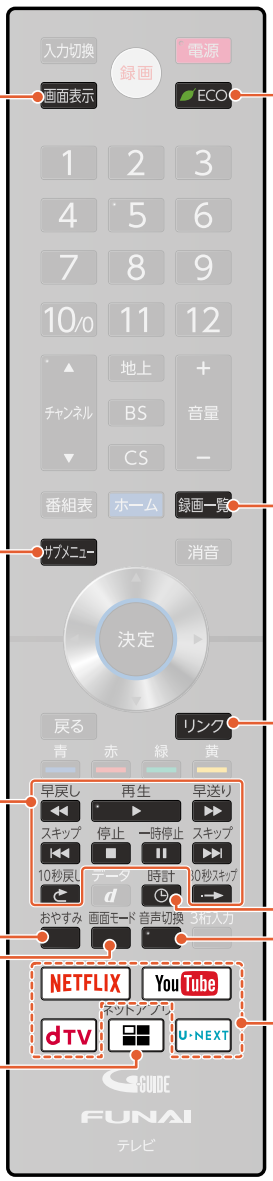
メニューなどの画面を表示中に、選択や決定などをする P.72

番組表、録画一覧の表示中やデータ放送などで、画面に色ボタンの表示があるときに使用する P.52
画面によって機能が変わるので、画面下部の説明に従って操作してください。

チャンネル番号を入力する P.50

## さらに便利に使いこなすボタン

チャンネル番号、放送時間、番組名、未読お知らせの有無、音声の種類、録画情報、現在時刻などを画面に表示する




ECOモードに切り換える P.57

録画一覧を表示する P.98

サブメニューの操作を始めるときと終わるときに押す P.62

録画した番組を見るときに使用する P.98

HDMI-CEC対応機器を本機のリモコンで操作する P.110

押すごとに30分、60分、90分、120分後に本機の電源が切れるように設定する P.54

現在時刻を表示する P.57

画面モードを表示する P.58

音声を切り換える P.54

各種ネットサービスに直接アクセスする P.70

ネットアプリを表示する P.70

**お知らせ**

- 電源 以外でも、上の図の [ ] で囲われているボタンを押して本機の電源を入れることができます。

**ご注意**

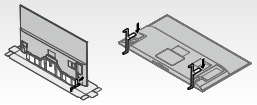
- リモコンが正しく操作ができないときは、「困ったときは」P.177をご覧ください。
- 乾電池の入れかたについてくわしくは P.25 をご覧ください。
- 本機のリモコンで、他社製または旧式の当社製テレビの操作はできません。
- ボタンを押すときは、真上から力を入れすぎないように押してください。
- リモコンは精密機器です。丁寧に扱ってください。
- 画面に操作メニューが表示されている場合は、その操作に対応したボタンが有効となります。
  連続して他の操作をおこなう場合は、その操作メニューの表示が消えてから操作してください。

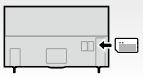
# 準備の流れ

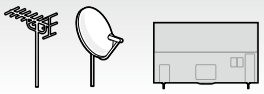


**準備1** 付属品の確認 P.25

**準備2** リモコンの準備 P.25

**準備3** スタンドを取り付ける  P.26

**準備4** miniB-CASカードを入れる
デジタル放送を視聴するために必要です。  P.34

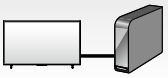
**準備5** アンテナをつなぐ  P.36

必要により

必ず行う

**レコーダーやAVアンプなどの外部機器をつなぐ**
お持ちの録画・再生機器を利用できます。 P.38

**ネットワークに接続する**
ネットワークに接続することで、
さまざまな機能を楽しむことができます。 P.141

**USB-HDDをつなぐ**
USB-HDD（市販品）をつなぐと、
録画時間をより増やすことができます。  P.114

**準備6** 電源を入れる P.42

**準備7** 「かんたん一括設定」をする
テレビを見るための基本的な設定がかんたんにできます。

P.43

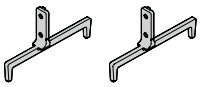
# 準備1 ▶ 付属品の確認

□の中に、チェックマーク(✔)を付けてすべての部品が正しく付属されているかをご確認ください。
欠品があるときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

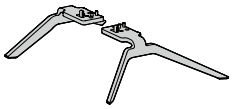
**※最初に本機と付属品のスタンドをスタンド取付ネジで確実に取り付けてください。**
本機とスタンドを取り付けないと製品が転倒し、けがの原因になります。また、テレビ台や床などが傷つくことがあります。取付方法は、「スタンドを取り付ける」P.26または付属品の『はじめるガイド』をご覧ください。

※スタンド……2本(1組)

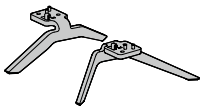
FL-65UP5000 FL-55UP5000 FL-49UP5000



FL-65UD4100 FL-55UD4100 FL-49UD4100



FL-43UB4000

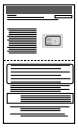


※ スタンド取付ネジ……4本

- FL-65UP5000 … M5 × 20 mm
- FL-55UP5000 / FL-49UP5000 … M5 × 16 mm
- FL-65UD4100 / FL-55UD4100 / FL-49UD4100 … M5 × 20 mm
- FL-43UB4000 … M4 × 20 mm

- □ リモコン／1台 (FRM-100TV)

- □ miniB-CASカード／1枚 (台紙に貼り付けてあります。)



地上デジタル／BS・110度CS共用

- □ 取扱説明書／1冊

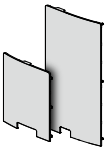
- □ はじめるガイド／1枚

- □ 保証書／1枚

- □ 単4形乾電池(R03)／2本

動作確認用

- □ 背面カバー／2枚



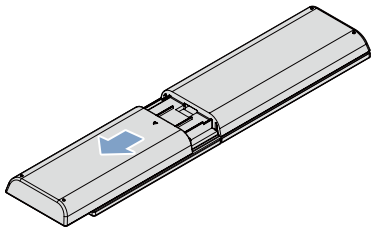
※ FL-65UP5000 FL-55UP5000 FL-49UP5000 のみ

- □ 転倒防止バンド／1本
- □ テレビ側固定ネジ(4×10mm)／1本
- □ テレビ台側固定ネジ (3.5×20mm)／1本

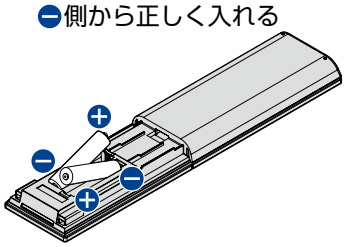
- □ B-CASカードのご利用方法／一部
- □ 結束バンド／1本
  ※ FL-65UD4100 FL-43UB4000 のみ

# 準備2 ▶ リモコンの準備

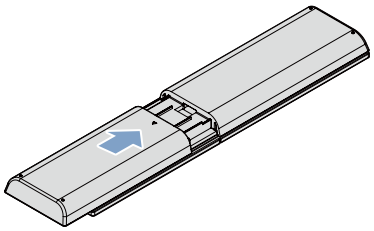
① 裏ぶたをはずす



② ⊕／⊖をよく確かめて⊖側から正しく入れる



③ 裏ぶたをつける

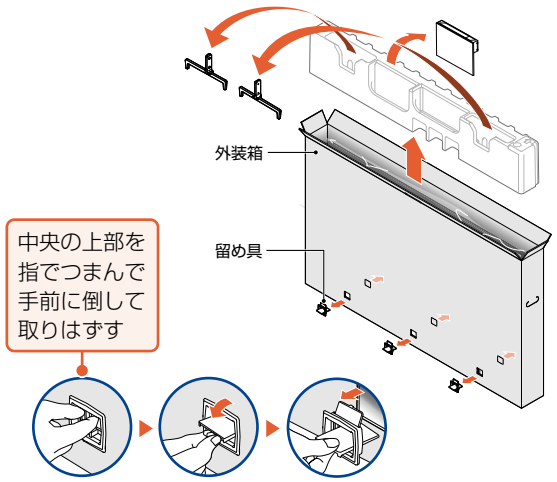


# 準備3 スタンドを取り付ける

FL-65UP5000 FL-55UP5000

## 1

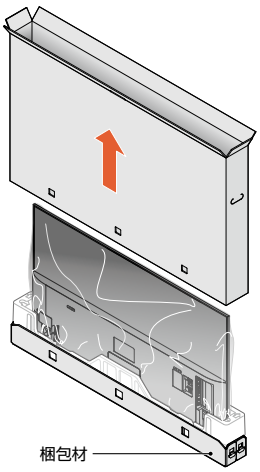
- 外装箱の天面を開けて、緩衝材内部にある付属品と緩衝材上部に貼付されている はじめるガイドを取り出す
- 外装箱下部の留め具を指でつまんで抜き取る




FL-65UP5000 …6箇所 FL-55UP5000 …4箇所

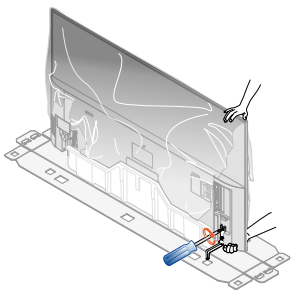
## 2

- 外装箱を持ち上げ、底部の梱包材と分離させる



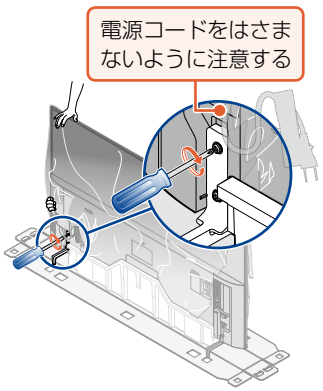

## 5

- プラスドライバーを使って、上下のスタンド取付ネジをしっかりと締め付ける
- スタンドにがたつきがないかを確認する



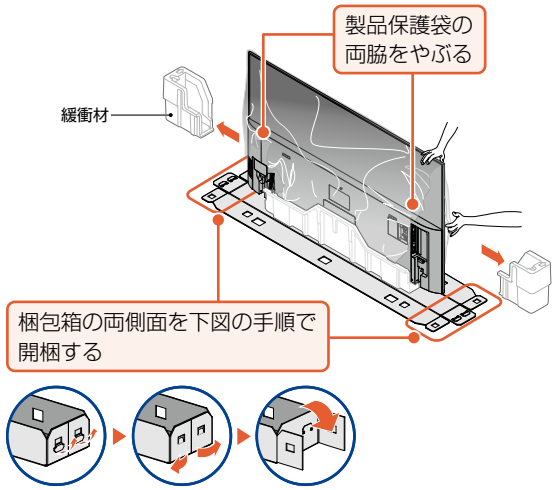
## 6

- 手順4、手順5に従い、もう片方のスタンドを取り付ける



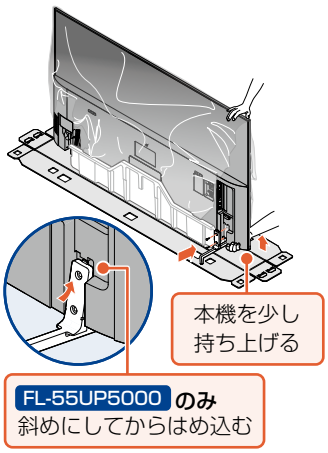
## 3

- 梱包材の両側面を開く
  - スタンドを取り付けるときは、本機が転倒しないように、必ず本機の上部を軽く押さえながら作業してください。
- 両側の緩衝材のみ取りはずす
- 製品保護袋の両脇をやぶく



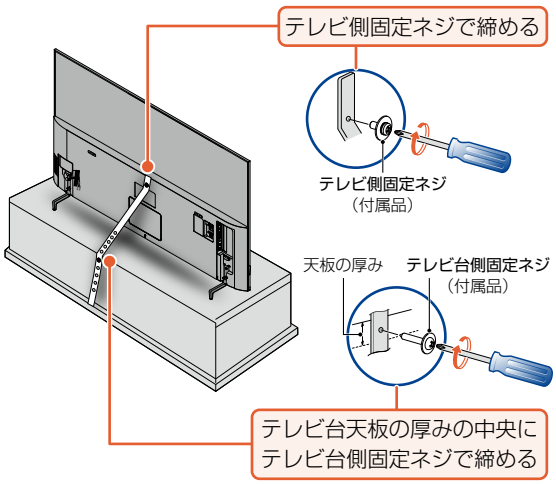

## 4

- 本機の下部を少し持ち上げて
  スタンドを本機に装着し、
  スタンド取付ネジでスタンドと
  上下のネジ穴を仮り止めする
  - 本機の下部を持ち上げるとき、パネルを押さえ付けないようご注意ください。




## 7

- 本機を（最低大人２人で）持ち上げ、テレビ台などに設置する
- プラスドライバーと固定ネジを使って、転倒防止バンドで本機をテレビ台や家具などに取り付ける




お買い上げ時、スタンドは取りはずされている状態です。お買い上げの機種によって、スタンドの取り付けかたは異なります。また、本機にスタンドを取り付ける際には、**スタンドの前後が正しい方向となっているかどうか注意して取り付けてください。**

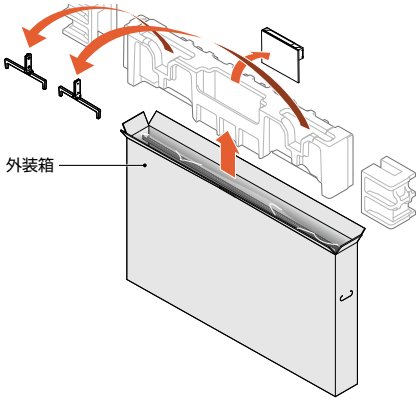
**ご注意**

- スタンドの取り付けは、必ず大人2人以上で作業を行ってください。
- スタンド取付ネジは、取扱説明書などと同じ袋に入っています。
- スタンド取付ネジをドライバーで締める際は、ネジに合ったドライバーをご使用ください。
- すべてのスタンド取付ネジがしっかりと締まっているか確認してください。スタンドが適切に取り付けられていなければ、本機の転倒や落下する原因となり、本機を傷つけるだけでなく、けがをする恐れがありますのでご注意ください。

FL-49UP5000

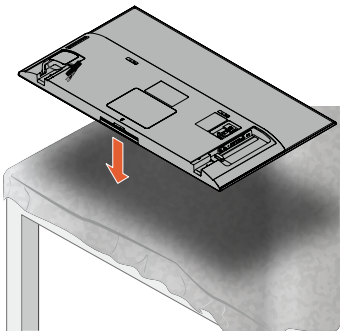
## 1

- 外装箱の天面を開けて、緩衝材内部にある付属品と緩衝材上部に貼付されているはじめるガイドを取り出す



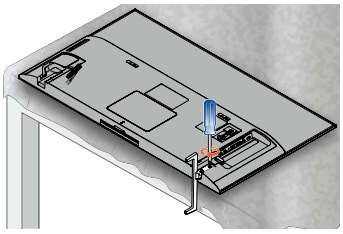

## 2

- 液晶パネル面を下にして、柔らかい布を敷いたテーブルの上に置く
  - 画面を傷つけないよう十分ご注意ください。
  - テーブルは必ず安定した場所に置いてください。
  - テーブルは必ず本機の重さに耐えることができて、本機より大きいものを使用してください。



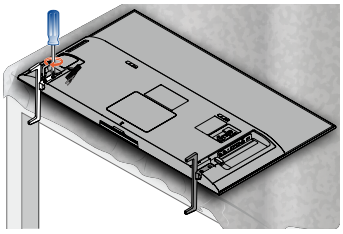
## 5

- プラスドライバーを使って、上下のスタンド取付ネジをしっかりと締め付ける
- スタンドにがたつきがないかを確認する



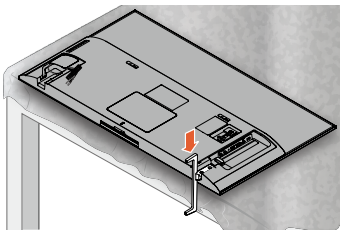
## 6

- 手順3～5に従い、もう片方のスタンドを取り付ける



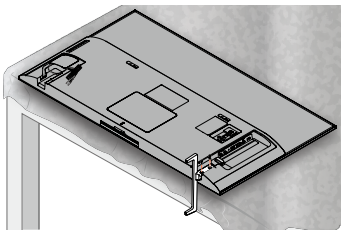
## 3

- スタンドを本機にはめ込む



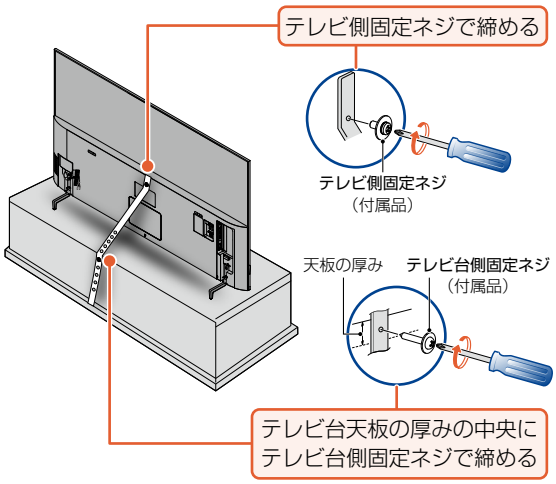
## 4

- スタンド取付ネジでスタンドと上下のネジ穴を仮り止めする



## 7

- 本機を（最低大人２人で）持ち上げ、テレビ台などに設置する
- プラスドライバーと固定ネジを使って、転倒防止バンドで本機をテレビ台や家具などに取り付ける




お買い上げ時、スタンドは取りはずされている状態です。お買い上げの機種によって、スタンドの取り付けかたは異なります。また、本機にスタンドを取り付ける際には、**スタンドの前後が正しい方向となっているかどうか注意して取り付けてください。**

**ご注意**

- スタンドの取り付けは、必ず大人2人以上で作業を行ってください。
- スタンド取付ネジは、取扱説明書などと同じ袋に入っています。
- スタンド取付ネジをドライバーで締める際は、ネジに合ったドライバーをご使用ください。
- すべてのスタンド取付ネジがしっかりと締まっているか確認してください。スタンドが適切に取り付けられていなければ、本機の転倒や落下する原因となり、本機を傷つけるだけでなく、けがをする恐れがありますのでご注意ください。

# 準備の流れ(つづき)



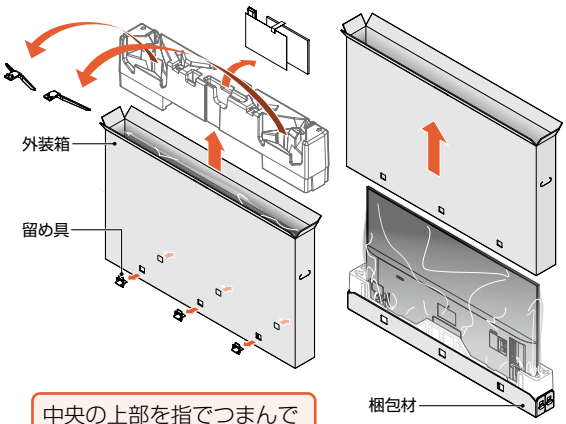
FL-65UD4100 FL-55UD4100 FL-49UD4100

## 1

- 外装箱の天面を開けて、緩衝材内部にある付属品と緩衝材上部に貼付されている はじめるガイドを取り出す

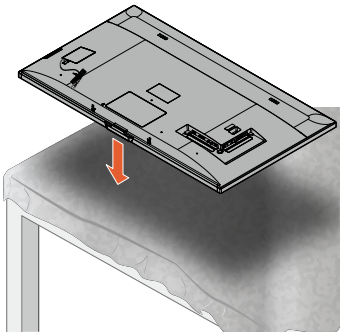
FL-65UD4100 FL-55UD4100

- 下図のように、外装箱下部の留め具を指でつまんで取りはずし、外装箱を持ち上げて抜き取る
- 底部の梱包材から本機を持ち上げて取り出す



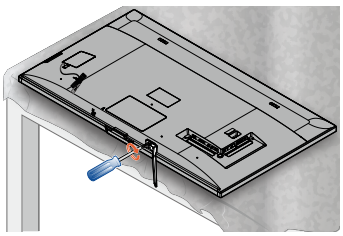
## 2

- 液晶パネル面を下にして、柔らかい布を敷いたテーブルの上に置く
  - 画面を傷つけないよう十分ご注意ください。
  - テーブルは必ず安定した場所に置いてください。
  - テーブルは必ず本機の重さに耐えることができて、本機より大きいものを使用してください。



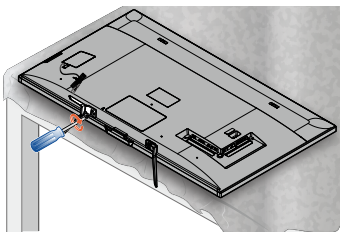
## 5

- プラスドライバーを使って、上下のスタンド取付ネジをしっかりと締め付ける
- スタンドにがたつきがないかを確認する



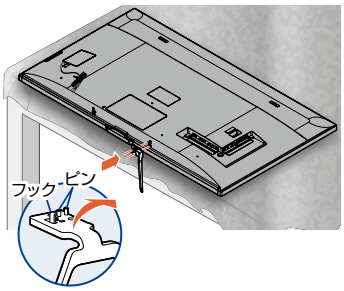
## 6

- 手順3～5に従い、もう片方のスタンドを取り付ける



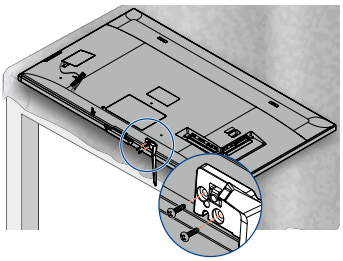
## 3

- スタンドを本機にはめ込む




## 4

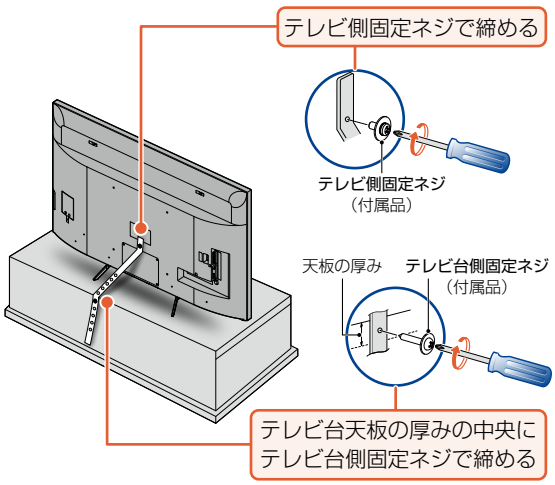
- スタンド取付ネジでスタンドと上下のネジ穴を仮り止めする





## 7

- 本機を（最低大人２人で）持ち上げ、テレビ台などに設置する
- プラスドライバーと固定ネジを使って、転倒防止バンドで本機をテレビ台や家具などに取り付ける




お買い上げ時、スタンドは取りはずされている状態です。お買い上げの機種によって、スタンドの取り付けかたは異なります。また、本機にスタンドを取り付ける際には、**スタンドの前後が正しい方向となっているかどうか注意して取り付けてください。**

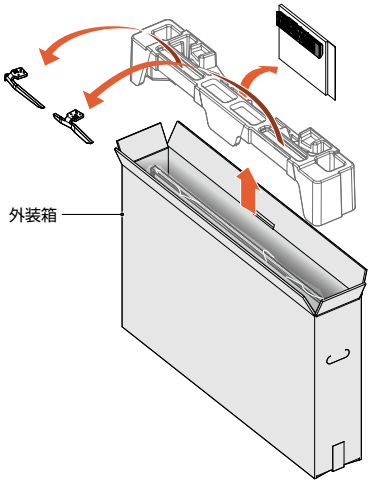
**ご注意**

- スタンドの取り付けは、必ず大人2人以上で作業を行ってください。
- スタンド取付ネジは、取扱説明書などと同じ袋に入っています。
- スタンド取付ネジをドライバーで締める際は、ネジに合ったドライバーをご使用ください。
- すべてのスタンド取付ネジがしっかりと締まっているか確認してください。スタンドが適切に取り付けられていなければ、本機の転倒や落下する原因となり、本機を傷つけるだけでなく、けがをする恐れがありますのでご注意ください。

FL-43UB4000

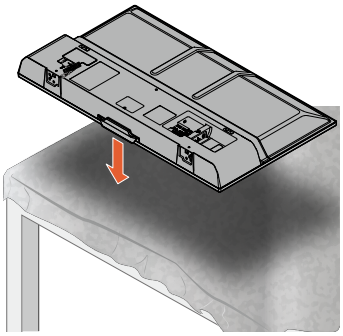
## 1

- 外装箱の天面を開けて、緩衝材内部にある付属品と緩衝材上部に貼付されているはじめるガイドを取り出す



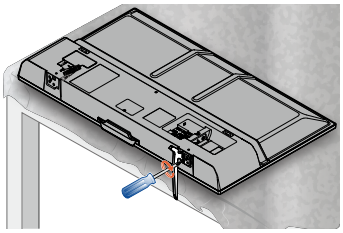

## 2

- 液晶パネル面を下にして、柔らかい布を敷いたテーブルの上に置く
  - 画面を傷つけないよう十分ご注意ください。
  - テーブルは必ず安定した場所に置いてください。
  - テーブルは必ず本機の重さに耐えることができて、本機より大きいものを使用してください。



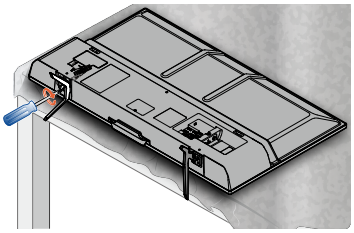
## 5

- プラスドライバーを使って、上下のスタンド取付ネジをしっかりと締め付ける
- スタンドにがたつきがないかを確認する



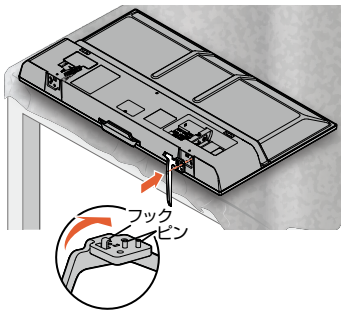
## 6

- 手順3～5に従い、もう片方のスタンドを取り付ける



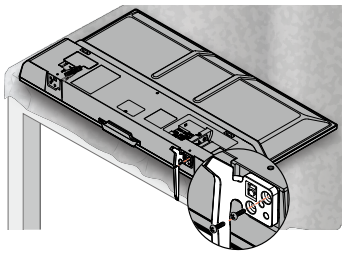
## 3

- スタンドを本機にはめ込む



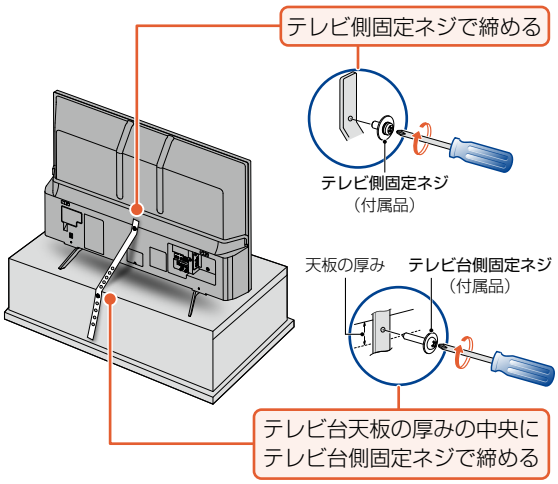

## 4

- スタンド取付ネジでスタンドと上下のネジ穴を仮り止めする



## 7

- 本機を（最低大人２人で）持ち上げ、テレビ台などに設置する
- プラスドライバーと固定ネジを使って、転倒防止バンドで本機をテレビ台や家具などに取り付ける




お買い上げ時、スタンドは取りはずされている状態です。お買い上げの機種によって、スタンドの取り付けかたは異なります。また、本機にスタンドを取り付ける際には、**スタンドの前後が正しい方向となっているかどうか注意して取り付けてください。**

**ご注意**

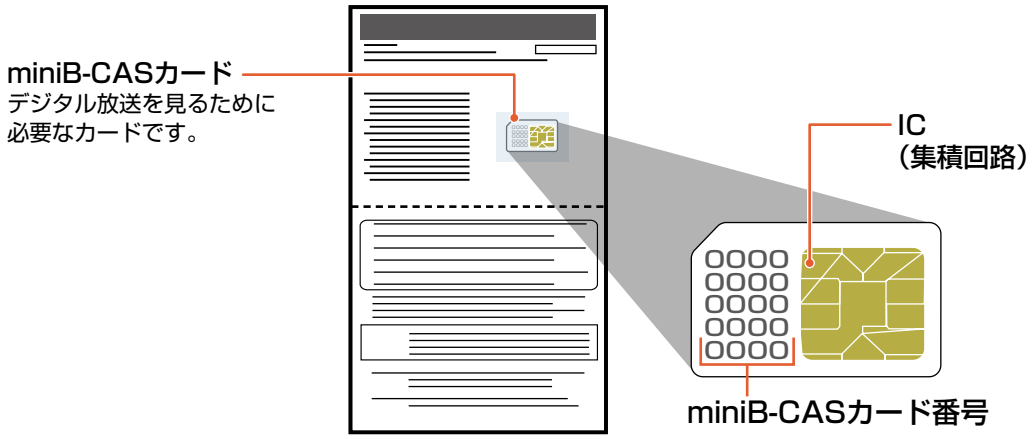
- スタンドの取り付けは、必ず大人2人以上で作業を行ってください。
- スタンド取付ネジは、取扱説明書などと同じ袋に入っています。
- スタンド取付ネジをドライバーで締める際は、ネジに合ったドライバーをご使用ください。
- すべてのスタンド取付ネジがしっかりと締まっているか確認してください。スタンドが適切に取り付けられていなければ、本機の転倒や落下する原因となり、本機を傷つけるだけでなく、けがをする恐れがありますのでご注意ください。

# 準備４ miniB-CASカードを入れる

## miniB-CASカードについて

本機でデジタル放送を視聴いただくには、付属のminiB-CASカードが必要です。番組の著作権保護のため、miniB-CASカードを本機に挿入しないとデジタル放送を見ることができません。デジタル放送をご覧にならない場合でも、紛失防止のためにminiB-CASカードを本機に挿し込んでおくことをおすすめします。付属のminiB-CASカードのID番号は本書の「ご購入メモ」の「miniB-CASカード番号」にも記入しておいてください。P.176

▷miniB-CASカードについて




**ご注意**

- カードを本機に挿入する前に、この取扱説明書の「ご購入メモ」P.176にカード番号を記入してください。
- 折り曲げたり、変形させたりしないでください。
- 重いものをのせたり、踏みつけたりしないでください。
- IC(集積回路)部には、手を触れないでください。
- 分解・加工をしないでください。
- 本機を使用中はminiB-CASカードを抜き挿ししないでください。デジタル放送の視聴や録画ができなくなります。
- miniB-CASカードにはIC(集積回路)が組込まれているため、画面にminiB-CASカードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き挿しをしないでください。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違うとminiB-CASカードは機能しません。また、取り出せなくなったり、破損したりする場合がありますのでご注意ください。
- miniB-CASカードの抜き挿しは、必ず本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- miniB-CASカード挿入口に、miniB-CASカード以外のものを入れないでください。
  - お客様の責任でminiB-CASカードを破損したり紛失したりした場合は、再発行費用が請求されます。

**お知らせ**

- 付属のminiB-CASカードの台紙に記載されている文面をよくお読みください。
- miniB-CASカードに個人情報が書き込まれることはありません。
- miniB-CASカードはデジタル放送を視聴していただくために、お客様に貸与された大切なカードです。
  破損したり紛失したりした場合は、ただちに下記のカスタマーセンターにご連絡ください。
- miniB-CASカードについてのお問い合わせ先（2017年7月現在）
  (株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
  TEL　0570-000-250（IP電話からの場合は045-680-2868）
  受付時間　10:00～20:00　（年中無休）
  http://www.b-cas.co.jp/

## miniB-CASカードの入れかた

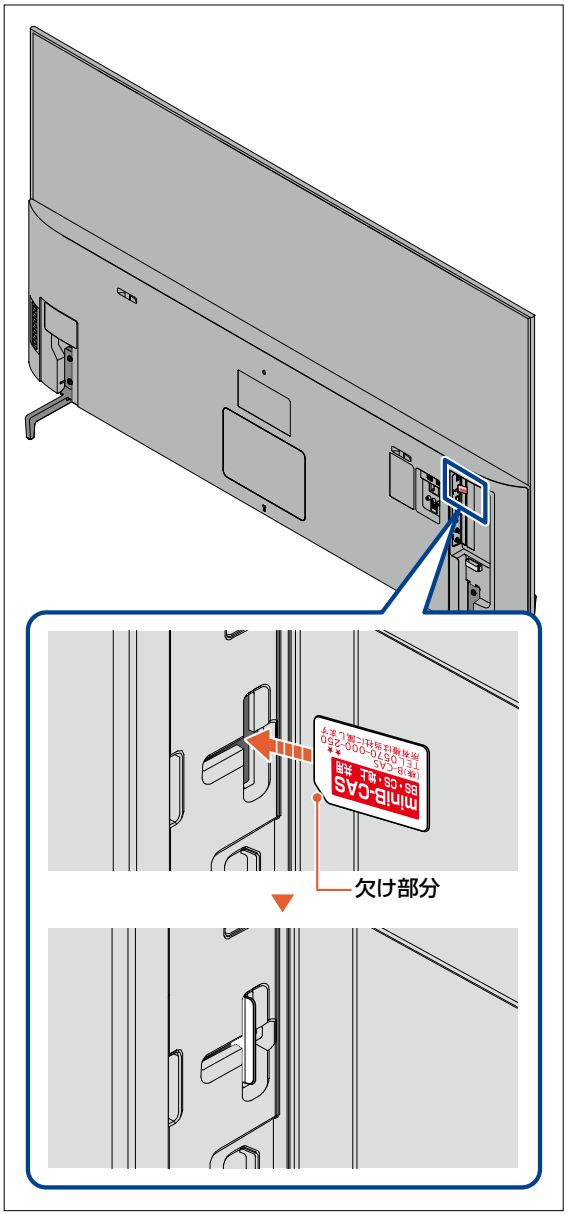
miniB-CASカードを入れただけでは、有料放送の契約料・受信料などを課せられることはありません。

### 1 電源プラグをコンセントに挿していないことを確認する

- miniB-CASカードを挿すときは、必ず電源が切れている状態で行ってください。

### 2 miniB-CASカードの欠けている部分を下にして、まっすぐ挿入する

- カチッとはまるまで押し込んでください。
- カードは一部分が見えた状態となります。



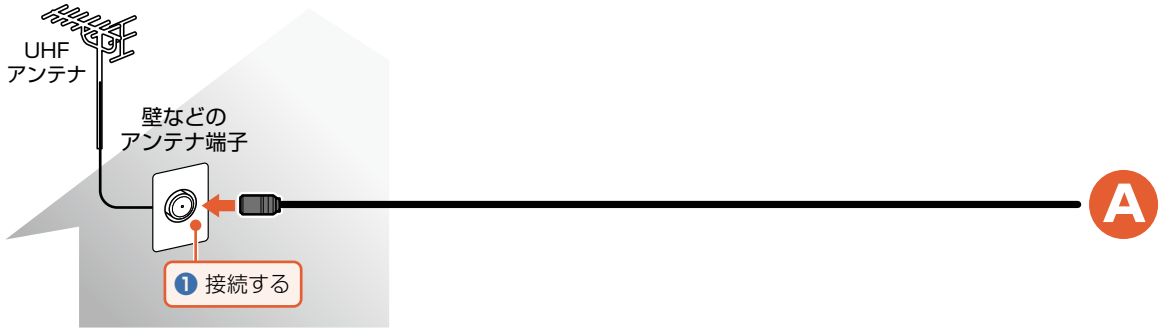

**⚠警告** miniB-CASカードは幼児の手の届くところに放置しないでください。
万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

# 準備5 アンテナをつなぐ

■本機はデジタル回路を多く内蔵していますので、きれいな映像でご覧いただくためにはアンテナの接続が重要です。ご自宅のアンテナやチューナーに合わせて接続してください。

## 地上デジタル放送用アンテナ端子をつなぐ

UHFアンテナは、地上デジタル放送対応のアンテナをおすすめします。また、ご使用中のUHFアンテナでも一部の地上デジタル放送を受信できる場合があります。くわしくはお買い上げの販売店にご相談ください。

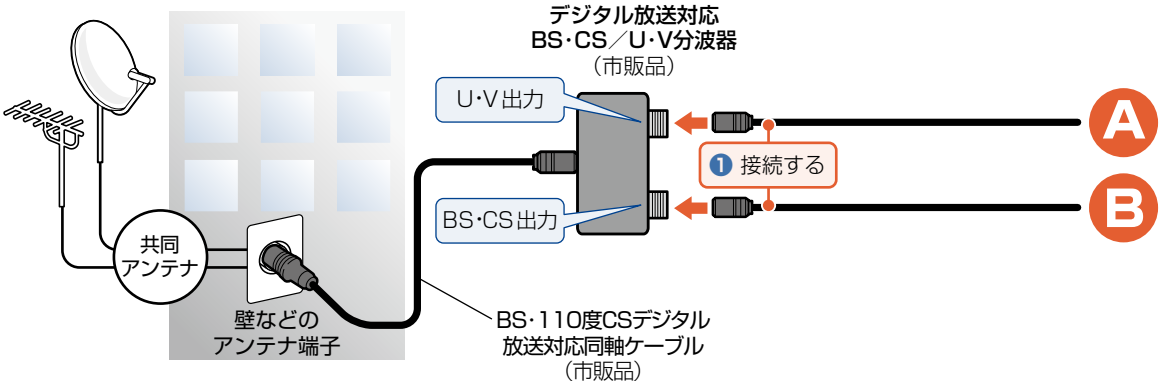



## BS・110度CSデジタル放送用アンテナ端子をつなぐ

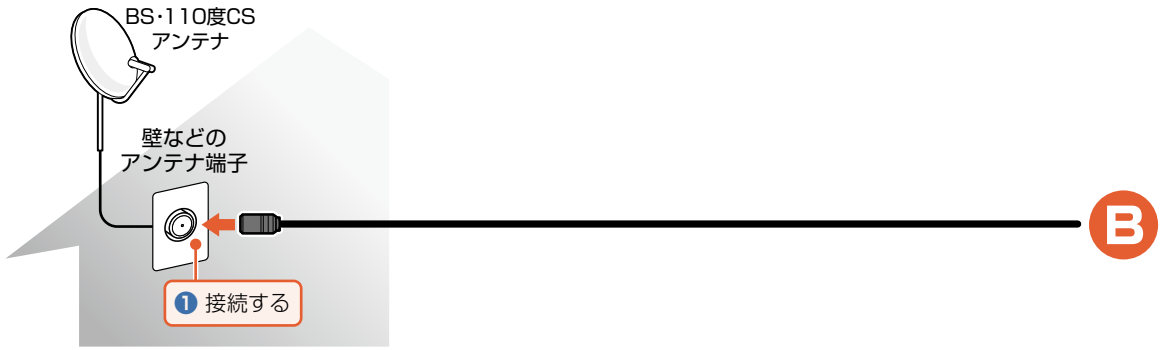
地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送のアンテナ端子が1つのときと、アンテナ端子が別々のときで接続方法が異なります。ご自宅のアンテナ端子に合わせて接続してください。

### ▷アンテナ端子が1つのときは

- マンションなどの共同アンテナで、地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送の信号が混合で出力される壁からのアンテナ端子が1つの場合は、分波器を使って地上デジタル放送の信号とBS・110度CSデジタル放送の信号を分けてください。

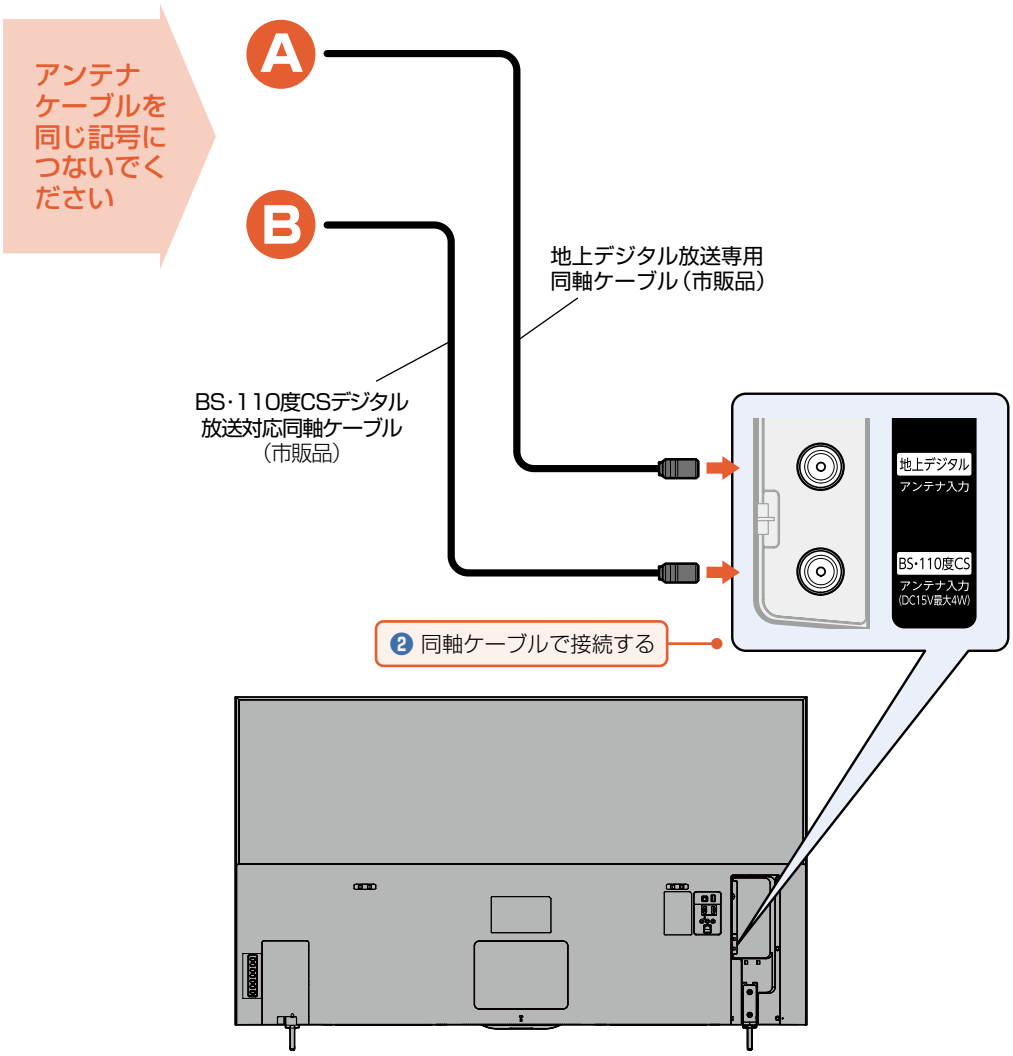



### ▷アンテナ端子が別々のときは



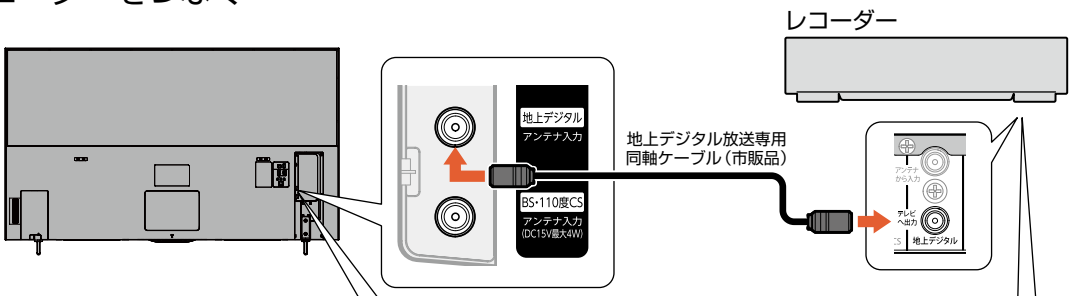
**ご注意**

- BSアンテナに電源を供給する場合はアンテナ電源設定を行ってください。
  電源設定を正しく行わないと、受信ができないことがあります。P.158

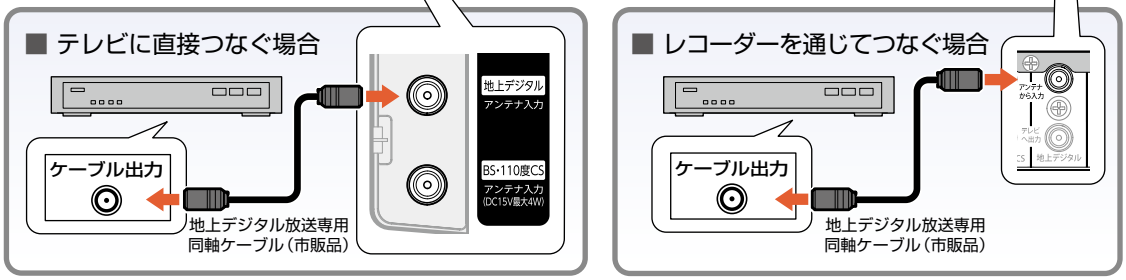


## レコーダーまたはCATV(ケーブルテレビ)チューナーをアンテナでつなぐ

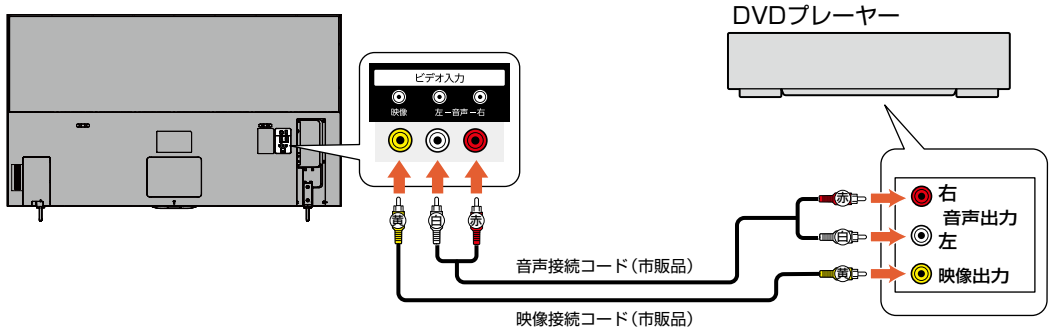
### レコーダーをつなぐ




### CATVチューナーをつなぐ




## DVDプレーヤーとつなぐ




**お知らせ**

- 映像端子との接続では、最適な画面モードが自動選択されない場合があります。この場合は「画面モード」P.58でお好みの画面モードを選んでください。
- つないだ機器で見るときは、入力切換で「ビデオ」を選んでください。

**ご注意**

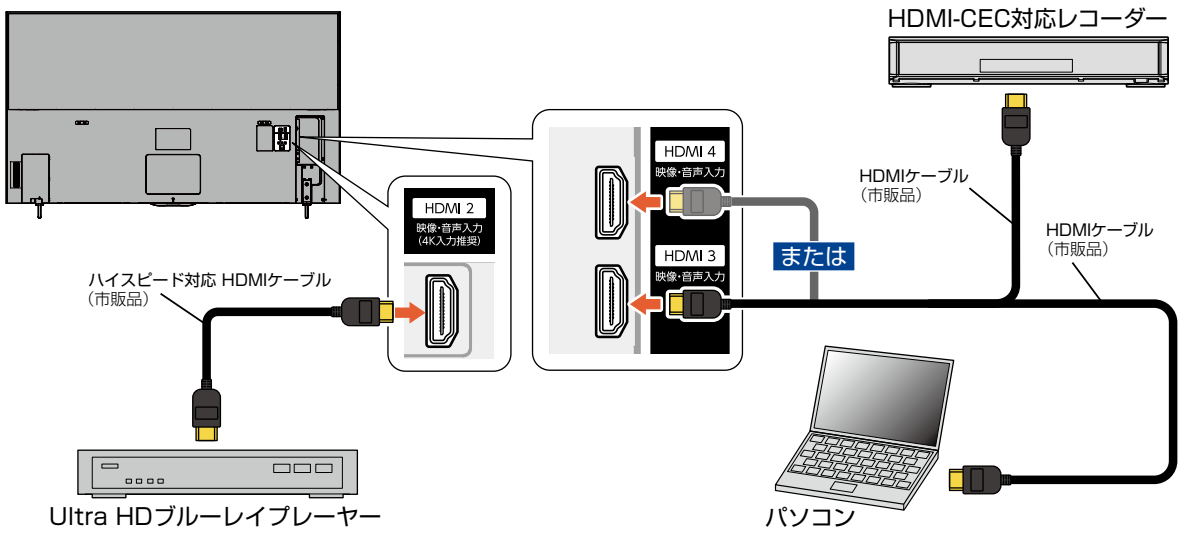
- 映像信号ケーブルと音声信号ケーブルは、束ねてご使用ください。
- DVDプレーヤーの接続や操作について、くわしくは機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- DVDプレーヤー側のテレビ画面モードの設定を16:9にしてください。
  4:3(レターボックス、パンスキャン)に設定されていると適正な画面モードで見ることができません。

## HDMI機器と接続する

映像・音声信号を1本のケーブルでつなぐことができます。

また、HDMI-CEC（Consumer Electronics Control）規格に準拠した機器にHDMI ケーブルで接続することにより、相互連動動作を可能にします。（当社製のレコーダー側では、**[機器制御]** を **[入]** に設定してください。）HDMI機器連動機能について、くわしくは「HDMI-CEC対応機器を操作する」P.110をご覧ください。

**例**：HDMI-CEC 対応レコーダーやパソコンをHDMI 入力端子に接続する




**お知らせ**

- 対応している映像信号
  480i、480p、720p、1080i、1080p 24Hz/30Hz/59.94Hz/60Hz、2160p 24Hz/30Hz/59.94Hz/60Hz
- 対応している音声信号
  種類：リニアPCM、ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス　サンプリング周波数：48kHz/44.1kHz/32kHz
- HDMI対応機器の映像や音声を楽しむときは、入力切換で「HDMI1～4」を選んでください。
- 非対応の信号を入力すると、映像が出なかったり映像が乱れたりすることがあります。
- HDMI端子付きパソコンを接続するときは、HDMI規格に適合した信号が出力されるようパソコンを設定のうえご使用ください。
- HDMI入力が正しく映らない場合は、**[ホーム]➡[設定／お知らせ]➡[機能設定]➡[その他の設定]➡[HDMI入力信号設定]** で接続しているHDMIを選んで、映像に合った設定にしてください。P.162

**ご注意**

- HDMIケーブルはHDMI規格認証されたハイスピードHDMIケーブルをご使用ください。
- HDMI対応機器の接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。また、HDMI-CEC対応機器は製品毎に接続方法や動作が異なりますので機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 本機のHDMI入力端子は、すべてのパソコンへの接続を保証するものではありません。
- パソコンの対応解像度など、くわしくはパソコンの取扱説明書を御覧ください。

## ARC対応のAVアンプとつなぐ

### ▷ARC(オーディオリターンチャンネル)について

テレビとAVアンプをHDMIケーブル1本で接続して、映像と音声のテレビへの入力とデジタル音声のテレビからの出力が可能で、従来必要だった光デジタルケーブルが不要になります。テレビもAVアンプもARCに対応している必要があります。

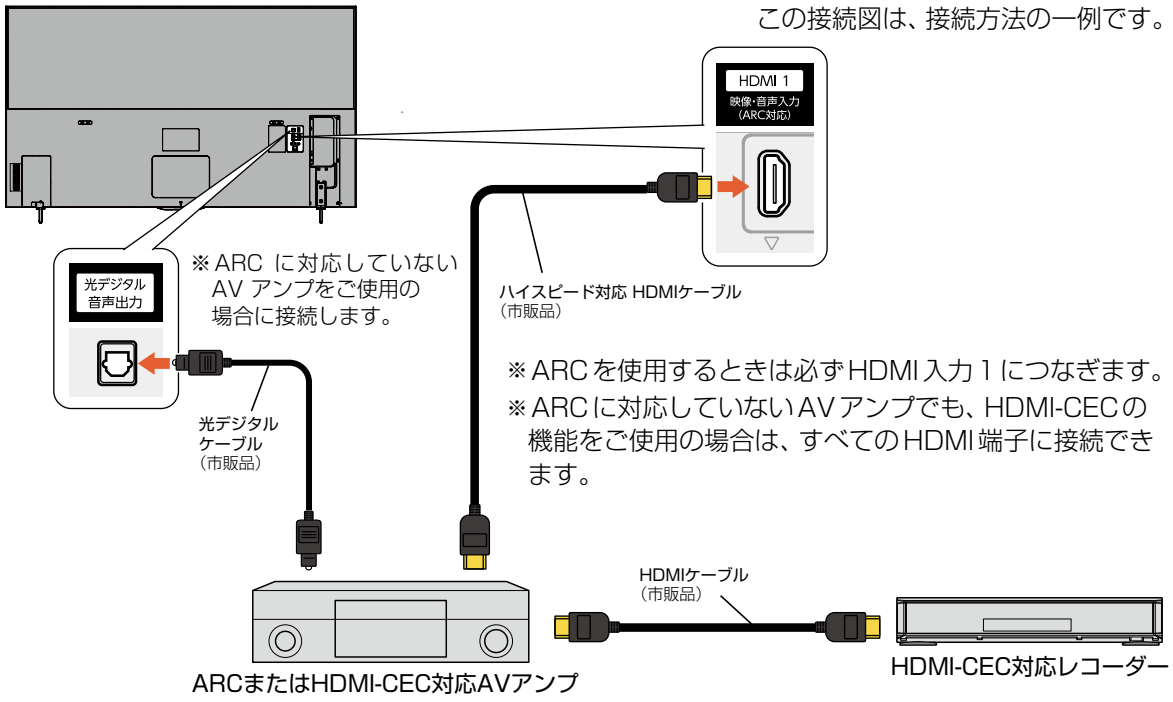
**例：**ARCまたはHDMI-CEC対応AVアンプを「HDMI1 入力」に接続する

本機のリモコンで、HDMI-CECに対応したAVアンプの音量調節ができます。P.111接続後は、下記の設定をする必要があります。

- **[HDMI 機器連動]**P.140を**[入]**に設定する。
- デジタル音声(光)出力接続時は、接続先に合わせて**[デジタル音声出力]**P.132を設定する。
- **[スピーカー出力]**を**[外部音声機器]**に設定する。P.132

また、本機はHDMI入力1のみARC(オーディオリターンチャンネル)に対応しています。

この接続図は、接続方法の一例です。

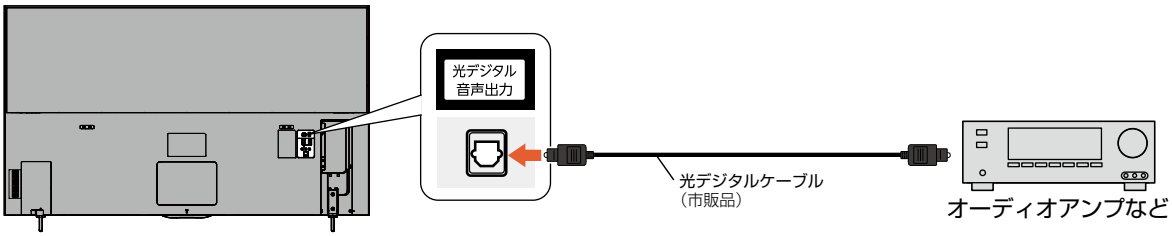



**ご注意**

- HDMI-CEC対応AVアンプをつないだときは、レコーダーなど周辺機器はAVアンプと接続してください。周辺機器からのサラウンドやデジタル音声出力でお聞きになれます。
- AVアンプにHDMI-CEC対応機器をつなぐときは、AVアンプの電源が「切」になっているとHDMI-CEC機能が使えない場合があります。「入」や「スタンバイ」にしてください。
- HDMI-CEC対応AVアンプをつないだときは、デジタル音声(光)出力もAVアンプと接続してください。(ARC対応のAVアンプでARCを使用するときは接続不要です。)AVアンプに電源が入っているとき、本機の音声が消音される場合がありますのでAVアンプで本機の音声を聞けるようにします。この場合でもリモコンの消音ボタンで消音になります。
- ARCを使用するためには、ARC対応のAVアンプが必要です。また、AV アンプ側の設定が必要な場合があります。
- ARCを使用するときは必ず、HDMI入力1につないでください。本機とつなぐHDMIケーブルのAVアンプ側はHDMI出力に接続してください。
- テレビに映像を映すために、AVアンプ側の設定が必要な場合があります。
- 製品毎に接続方法や動作が異なりますので、接続する外部機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

## デジタル音声(光)入力対応のオーディオ機器との接続

デジタル音声（光）入力端子を持つオーディオ機器を接続すると、デジタル音声で聞いたり録音したりすることができます。マルチチャンネル対応のオーディオ機器では、デジタル放送のサラウンドを迫力ある音声で楽しむことができます。接続後は、接続先に合わせて**[デジタル音声出力]** P.132 の設定が必要です。




**お知らせ**

- 接続できるオーディオ機器は、ビットストリームまたはPCMに対応したアンプやMDなどで、デジタル音声(光)入力端子を持つ機器です。
- PCMとは、Pulse Code Modulation の略称でCDなどで使われている2chのデジタル信号です。
- 外部オーディオアンプを使って音声を聞くときは、テレビの音量を「0」にするか、「スピーカー出力」P.132 を「外部音声機器」にしてください。

**ご注意**

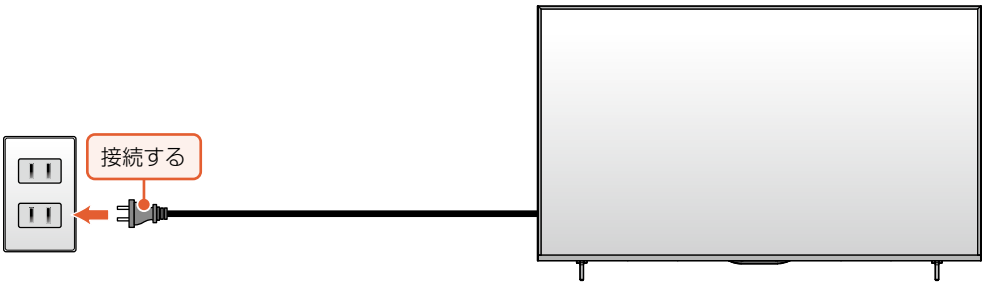
- 接続前にテレビとオーディオ機器の電源を必ず切ってください。
- 接続するオーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

# 準備6 電源を入れる

## 電源プラグを挿し込む

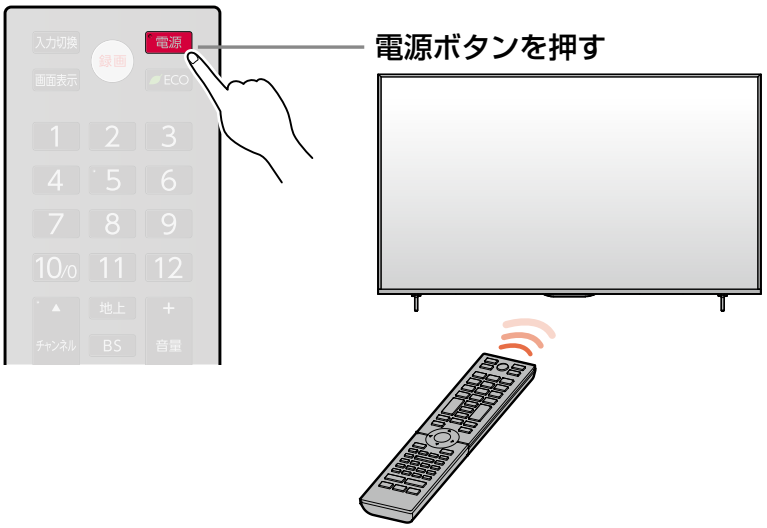
- 電源プラグを交流（AC）100 Vのコンセントに挿し込むと、本機が通電状態になります。

**電源プラグは容易に手が届く場所のコンセントに挿し込んでください。**




## 本機の電源を入れる

- 「かんたん一括設定」の開始画面が表示されるので、続けて「かんたん一括設定をする」P.43〜P.49をご覧のうえ、本機の設定を完了させてください。




**お知らせ**

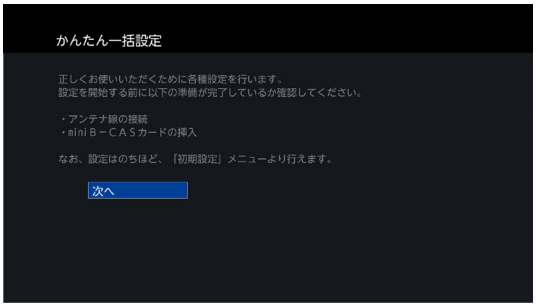
- 電源を入れた際、起動に時間がかかる場合がありますが、これは内部システムによる仕様のため、故障ではありません。
- 本機のリモコン受光部の位置についてはP.15をご覧ください。
- リモコンの準備のしかたについてはP.25をご覧ください。

# 準備7 「かんたん一括設定」をする

接続が終わって初めて本機の電源を入れたときは、テレビ画面に［かんたん一括設定］の開始画面が表示されます。画面の案内やガイドに従って最後まで設定してください。

- ［かんたん一括設定］は必ず**アンテナが接続された状態**で、番組が放送されている時間帯に行ってください。放送がない時間帯に行うと、信号が受信できないためにチャンネル設定が正常にできず、チャンネルが選択できない状態となります。
- ［かんたん一括設定］実行中は電源プラグを抜かないでください。
- ［かんたん一括設定］実行中に 電源 を押すと、本機の電源は切れますが［かんたん一括設定］が完了したことにはなりません。次回起動時に［かんたん一括設定］を最後まで設定してください。
- 転居でお住まいの地域が変わったときなど、［かんたん一括設定］をやり直したいときは P.152 をご覧ください。

## 1 画面に表示されている準備が完了していることを確認し、次へ が選ばれているので 決定 を押す



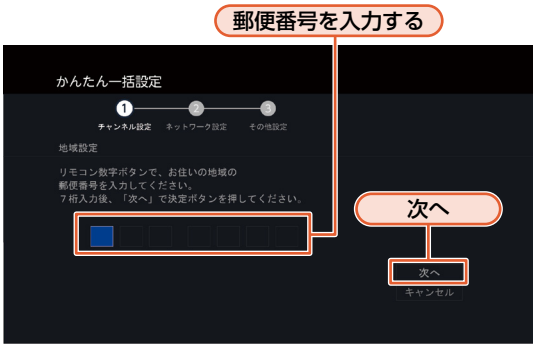
- 確認画面が表示され、かんたん一括設定を開始する が選ばれているので、そのまま 決定 を押してください。
- ［かんたん一括設定］の開始画面が表示されない場合は、「かんたん一括設定で再設定する」P.152 の手順を行ってください。

▷ **アンテナ線の接続のしかたについては** P.36 をご覧ください。

▷ **miniB-CASカードの入れかたについては** P.35 をご覧ください。

### ■地域設定

## 2 1 ～ 10/0 で、お住まいの地域の郵便番号を入力し、次へ が選ばれている状態で 決定 を押す



- 間違えたときは◀で戻り、入力し直してください。

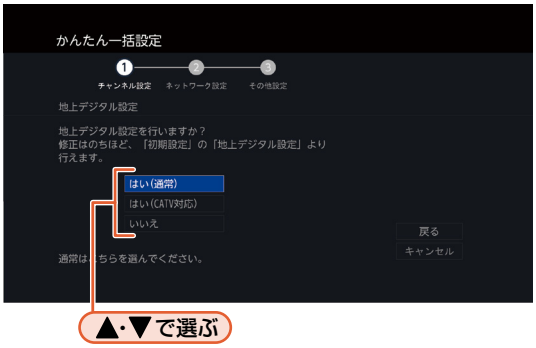
次ページへつづく

## 3 お住まいの県域を選んで決定を押す

- 伊豆、小笠原諸島地域は、**東京都(島部)**を選びます。
- 南西諸島鹿児島県地域は、**鹿児島県(島部)**を選びます。

## ■地上デジタル設定

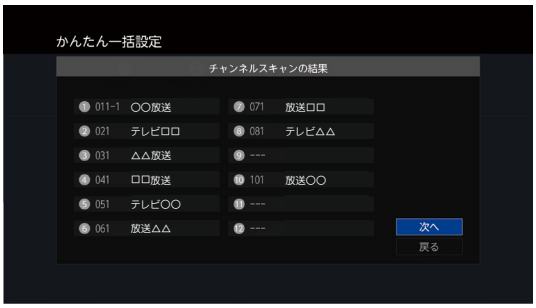
## 4 地上デジタル放送チャンネルスキャンの種類を選んで決定を押す




| | |
|---|---|
| **はい(通常)** | 地上デジタル放送のチャンネルをスキャンします。 |
| **はい(CATV対応)** | CATV(ケーブルテレビ)のチャンネルをスキャンします。 |

- スキャンが始まります。
(スキャンには10分程度かかることがあります。)
- スキャンが終わると、受信されたチャンネルは自動的にリモコンの数字ボタンに割り当てられ、画面に結果が表示されます。

## 5 次へ が選ばれている状態で決定を押す




- **[チャンネルスキャンの結果]**で **戻る** を選ぶと、地上デジタル放送のスキャンをやり直すことができます。

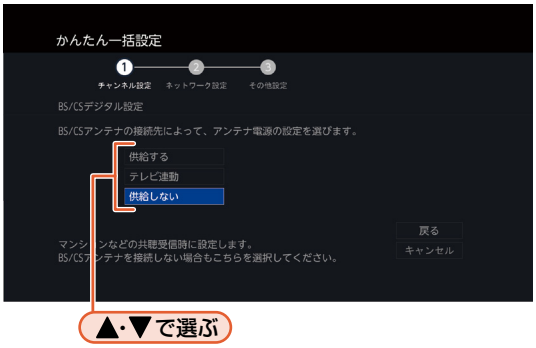
**ご注意**

- 地上デジタル放送が受信できない、または受信できないチャンネルがある場合は、「地上デジタル放送が映らない。」P.179 をご覧ください。

## ■BS／CSデジタル設定

BS・110度CSデジタル放送用アンテナで放送を受信するには、アンテナへの電源供給が必要です。
アンテナの接続環境に合わせて設定してください。

### 6 アンテナに電源を供給するかしないかを選んで決定を押す



| | |
|---|---|
| 供給する | 本機とアンテナを直接つなぎ、他の機器などから電源を供給していない場合は、こちらを選択してください。おもに、一戸建て住宅などで受信するときに設定します。 |
| テレビ連動※ | ※ テレビ連動 に設定すると、電源「切」（待機）時は電源供給を行いません。 |
| 供給しない | 他の機器から電源を供給している場合や、CATVなどで受信しているとき、また、BS・110度CSデジタル放送用アンテナを接続しない場合もこちらを選択してください。おもに、マンションなどの共聴受信時に設定します。 |

**ご注意**

- 「BS／CSデジタル設定」の「アンテナ電源」の設定を**[供給する]**にしたときは、本機の電源コードを常にコンセントに挿し込んで（通電状態にして）おいてください。
- BS・110度CSデジタル放送用アンテナのアンテナ線がショートすると、「アンテナ電源」の設定が自動的に**[供給しない]**に切り換わることがあります。
- アンテナの設置や工事、アンテナやアンテナ線などの修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。

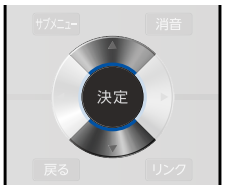
**お知らせ**

- アンテナレベルの数値は、アンテナ設置方向の最適値や受信状況を確認するための目安で、チャンネルによって異なります。表示されている数値は、受信している電波の強さではなく質（信号と雑音の比率）を表しています。数値は、天候などの影響を受けて増減することがあります。また、地上デジタル放送では放送局や環境によって大きく変わることがあります。
- 1台のBS・110度CSデジタル放送用アンテナを複数の機器で共用しているときは、アンテナ（ケーブル）を最初に接続している機器からアンテナ電源を供給してください。

## ■ネットワーク設定

ネットアプリを利用するには、ネットワーク設定が必要です。
ネットワーク環境に合わせて設定してください。

### 7 ネットワークを設定するかしないかを選んで決定を押す




- ネットワーク設定を行う を選んだ場合は、手順8に進んでください。
- ネットワーク設定をせず、次へ を選んだ場合は、手順9「テレビの設置設定」P.48に進んでください。
- **[インターネット接続に成功しました。]**以外の結果画面が表示された場合は、画面のメッセージに従ってもう一度設定を行ってください。

次ページへつづく

## 8 有線LAN または 無線LAN を選んで 決定 を押す

- ネットワークの接続方法についてくわしくは P.141 をご覧ください。
- 有線LAN を選んだ場合は、「有線LANを設定する」をご覧ください。
- 無線LAN を選んだ場合は、「無線LANを設定する」をご覧ください。
- 有線LAN と 無線LAN は同時に利用できません。
- 設定せず、次へ を選んだ場合は、手順9「テレビの設置設定」P.48 に進んでください。

### 有線LANを設定する

- ネットワーク設定 の各項目を自動で設定し、自動的にネットワークの接続テストを開始します。接続テストが終わると確認画面が表示されます。次へ を選んで 決定 を押して、手順9「テレビの設置設定」P.48 に進んでください。
- [インターネット接続に成功しました。] 以外の結果画面が表示された場合は、画面のメッセージに従ってもう一度設定を行ってください。

### 無線LANを設定する

- 無線LANをお使いになるときは、セキュリティなどで暗号化してお使いください。暗号化していないと、第三者に不正アクセスされ、情報漏えいの恐れがあります。
- 無線LANネットワークのセキュリティを設定していない場合は、ホームネットワークの機能はお使いになれません。

**設定する環境を選んで 決定 を押す**

▷ **かんたん接続(プッシュボタン) を選んだときは**

プッシュボタン方式で、かんたんに無線LANを設定できます。

**① 画面の指示に従って、無線LANアクセスポイントのWPSボタンを押す**

**② 接続 を選んで 決定 を押す**

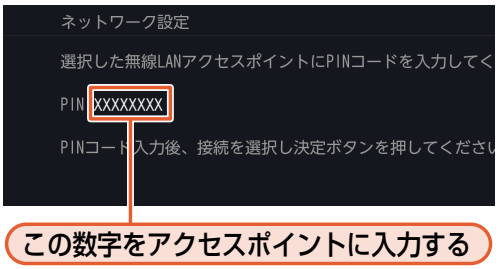
- 自動的に各項目が設定され、無線LANの設定が完了します。設定が完了すると、確認画面が表示されます。次へ を選んで 決定 を押して、手順9「テレビの設置設定」P.48 に進んでください。
- [インターネット接続に成功しました。] 以外の結果画面が表示された場合は、画面のメッセージに従ってもう一度設定を行ってください。

▷ **かんたん接続(PINコード) を選んだときは**

PINコード方式でかんたんに無線LANを設定できます。

**① 検出された無線LANアクセスポイントから、本機の接続先を選んで 決定 を押す**

**② 表示されたPIN コードを無線LANアクセスポイントやパソコンに入力する**




**③ 接続 を選んで 決定 を押す**

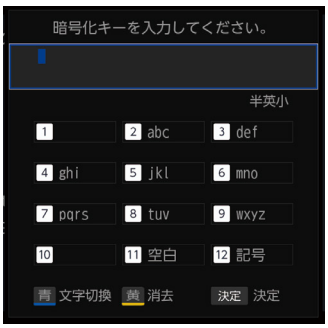
- PINコードの入力のしかたは、お使いの機器に付属の取扱説明書をお読みください。
- 自動的に各項目が設定され、無線LANの設定が完了します。設定が完了すると、確認画面が表示されます。次へ を選んで 決定 を押し、手順9「テレビの設置設定」P.48 に進んでください。

▷ **無線LAN自動検出 を選んだときは**

本機が利用可能な無線LANアクセスポイントを検出して、設定します。

**① 検出された無線LANアクセスポイントから、本機の接続先を選んで 決定 を押す**

**② 暗号化キーを入力する**




❶ 青 で **半英小（小文字）** **半英大（大文字）** **半数** を選ぶ

❷ **1** ～ **12** で文字（数字／記号）を入力する

- ①～②を繰り返して入力します。
- 間違えたときは 黄 を押して、入力し直してください。

❸ **入力が終わったら、決定 を押す**

- 自動的にネットワークの接続テストを開始します。接続テストが終わると確認画面が表示されます。
  **次へ** を選んで 決定 を押して、手順9「テレビの設置設定」P.48 に進んでください。
- **[インターネット接続に成功しました。]** 以外の結果画面が表示された場合は、画面のメッセージに従ってもう一度設定を行ってください。

**お知らせ**

- 2.4GHz帯の機器（電子レンジなど）をお使いの場合は、無線LANの通信が途切れることがあります。
- 2.4GHz帯の無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、USB3.0対応のUSB-HDDを使用すると、無線LAN通信が途切れることがありますので、USB-HDD、USBハブおよびUSBケーブルは本機の近くには設置せず、本機内蔵の無線LANアンテナ部からできるだけ離して配置してください。
- 5GHz帯に対応した無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。
- 無線LANの通信状態が良くない場合は、無線LANルーター（アクセスポイント）の位置などを変更すると、通信状態が改善されることがあります。
- すべての無線LANルーター（アクセスポイント）での接続を保証するものではありません。



次ページへつづく

## ■テレビの設置設定

本機の設置方法によって設定を変更してください。

### 9 テレビの設置設定を選んで 決定 を押す

| | |
|---|---|
| テレビスタンド | 本機をテレビスタンドで設置した場合は、こちらを選択してください。 |
| 壁掛け | 本機を壁掛けユニットで設置した場合は、こちらを選択してください。 |

## ■省エネ設定

省エネ設定に切り換えると、ご家庭での視聴に適した消費電力の少ない画質になります。

### 10 省エネ設定をするかしないかを選んで 決定 を押す

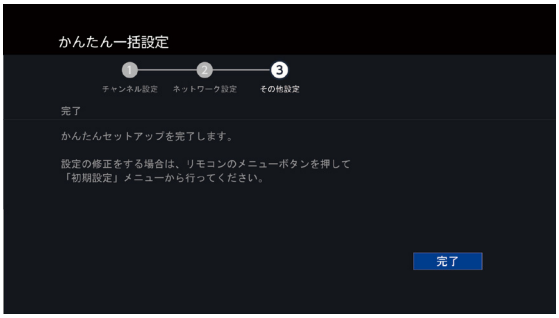
**お知らせ**

- この手順で省エネ設定に切り換えなくても、かんたん一括設定完了後、**[ホーム]➡[設定／お知らせ]➡[機能設定]➡[画質設定]➡[映像モード]**で切り換えることができます。P.125

### ▷画面の明るさを調整するには

**[ホーム]➡[設定／お知らせ]➡[機能設定]➡[画質設定]➡[明るさ調整]➡[バックライト]**でお好みの画質(明るさ)に調整することができます。画面を暗くすると、消費電力の節約になります。P.125

## 11 完了 が選ばれているので、そのまま 決定 を押す



- **[かんたん一括設定]** が完了します。
  かんたん一括設定を完了すると、地上デジタル放送に切り換わります。
  地上デジタル放送を受信していない場合は、映像が映りませんが、故障ではありません。
  このようなときは、「困ったときは」の「地上デジタル放送のとき」P.178 をお読みになり、症状をご確認ください。

### ▷USB-HDDを接続している場合は

**[かんたん一括設定]** が完了後、**[本機に登録されていないハードディスクが検出されました。ハードディスク登録設定を行いますか？]** の確認画面が表示され、引き続きUSB-HDDを本機で使うための設定が行えます。
くわしくは P.119 の手順6以降をご覧ください。また、他のテレビやパソコンで使用されていたUSB-HDDを登録すると、USB-HDD内のデータはすべて消去されます。くわしくは P.114 をご覧ください。

### ▷テレビの見かたについて

「デジタル放送を見る（地上・BS・110度CSデジタル）」P.50 をご覧ください。

### ▷お好みの数字ボタンにお好みの放送を割り当てるには

「数字ボタンのチャンネルを追加・変更する」P.155 をご覧ください。

# デジタル放送を見る

## デジタル放送を見る（地上・BS・110度CSデジタル）

本機は外部入力からの4K映像はお楽しみいただけますが、2018年12月1日スタートのBS・110度CSによる4K・8K放送は受信できません。別売の対応チューナーが必要です。



### 1 電源を押して電源を入れる

- 本機の電源LEDが青色に点灯します。（通電状態のときに使えます。）

### 2 音量で音量を調節する

- 本機側面の音量＋／－ボタンで調節することもできます。
- スピーカーとヘッドホンの音量は、それぞれ0から60まで別々に調節することができます。P.75
- 大きすぎたり小さすぎたりする音量を[ぴったり音量]P.131で自動調節するとが、いつも安定した音量で視聴できます。

### 3 地上、BS、CSのいずれかを押して、視聴したいデジタル放送の種類を選ぶ

### 4 チャンネルを選ぶ

- 数字ボタンに設定する放送チャンネルを追加したり変更したりする場合は、「数字ボタンのチャンネルを追加・変更する」P.155をご覧ください。

#### リモコンのボタンに設定されているチャンネルを選ぶ

**数字ボタンを押す**

#### 3桁のチャンネル番号を入力して選ぶ

**3桁入力を押したあと、数字ボタンで3桁入力する**

■5秒以内に次の番号を押してください。

例：103チャンネルを選ぶとき
「0」を入力するときは10/0を押します。

#### チャンネルを順送り／逆送りで選ぶ

**チャンネルを押す**

- 本機側面のチャンネル＋／－ボタンで選ぶこともできます。

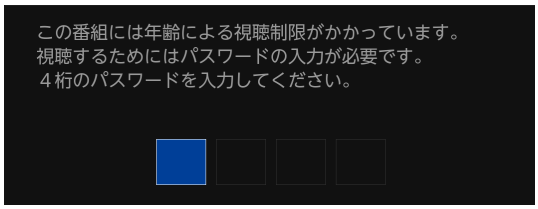
■視聴しないチャンネルを飛び越し（スキップ）できます。P.156

- 複数チャンネルが同じ番組を放送している場合は、自動的にスキップします。

## 視聴年齢制限を一時的に解除するとき

[視聴年齢制限] P.136 で設定した年齢以上の制限がかかった番組を見たいときは、暗証番号の入力が必要です。

### 1 ～ 10/0 で４桁の暗証番号を入力する




- 入力した数字は「＊」で表示されます。
- 「0」を入力するときは 10/0 を押します。
- 間違えたときは◀を押して、１文字消すことができます。

視聴制限が解除され、番組を見ることができます。



**お知らせ**

- 電源を入れた際、起動に時間がかかる場合がありますが、これは内部システムによる仕様のため、故障ではありません。
- 電源ボタンで「切」にすると待機状態になります。一部の回路が通電しています。
- 暗証番号を登録して視聴年齢制限 P.136 を設定している場合は、視聴年齢制限の対象番組を選んだときに、暗証番号入力画面が表示されます。
- 地上アナログ放送で受信できた放送局が地上デジタル放送では受信可能エリアが異なり受信できないことがあります。受信状況（受信レベル）の確認ができます。 P.157

**ご注意**

- 携帯電話や無線機などをご使用になるときは本機や接続機器に近づけないでください。音声に異音が入ったり、本機にノイズが出たりする場合があります。異音が出たり、本機にノイズが出たりした場合には、携帯電話などを離してご使用ください。
- 地上デジタル放送が受信できない、または受信できないチャンネルがある場合は、「地上デジタル放送のとき」 P.179 をご覧ください。

# データ放送を見る

デジタル放送には、テレビ放送、BSラジオ放送、データ放送の分類があります。
データ放送では、画面を見ながらボタンで操作して、お好みの情報を見ることができます。
データ放送には、連動データ放送と独立データ放送があります。

## テレビ放送に連動したデータ放送を見る

番組によっては、テレビ放送やBSラジオ放送の内容に合わせた情報をデータ放送で提供されることがあります。またデータ放送を利用して、視聴者がリモコンを操作して番組に参加できるテレビ放送などもあります。P.172

### 1 デジタル放送を見ているときにデータを押す

- 番組に連動しているデータ放送が表示されます。

### 2 画面の指示に従って、リモコンで操作する

- ４種類の色ボタン(青、赤、緑、黄)や▲・▼・◀・▶、決定を使って操作してください。それ以外のボタン操作が必要な場合もあります。
- 連動データ放送を見ているときにデータをもう一度押すと、テレビ放送またはBSラジオ放送に戻ります。

**お知らせ**

- 番組によってはテレビ放送やBSラジオ放送に連動した情報が、自動的にデータ放送に切り換わって表示されることがあります。
- 電話回線のみで通信が行われるデータ放送には、対応していません。くわしくは放送事業者へお問い合わせください。
- データ取得中などでデータ放送画面がすぐに表示できないとき、画面左下に**[データ取得中]**が表示されます。表示が消えたら、再度データを押してください。

## サービスを切り換える(独立データ放送を見る)

### 1 デジタル放送を見ているときにサブメニューを押す

### 2 サービス切換 を選んで決定を押す

- サービスが切り換わります。切り換わるサービスの種類は、デジタル放送の種類によって異なります。

### 3 チャンネルを押して、チャンネルを選ぶ

- 番組表P.60から選んだり、３桁のチャンネル番号を入力したりして選局することもできます。

## 4 画面の指示に従って、リモコンで操作する

- ４種類の色ボタン（青、赤、緑、黄）や▲・▼・◀・▶、決定を使って操作してください。それ以外のボタン操作が必要な場合もあります。

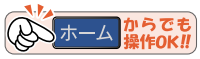
**お知らせ**

- サービスを切り換えたあとに番組表を表示すると、切り換えたサービスのみの番組表が表示されます。
- データ取得中などでデータ放送画面がすぐに表示できないとき、画面左下に**[データ取得中]**が表示されます。表示が消えたら、再度 d（データ）を押してください。

# 他の機器の映像を見る（入力切換）

他の機器との接続方法については、P.38〜P.41をご覧ください。

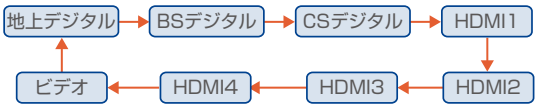
**例**：HDMI3端子に接続したDVDプレーヤーの映像を見る場合




## 1 本機とDVDプレーヤーの電源を入れる

## 2 リモコンの入力切換を押して、HDMI3 に切り換える

- 入力切換を押すごとに次のように切り換わります。




項目を選んで決定を押して切り換えることもできます。

- 本機側面の入力切換ボタンで切り換えることもできます。

## 3 DVDの再生をする

**ご注意**

- ビデオやDVDプレーヤーなどの接続や操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。

# 音声を切り換える

テレビの音声には二重音声（二カ国語）・ステレオ・サラウンドなどがあり、自動的に切り換わります。
二重音声（二カ国語）放送や音声信号が複数ある場合などは、お好みに合わせて切り換えることができます。

### 複数の音声がある番組を見ているときに 音声切換 を押す

**主音声**

- 音声切換 を押すごとに次のように切り換わります。
  ※二重音声の場合の表示例

- 項目を選んで 決定 を押して切り換えることもできます。
  切り換わる音声の種類は、番組によって異なります。

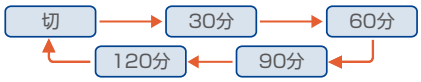
**お知らせ**

- USB-HDDで録画した番組の再生時も有効です。
- ビデオなどの再生時は、ビデオ機器側で音声切換をしてください。
- 外部入力のときは、音声切換ボタンで音声を切り換えられません。

# 自動的に電源を切る（おやすみタイマー）

### おやすみ を押す

- ボタンを離したところの時間が設定されます。
  押すごとに次のように切り換わります。




表示が消えて、おやすみタイマーがスタートします。

▷ **おやすみタイマーを取り消したいときは**
おやすみタイマー 切 が選択されるまで おやすみ を押す

▷ **設定後に電源が切れるまでの時間を確認したいときは**
おやすみ を1回押す
2回以上押すとおやすみタイマーが設定し直されます。

▷ **電源が切れる1分前になると**
**「おやすみタイマー　1分前」**の表示が出ます。

# 自動的に電源を入れる（オンタイマー）

自動的に本機の電源を入れることができます。
また、オンタイマーを使う曜日と時刻や、電源が入ったときに選ばれるチャンネルと音量を設定できます。

## 1 サブメニュー を押して、オンタイマー を選んで 決定 を押す

## 2 入 を選ぶ

- 予約日、開始時刻、音量、チャンネル、時計表示など、オンタイマーの内容を変更する場合は、手順3 へ進みます。
- オンタイマーの内容に変更がない場合は、手順8 へ進みます。

## 3 予約日と開始時刻を選ぶ

### ① [予約日] へ移動して、予約日を選ぶ

- 毎日 、毎週（日） ～ 毎週（土） を選択することができます。
- お買い上げ時は 毎日 に設定されています。

### ② [開始時刻] へ移動して、時刻を選ぶ

- お買い上げ時は AM 7:00 に設定されています。
- 午前は AM に、午後は PM に合わせます。
- 昼の12時は PM0:00 に、夜の12時は AM0:00 に合わせます。

## 4 音量を選ぶ

### ① [音量] へ移動して、音量を選ぶ

- お買い上げ時は 20 に設定されています。

## 5 自動で電源「切」にするまでの時間を選ぶ

- オンタイマーで電源「入」になったあとは、安全のため、自動でオフタイマーを設定できます。電源「入」になってから何分後に自動で電源「切」にするかを設定してください。

### ① [電源オフ] へ移動して、自動で電源「切」にするまでの時間を選ぶ

- お買い上げ時は 30分後 に設定されています。
- [電源オフ] を 切 に設定した場合は、自動で電源が切れません。

▷ **オンタイマーで電源「入」になったあとの[電源オフ]の解除のしかた**

- おやすみタイマーを使います

① おやすみ を押す

② おやすみ をくり返し押して 切 を選ぶ または、切 を選んで 決定 を押す

## 6 放送の種類とチャンネルを選ぶ

### ① [放送の種類] へ移動して、放送の種類を選ぶ

### ② [チャンネル] へ移動して、チャンネルを選ぶ



次ページへつづく

## 7 時計表示を選ぶ

① **[時計表示]へ移動して、表示する または 表示しない を選んで 決定 を押す**

・お買い上げ時は 表示しない に設定されています。

**お知らせ**

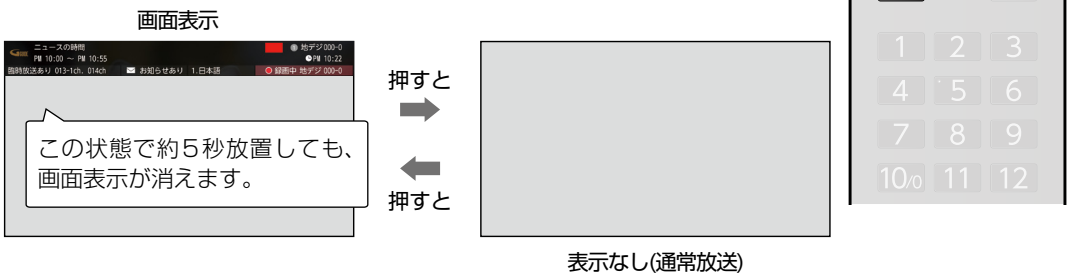
- オンタイマーを設定後は、電源プラグを抜かないでください。
  電源を切るときは電源ボタンを押してください。
- オンタイマーで電源が入ったあとは、手順5で設定された時間を経過すると、自動的に電源が切れます。
- 時刻取得ができていない場合は「オンタイマー」は選択できません。

# 画面表示を確認する

現在見ている番組のチャンネル番号、映像や音声の種類、画面モード、現在時刻などを確認できます。

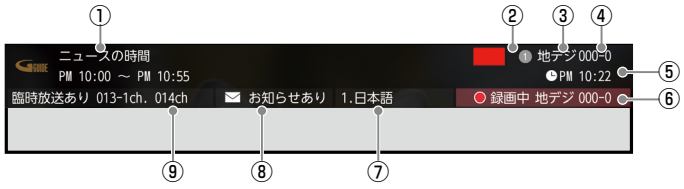
**画面表示 を押す**

- 押すごとに次のように切り換わります。




## 画面表示の見かた

**デジタル放送の場合**




**外部入力の場合**

① 現在視聴中の番組の放送時間と番組名
② 放送局ロゴとリモコンのボタン番号
③ 放送の種類
④ チャンネル番号
⑤ 現在時刻
⑥ 録画情報
⑦ 音声の種類※1
⑧ 未読のお知らせの有無
⑨ 臨時放送表示※2
⑩ 解像度
⑪ 現在視聴中の外部入力

※1:デジタル放送の音声表示の種類には、主音声、副音声、主／副、サラウンド、ステレオ、モノラル、言語名(視聴中の番組により「日本語」「英語」など、表示が異なります)があります。
※2:臨時放送とは、通常休止扱いとなっているチャンネルでの放送です。

# 現在時刻を表示する

**時計 を押す**

- 現在時刻の表示／非表示を切り換えることができます。

PM 10:22

- 他の画面表示が表示されているときは、一時的に時刻表示オフになります。
- デジタル放送を受信していないときは、現在時刻は表示されません。

# 字幕を出す

デジタル放送の番組によっては、字幕が表示できるようになっています。
本機では、字幕の表示／非表示や言語を設定できます。

**字幕があるデジタル放送の番組を見ているときに**
**サブメニュー を押して、字幕切換 を選んで 決定 を押す**

- 切 しか表示されない場合は、その番組に字幕はありません。

| | |
|---|---|
| **言語名** | 番組の字幕を表示します。視聴中の番組により、**[日本語][英語][外国語]**と表示が異なります。 |
| **切** | 字幕を表示しません。 |

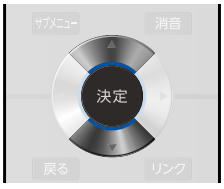
お知らせ
- 録画した番組の再生時も有効です。

# ECOモードにする

本機の消費電力を抑えるECOモードに切り換えます。

## 1 ECO を押す

## 2 設定を選んで 決定 を押す




| | |
|---|---|
| **入** | 画面の明るさを抑えることで、消費電力を抑えます。 |
| **切** | ECOモードがオフになります。 |

# 画面モードを選ぶ

映像に合わせた画面モードを選べます。選べる画面モードは、見ている番組や映像の種類によって異なります。

## 画面モード を押す

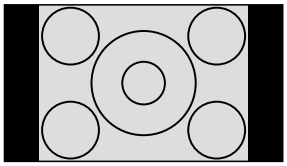
- 画面モード を押すごとに画面モードが切り換ります。
- 項目を選んで決定を押して切り換えることもできます。
  切り換わる画面モードの種類は、標準映像とハイビジョン映像とで異なります。

### ● 画面モードについて

#### ノーマル

**4:3の画面モードで見る**

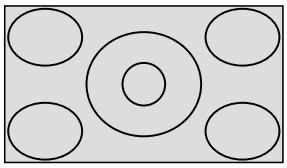
横と縦の比が4:3の映像に切り換わります。



#### ダイナミック

**4:3の映像をワイド画面で見る**

スポーツ番組を見るときなど、臨場感が増して迫力ある映像を楽しめます。
画面左右を拡大して、画面いっぱいに表示します。



4:3映像で左右の黒帯が気になるときにも使います。

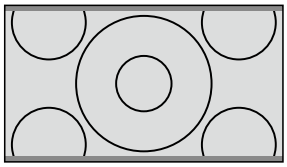
- 画面左右の映像が少し横に広がります。
- 画面上下の映像が少し外にはみ出します。

#### シネマ

**劇場サイズの映画・ビデオを見る**

劇場サイズの映像を、画面いっぱいに拡大して見ることができます。

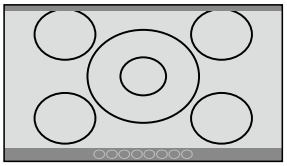
- 映像の上下の黒い帯が残るものもあります。



#### 字幕イン

**字幕付劇場サイズの映画・ビデオを見る**

字幕の部分を縦方向(上)にずらして画面の中に入れ、画面いっぱいに拡大して見ることができます。

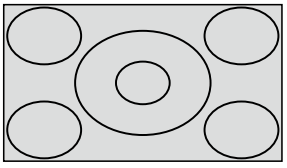


#### フル

**4K映像やハイビジョン番組、DVDなどのスクイーズ16:9映像を見る**

画面いっぱいに拡大して見ることができます。

- 4:3の映像では、映像全体が横に広がります。

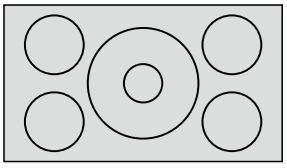


#### フルピクセル／ドットバイドット

**4K映像やハイビジョン番組、パソコンなどの映像を画素変換せずに見る**

画面からはみ出した部分がなく、映像信号をすべて画面内に表示します。画素変換を行わないので入力信号そのままの映像となります。

- 入力信号によっては画面周辺に黒い線などがでることがあります。



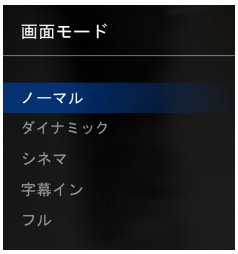
**ご注意**

- 本機は、各種の画面モード切換機能を備えています。番組やDVDなどの映像比率と異なるモードを選択すると、オリジナルの映像とは見えかたに差が出ます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。
- テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、画面モード切換機能を利用して、画面の圧縮や引伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

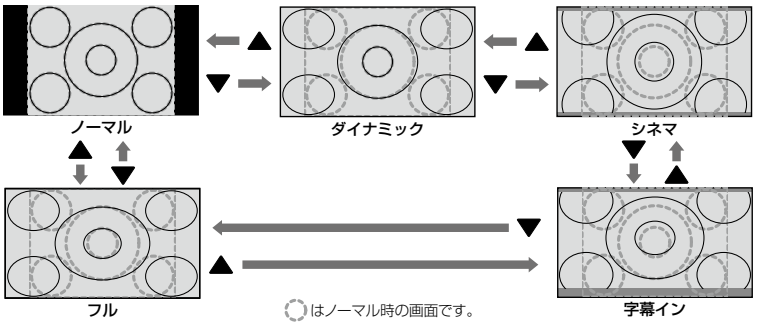
**お知らせ**

- アナログ入力では、DVDなどの画面モード識別信号(ID-1)により、自動で画面モードを切り換えることができます。(あらかじめメニュー機能で設定が必要です。設定のしかたについては、P.164をご覧ください。)
- デジタル放送の視聴中に予約が始まると、見ているモードにより画面モードが切り換わることがあります。
- 映像により、画面の端に欠けや映像以外の輝点などが見えることがあります。
- 動画配信サービスを視聴時、画面モードは変更できません。

## 標準映像(SD)の番組、ビデオ、DVDなどの場合

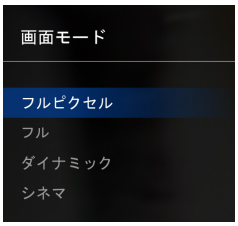



標準映像（480i、480P）

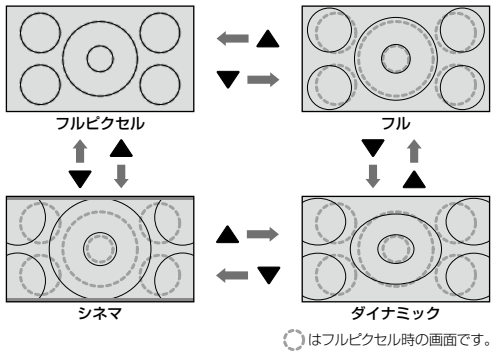



各画面モードの特徴は前ページをご覧ください。

## ハイビジョン(HD)の番組、ブルーレイディスクなどの場合



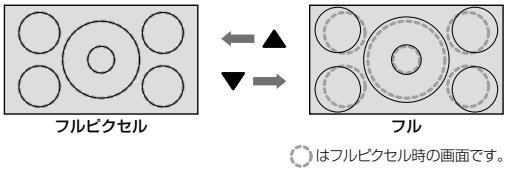

ハイビジョン映像
（720P、1080i、1080P）




各画面モードの特徴は前ページをご覧ください。

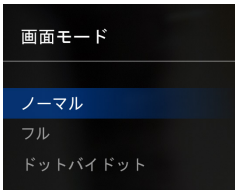
## 4K映像（Ultra HDブルーレイ）の場合

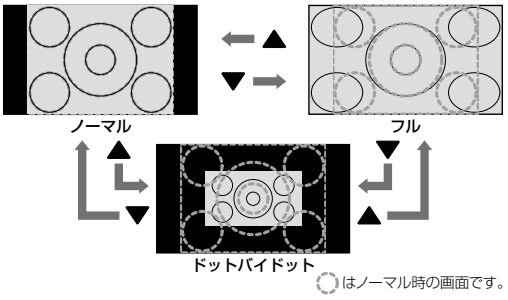
（2160P）




各画面モードの特徴は前ページをご覧ください。

## パソコン映像の場合



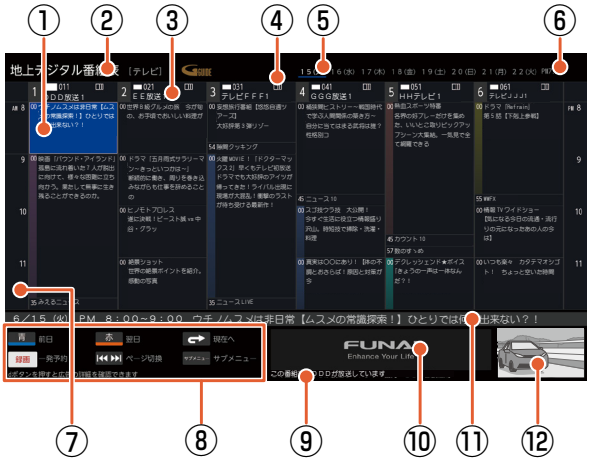




（パソコンからの入力解像度が640×480の場合）
※他の解像度の場合は、各画面モードの表示が異なります。
各画面モードの特徴は前ページをご覧ください。

# 番組表を見る

**本機は、番組表の表示機能にＧガイドを採用しています。**
なお、当社はＧガイドを利用した番組表サービス内容については、関与しておりません。放送局から送信されるデジタル放送の番組データを、新聞などのテレビ欄のように表示します。番組表は最大８日分まで表示できます。

## 番組表の見かた




① 選択中の番組
② 放送の種類／番組表の表示対象
③ リモコンのボタン番号／放送局の３桁のチャンネル番号／放送局のロゴ／放送局名
④ 折りたたみ表示
（マルチチャンネルを非表示の場合に表示されます）
⑤ 現在の日付から８日分の日付表示
⑥ 現在の日時
⑦ 時間
⑧ 操作ガイド
⑨ 放送局からのお知らせ
⑩ 広告
⑪ 選択中の番組の放送日時、番組名
⑫ 現在視聴中の放送局の映像

- 広告は消せません。
- 番組のジャンルが映画、ドラマ、アニメ、スポーツ、音楽に該当する場合は、ジャンルに応じて開始時刻の帯の色が変わります。

# 番組表を表示する／消す

## 表示する

**デジタル放送を見ているときに、番組表 を押す**

ホーム からでも操作OK!!

- 見ていた放送（BSデジタルのテレビ放送を受信中ならBSデジタルのテレビ放送）の番組表が表示されます。
- 番組表を表示中に放送の種類（地上･BS･CS）を切り換えることができます。番組表を消すと元の番組に戻ります。

## 消す

**番組表 または 戻る を押す**

- 番組表が消えます。

# 番組表を使う

## 表示を切り換える

### ▲·▼·◀·▶でカーソルを移動させる

- ボタンを長く押し続けると、高速でスクロールすることができます。番組欄の表示は一旦消えますが、ボタンを離すと再び表示されます。

**カーソル（青色の番組欄）**

- 上下左右に移動（スクロール）させることで、番組が切り換わります。

- 操作ガイドボタンを使うと、対応した操作が行えます。

## 現在の番組を表示する

**10秒戻し を押す**

- 現在放送されている時間帯の番組表に切り換えます。

## 他の時間帯の番組表を見る

**スキップ ・ スキップ を押す**

- 現在時刻以降の番組は表示されますが、それ以前の番組を表示することはできません。

## 広告の詳細を表示する

**データ を押す**

広告の詳細が表示されます。

- 広告詳細画面では、◀·▶で広告の切換（広告が複数ある場合のみ）、▲·▼で広告内容のスクロール（広告内容が１ページに収まっていない場合のみ）を行えます。
- 戻る を押すと広告詳細画面の表示を終了します。
- Gガイド用のデータが受信されていない場合は、データ を押しても広告の詳細は表示されません。Gガイド用のデータは、本機が待機状態（電源LEDが消灯）のときに定期的に受信されます。（その際、動作音がすることがあります）

## 番組表に表示する番組数を変える

**1** サブメニューを押す

- サブメニューが表示されます。

**2** 文字大きさ切換 を選んで 決定 を押す

**3** 表示したい番組数を選んで 決定 を押す

## チャンネルの表示方法を切り換える

デジタル放送の中には、1 つの放送局で複数の番組を放送しているマルチチャンネル放送があります。

**1** サブメニューを押す

**2** チャンネル表示方法切換 を選んで 決定 を押す

**3** チャンネルの表示方法を選んで 決定 を押す

| | |
|---|---|
| **代表チャンネル** | 放送局毎に 1 チャンネル表示をします。 |
| **マルチチャンネル** | マルチチャンネル表示をします。 |

- マルチチャンネル放送を行っていない放送局は、マルチチャンネル表示されません。

## 他の日の番組表を見る

**1** サブメニューを押す

**2** 日付切換 を選んで決定を押す

**3** 切り換えたい日付を選んで決定を押す

- お好みの日付に切り換わるまで青または赤を複数回押した場合でも、他の日の番組表に切り換わります。

## 表示対象(テレビ／データ／ラジオ)を切り換える

**1** サブメニューを押す

**2** 表示対象切換 を選んで決定を押す

**3** 表示対象を選んで決定を押す

| | |
|---|---|
| テレビ | 番組表の表示をテレビ放送に切り換えます。 |
| データ | 番組表の表示をデータ放送に切り換えます。 |
| ラジオ | 番組表の表示をラジオ放送に切り換えます。 |

- 表示対象を切り換えると、切り換えた放送チャンネルのみの番組表が表示されます。

# 番組表の表示／受信について

## 番組表の表示について

お買い上げ後、すぐには番組表を表示できません。

- 「かんたん一括設定」(チャンネル設定)を済ませていないと番組データが受信できないため、番組表を表示できません。

## 番組データの受信について

番組データ(Gガイド用のデータを含む)は、本機が待機状態(スタンバイ)のときに定期的に受信されます。(その際、動作音がすることがあります。)

- 電源コードは抜かずに、通電状態にしておいてください。
- 新しい番組データを受信すると、自動的に番組表の一覧の内容が更新されます。(更新できなかったところは、空欄になるか前回の内容が残ります。)なお、視聴中であっても、視聴チャンネルの番組データは取得されます。
- 受信には通常、数十分かかります。
- ダウンロード更新と番組データの受信が重なったときは、ダウンロード更新が優先されます。



## デジタル放送の番組表について

地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送の番組表は、それぞれの放送を受信できる環境であれば、それぞれの放送の番組表を表示することができます。P.60

## CATV(ケーブルテレビ)の番組表について

CATVは、放送や伝送方式により、本機で番組表を受信できないことがあります。その場合は、ご利用のCATV会社にご相談ください。

**お知らせ**

- 次のようなときは、番組データが受信できず、番組表が空欄になるか前回の内容が残ります。
  - 録画中のとき
  - 停電したときや、電源コードを抜いたとき。
- 受信状態が良くないときは、番組データを受信できないことがあります。
- 次のようなときは、番組データを新たに受信するまでは番組表が利用できなくなります。
  - チャンネル設定をやり直したとき。
  - 約1週間以上、本機の電源コードを抜いて使用していなかったとき。
- 放送局側の都合により、実際の放送の内容が更新され、番組表の内容と異なることがあります。

# 見たい番組を探す（番組検索／ジャンル・出演者）

番組表のデータを検索して、お好みの番組を探すことができます。
地上デジタル、BS、CSにわたり検索します。放送の種類を絞りこむこともできます。

## 1 デジタル放送を見ているときに番組表を押す

## 2 サブメニューを押す

## 3 番組検索 を選んで 決定 を押す

## 4 下記の手順で検索条件を設定する

選択項目　検索方法

### ① 検索方法を決める

- [検索方法]の入力欄が選択されている状態で 決定 を押すと、[検索方法]が表示されます。お好みの検索方法（ジャンルまたは出演者）を選んで 決定 を押してください。

### ② 検索方法を絞り込む

▷ ジャンルから番組を検索するとき

- [ジャンル]の入力欄を選んで 決定 を押すとジャンルリストが表示されます。[ジャンル]でジャンルを選んで、[詳細ジャンル]でさらに条件を絞り込んで、 決定 を押してください。

▷ 出演者から番組を検索するとき

- [出演者]の入力欄を選んで 決定 を押すと[頭文字]が表示されます。該当する頭文字を選んで 決定 を押すと、[出演者名]が表示されます。出演者名を選んで 決定 を押してください。

### ③ 日付を絞り込む

- [日付]の入力欄に移動して、 決定 を押すと[日付]が表示されます。お好みの日付を選んで 決定 を押してください。

### ④ 放送の種類を絞り込む

- [放送種別]の入力欄に移動して、 決定 を押すと[放送種別]が表示されます。お好みの放送の種類（すべて、個別または組合せ）を選んで 決定 を押してください。



次ページへつづく

## 5 条件を設定し終えたら、検索開始 を選んで 決定 を押す

- 検索結果一覧が表示されます。
- 検索にはしばらく時間がかかります。

## 6 番組を選んで 決定 を押す

- その番組の **[番組内容]** が表示されます。P.68

▷**条件を変えて、もう一度検索するときは**

◀を押す

**お知らせ**

- 番組検索後の画面から予約ができます。くわしくは P.80、P.88 をご覧ください。
- 検索結果は、各放送の番組データの受信状況によって異なりますので、ジャンルなどが一致していても検索できない場合があります。
- 検索結果は最大300件までしか表示できません。目的の番組が表示されない場合は、条件を絞り込んで再検索してください。
- ジャンル検索、出演者検索はGガイドから提供されるデータによります。

**ご注意**

- **[番組検索]**を初めてお使いになるときは、あらかじめ**[ホーム]➡[設定／お知らせ]➡[放送受信設定]➡[共通設定]➡[番組表設定]** P.160 でお住まいの地域を設定してください。電源が「切」の間に検索に必要なデータを取り込みます。データ送信のタイミングによりデータが取り込めるまで時間がかかることがあります。
- 電源プラグを抜いているとデータの取り込みができませんのでご注意ください。

# 注目番組一覧を表示する

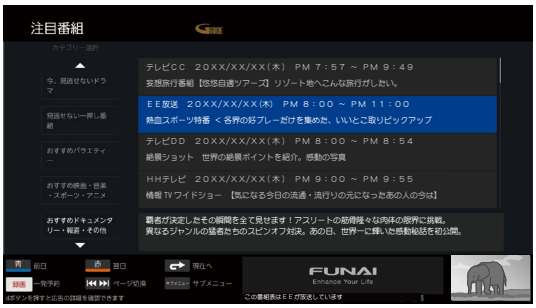
放送局おすすめの番組一覧を見ることができます。

## 1 デジタル放送を見ているときに番組表を押す

## 2 サブメニューを押す

## 3 注目番組 を選んで決定を押す

## 4 お好みのカテゴリーを選んで決定を押す




## 5 番組を選んで決定を押す

- 番組情報が表示されます。

## 6 詳細情報 を選んで決定を押す

- その番組の **[番組内容]** が表示されます。P.68

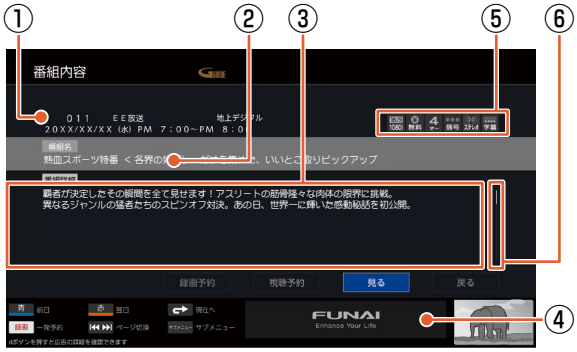
**ご注意**

- **「注目番組」**を初めてお使いになるときは、あらかじめ**[ホーム]➡[設定／お知らせ]➡[放送受信設定]➡[共通設定]➡[番組表設定]** P.160 でお住まいの地域を設定してください。電源が「切」の間に注目番組の表示に必要なデータを取り込みます。データ送信のタイミングによりデータが取り込めるまで時間がかかることがあります。
- 電源プラグを抜いているとデータの取り込みができませんのでご注意ください。

# 番組のくわしい情報(番組内容)を見る

デジタル放送を視聴中、番組表 P.60、番組検索結果画面 P.65 を表示中に、選んでいる番組のくわしい情報を確認することができます。

## 番組内容の見かた




① 放送局ロゴ
チャンネル番号
放送局名
放送種別
放送日
開始・終了時刻
② 番組名
③ 番組詳細
④ 広告
⑤ アイコン P.182
⑥ スクロールバー
番組詳細につづきがあるときに表示されます

- 広告枠は消せません。

## 番組内容を表示する／消す

### ▷表示する

**① デジタル放送を見ているときに サブメニュー を押して、番組内容 を選んで 決定 を押す**

番組内容が表示されます。

- スクロールバーが表示されているときに▲・▼を押すと、番組内容のつづきが表示されます。
  - 視聴中の番組をもう一度見るには、見る を選んで 決定 を押す

### ▷消す

**② 戻る を押す**

番組内容が消えます。

## 番組表や番組検索から表示するとき

**番組表 P.60 または番組検索（検索後）画面 P.65 より表示したい番組を選んで 決定 を押す**

- 番組内容が表示されます。

### ▷今すぐ見る

**① 現在放送中の番組を選択したとき、見る を選んで 決定 を押す**

### ▷予約する

**① お好みの予約を選んで 決定 を押す**

- これから放送される番組を選択したときは、視聴予約や録画予約ができます。

- これ以降、画面の表示に従い予約に必要な操作を行ってください。
  P.80、P.88

### ▷番組表／番組検索に戻る

**① 戻る を押す**

# 「ネットワーク」で動画を楽しむ

本機をブロードバンド環境に接続して、動画配信サービスなどをお楽しみいただけます。
ご利用には別途契約（有料）が必要なサービスもあります。また、回線利用料やプロバイダとの契約・使用料金は別途必要です。

**お知らせ**

- 各サービス利用中に文字入力が必要となった場合は、画面表示に沿って操作してください。
- 各サービス内容は、予告なく変更されることがあります。
- 動画配信サービスのご利用には、ソフトウェアの更新が必要な場合があります。

## 「ネットワーク」を利用するために必要な接続と設定

**本機で「ネットワーク」を利用するためには、ブロードバンド環境（ADSL、FTTH、CATV（ケーブルテレビ）など）が必要です。**

「ネットワーク」を利用する前に、「ネットワーク接続・設定する」P.141で通信設定を行ってください。
動画配信サービスを利用する場合は、高速通信が可能なADSLや光ファイバー（FTTH）のブロードバンド環境と接続することをおすすめします。
くわしくは各動画配信サービス または、お客様が契約されたプロバイダーのホームページをご覧ください。



## 利用するサービスを選んで専用画面を表示する

ホーム からでも操作OK!!

**1** **放送や外部入力を視聴中に ネットアプリ を押す**

**2** **見たいサービスを選んで 決定 を押す**

- 「ネットアプリ利用制限」を「する」に設定している場合は 1 ～ 10/0 で暗証番号の入力が必要です。P.136

**3** **選択したサービスの画面が表示されます。画面に沿って操作してください。主に使用するのは▲・▼・◀・▶と 決定 です。**

- 利用するサービス毎に操作方法は異なります。
- サービスを利用中に 地上 、 BS 、 CS のいずれかを押すと放送画面に切り換わります。

お知らせ

## 全般

- 視聴予約の開始時刻になると、各サービスは終了し、テレビ放送の画面に戻ります。
- 回線事業者やプロバイダが採用している接続方法・契約内容によっては、各サービスを利用できない場合があります。
- 災害やシステム障害などにより、各サービスを表示できない場合があります。
- 各サービスを利用してホームページに登録した情報は、そのホームページのサーバーに登録されます。
  本機を譲渡または廃棄される場合には、登録時の規約などに従って必ず登録情報の消去を行ってください。
- 本機に記録されたネットワーク履歴情報は、本機を譲渡または廃棄される場合は、「すべての初期化」を行って消去してください。P.167

## 接続

- お客さまの利用環境や通信環境、接続回線の混雑状況により、各サービスをご利用の場合は映像が乱れる／途切れる、表示が遅くなる、などの症状が出る場合があります。
- 無線LANで各サービスをご利用の場合は、設置環境や設定内容により、映像が途切れる、表示が遅くなる、などの症状が出る場合があります。LANケーブルでの接続をおすすめします。

## 各サービスについて

- サービス内容は、予告なく変更されることがあります。
- サービスの最新情報は、各サービスの公式情報サイトやトップページをご覧ください。
- 利用条件については、各サービスの公式情報サイトでご確認のうえ、ご利用ください。

## 「ネットワーク」の閲覧制限について

- 本機には、「ネットワーク」を利用するときにお子さまなどに見せたくないコンテンツなどの閲覧を制限するための機能が付いています。お子さまなどが本機を使って「ネットワーク」を利用になるご家庭では、「ネットワーク」を利用する際に、暗証番号を入力するように設定することをおすすめします。（設定のしかたは、P.136をご覧ください。）

# テレビを使いこなす

## ホームメニュー機能の使いかた

いろいろな機能を呼び出せます。

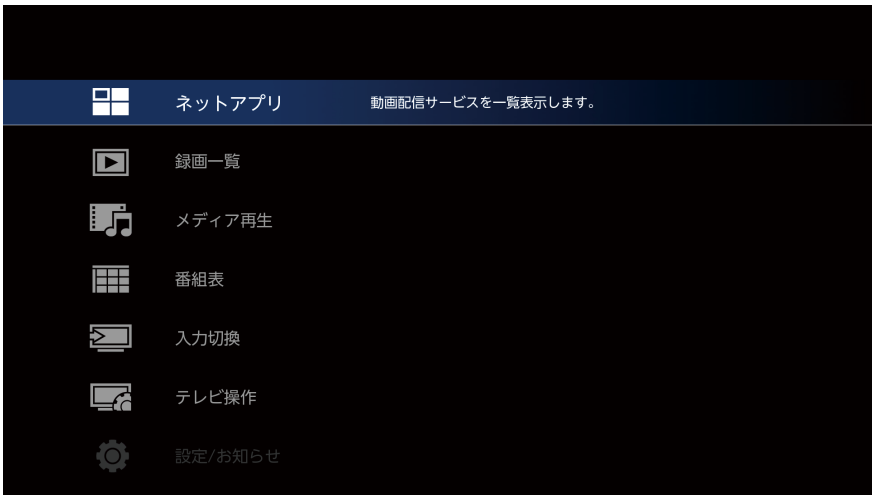
### 基本的な使いかた

**1** **ホーム を押してホームメニューを表示する**

- ホームメニュー表示中に押すと、ホームメニューを終了します。

**2** **項目を選んで 決定 を押す**

#### ホームメニュー



# 各項目で操作できる内容

## ネットアプリ

動画配信サービスを一覧表示します。


| | |
|---|---|
| ネットアプリ | P.70 |


## 録画一覧

録画した番組を一覧表示します。


| | |
|---|---|
| 録画一覧 | P.98 |


## メディア再生

動画や写真を視聴します。


| | |
|---|---|
| ホームネットワーク | P.105 |
| USB メモリー | P.105 |


## 番組表

デジタル放送の番組表を表示します。


| | |
|---|---|
| 番組表 | P.60 |


## 入力切換

デジタル放送や外部入力機器に切り換えます。


| | |
|---|---|
| 入力切換 | P.53 |


## テレビ操作

字幕やヘッドホン音量など番組視聴に関する各種設定をします。

**〈 地上・BS・110度CSデジタル視聴時 〉**


| | |
|---|---|
| 映像モード | P.125 |
| 音声モード | P.130 |
| 画面モード | P.58 |
| 映像切換 | P.74 |
| 音声切換 | P.54 |
| 字幕切換 | P.57 |
| サービス切換 | P.52 |
| 番組内容 | P.68 |
| ヘッドホン音量* | P.75 |
| 録画先切換 | P.87 |
| オンタイマー | P.54 |


**〈 外部入力視聴時 〉**


| | |
|---|---|
| 映像モード | P.125 |
| 音声モード | P.130 |
| 画面モード | P.58 |
| ヘッドホン音量* | P.75 |
| 録画先切換 | P.87 |
| オンタイマー | P.54 |


## テレビ操作

**〈 録画番組の再生時 〉**


| | |
|---|---|
| 映像モード | P.125 |
| 音声モード | P.130 |
| 画面モード | P.58 |
| 映像切換 | P.74 |
| 音声切換 | P.54 |
| 字幕切換 | P.57 |
| ヘッドホン音量* | P.75 |
| 録画先切換 | P.87 |


* ヘッドホンを接続している場合のみ選択できます。

## 設定／お知らせ

本機の設定やお知らせの表示をします。

**〈 機能設定 〉**


| | |
|---|---|
| 画質設定 | P.124 |
| 音声設定 | P.129 |
| 省エネ設定 | P.134 |
| 制限設定 | P.136 |
| リンク設定 | P.140 |
| ネットワーク設定 | P.144 |
| その他の設定 | P.162 |
| 初期化 | P.167 |


**〈 放送受信設定 〉**


| | |
|---|---|
| かんたん一括設定 | P.152 |
| 地上デジタル設定 | P.153 |
| BS ／CS デジタル設定 | P.158 |
| 共通設定 | P.159 |


**〈 本機の情報と更新 〉**


| | |
|---|---|
| ソフトウェア更新 | P.169 |
| 本機情報表示 | P.169 |
| ライセンス情報 | P.169 |
| デジタル著作権管理 | P.169 |


**〈 お知らせメール 〉**


| | |
|---|---|
| テレビからのお知らせ | P.76 |
| 放送局からのお知らせ | P.76 |
| CS ボード | P.77 |

# 映像切換（チャンネル内の映像を切り換える）

ひとつの番組で複数の映像を放送している番組（マルチビュー放送）を楽しんだり、同じチャンネルで放送している別の番組に切り換えたりできます。

## 1 デジタル放送を見ているときにサブメニューを押す

## 2 映像切換 を選んで決定を押す

## 3 映像の種類を選んで決定を押す

切り換わる映像の種類は、番組によって異なります。

たとえば、映像１と映像２、映像３が放送されているマルチビュー放送の場合では、次のように切り換わります。

**お知らせ**

- **マルチビュー放送とは**
  ひとつの番組で別の映像や違う角度からなど、最大3つの映像を同時に楽しめる放送です。
- マルチビュー放送や他の映像信号がない場合は、「映像１」のみ表示され、他の映像の種類は選択できません。

# ヘッドホン音量(ヘッドホンから出力される音量を調節する)

ヘッドホンから出力される音量が調節できます。音量を調節する際には、ヘッドホンが本機に挿入されていることを確認してください。[ヘッドホン出力設定]が[スピーカー非連動]のときは、[テレビ操作]の[ヘッドホン音量]で調節してください。

**ヘッドホン音量を調節する場合は、ヘッドホンを挿入した状態で 音量 を押す**

### 「ヘッドホン出力」が「スピーカー非連動」のとき

[音声設定]の[ヘッドホン出力設定]P.133を[スピーカー非連動]に設定しているときは、音量＋－ボタンを押しても、ヘッドホンの音量は変わりません。スピーカーの音量のみ変わります。ヘッドホンの音量を変えるには、メニュー上からヘッドホンの音量を調節する必要があります。

## 1 サブメニュー を押して、テレビ操作 を表示させる

## 2 ヘッドホン音量 を選んで 決定 を押す

## 3 音量 で音量を調節する

- ◀・▶で調節することもできます。
- スピーカーとヘッドホンの音量は、それぞれ[0]から[60]まで別々に調節することができます。

# 静止画(画面を静止させる)

デジタル放送の映像を静止させることができます。料理番組のレシピや、懸賞はがきなどのメモをとるときに便利です。

**デジタル放送を見ているときに 一時停止 を押す**

**静止中**

- 画面右下に[静止中]と表示され、画面が静止します。

▷**画面を元の番組に戻したいときは**

もう一度 一時停止 を押す

**お知らせ**

- 外部入力のときは、画面は静止できません。
- 5分経過すると、画面の静止が解除されます。
- 番組コンテンツの更新などで、静止画が自動的に解除されることがあります。

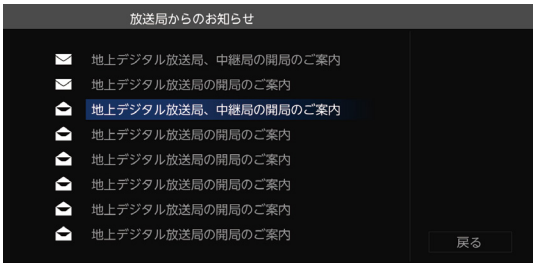
# 本機や放送局からのお知らせを読む

テレビからのお知らせは、ダウンロードや開局などを本機からお知らせするメッセージです。
放送局からのお知らせは、デジタル放送の放送局から送られてくる番組などの情報です。
本機の電源を「入」にしたとき、または画面表示を出したときに［お知らせあり］が表示された場合は、まだ読んでいない（未読）お知らせがありますので、以下の手順でお知らせの内容を確認してください。

## 1 ホームを押し、設定／お知らせ ➡ お知らせメール を選んで決定を押す

## 2 テレビからのお知らせ または 放送局からのお知らせ を選んで決定を押す

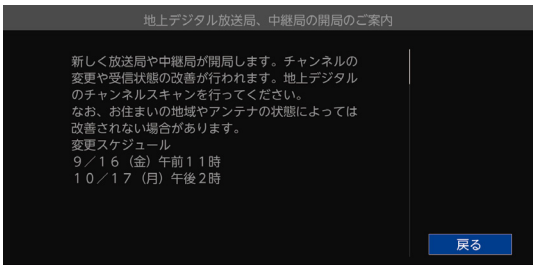
## 3 読みたい項目を選んで決定を押す




未読のお知らせ
既読のお知らせ

既読か未読かは、画面のアイコンで確認できます。

## 4 内容を確認する




▷**お知らせ本文のつづきがあるときは**
▲·▼でスクロールする

▷**他のお知らせを読みたいときは**
戻る を押す

- 読み終わったら、ホームを押してください。

**お知らせ**

- 「お知らせ」が8通以上受信されると、既読・未読に関わらず、古いものから消去されます。
- テレビからのお知らせは、予約が実行できなかった場合などに送られてくる重要な情報です。テレビからのお知らせの内容は、必ずご確認ください。
- 放送局からのお知らせには、チャンネル再設定が必要となる内容のものもあります。チャンネル再設定については P.153をご覧ください。

# CSボード(110度CSデジタル放送からのお知らせ)を読む

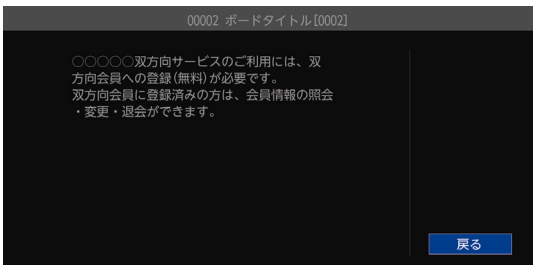
CS ボードとは、110 度CS デジタル放送を受信している場合のみ送られてくるメッセージです。
以下の手順でボードの内容を確認してください。

## 1 CS を押して110度CSデジタル放送を選んだ状態でホームを押し、設定／お知らせ ➡ お知らせメール を選んで決定を押す

## 2 CSボード を選んで決定を押す

## 3 読みたいCS ボードを選んで決定を押す

## 4 内容を確認する




▷CSボード本文のつづきがあるときは
▲・▼でスクロールする

▷他のボードを読みたいときは
戻る を押す

● 読み終わったら、ホーム を押してください。

お知らせ
● 入力が「CS」に選ばれていないときは、[CSボード]は選択できません。

# miniB-CASカード情報を確認する

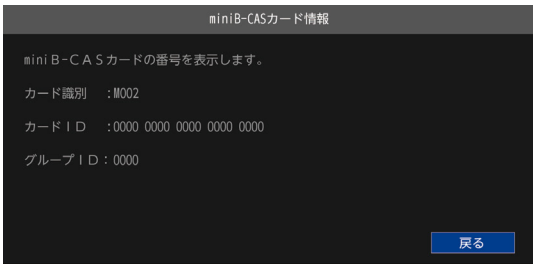
miniB-CASカードのカード識別、カードID、グループIDを確認できます。

**1** ホームを押して、**設定／お知らせ** ➡ **放送受信設定** を選んで決定を押す

**2** **共通設定** を選んで決定を押す

**3** **miniB-CASカード情報** を選んで決定を押す

**4** 情報を確認する



- 確認したらホームを押してください。

# 視聴予約について

本機では、デジタル放送の視聴予約ができます。

お知らせ

- 番組開始時刻の数十秒前になると、自動で予約したチャンネルに切り換わります。
  見逃したくない番組があるときに設定しておくと便利です。
  予約設定後、電源プラグを抜いていると、視聴予約は実行されません。
  本機の電源が**「切」**(待機状態)でも、自動で本機の電源が**「入」**になり、画面に**[このまま視聴するときは電源以外のボタンを押してください]**と表示されます。この間に何も操作がないと、15分後に自動で本機の電源が切れます。何か操作をして15分以上視聴を続けると、予約番組終了後も本機の電源は切れません。
  つづきの時間で2つ以上の番組を視聴予約して本機の電源を「切」(待機状態)にした場合は、1つ目の番組を視聴中にリモコン操作をしないと、2つ目の番組開始時間に本機の電源が入らないことがあります。
- 視聴予約した番組の開始時刻が3時間以上延びたとき、番組自体が消滅したとき、停電が起こったとき、および、受信障害(BSでの降雨状態など)では視聴予約は実行されません。※視聴予約が実行できなかった場合は、テレビからのお知らせでお知らせします。P.76

## 重複した予約の優先順位について

### ▷放送時間が重なったり連続したりしているときは

後に始まる番組が優先されます。
また、予約は重複していなくても、前の番組が延長され、結果的に予約が重なってしまった場合も同じです。

### ▷開始時刻が同じときは

予約設定が先に行われた番組が優先されます。

# 番組表や番組検索から視聴予約する

番組表や番組検索から番組を選んで、視聴予約ができます。

### ▷予約した時刻になると

開始時刻の約 15 秒前に、予約したチャンネルに切り換わります。
リモコンで電源を「切」(待機状態) にしていても、自動的に本機の電源が入ります。そのまま視聴する場合は、電源以外のボタンを押してください。約 15 分間無操作が続くと自動的に本機の電源が切れます。

**お知らせ**

- つづきの時間で2つ以上の番組を視聴予約して本機の電源を「切」(待機状態) にした場合は、1つ目の番組を視聴中にリモコン操作をしないと、2つ目の番組開始時間に本機の電源が入らないことがあります。
- 1週間の番組を選んで、最大15件まで(時刻指定予約 P.82 を含む)予約できます。

**ご注意**

- 予約の開始時刻が重なっていると、最初に予約した番組のみ視聴できます。P.79
- **[予約が重複しています]**と表示された場合は、予約したあとで、予約一覧を見て確認してください。P.84

**▶ 準備**

- 番組表 P.60、番組検索結果画面 P.65 または注目番組一覧 P.67 を表示する

## 1 視聴予約したい番組を選んで 決定 を押す

- その番組の **[番組内容]** が表示されます。

## 2 視聴予約 を選んで 決定 を押す

▷ **視聴年齢制限のある番組を選んだときは**

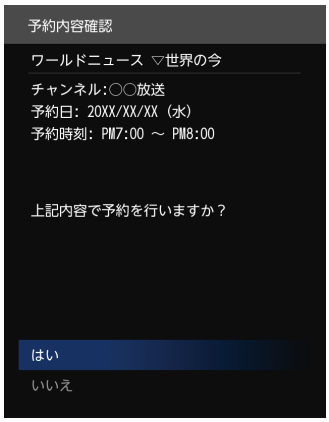
1 ～ 10/0 で暗証番号の入力が必要です。P.136

▷ **予約が時間的に重なっているときは**

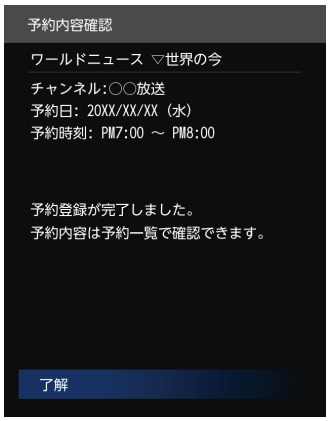
**[予約が重複しています]**と表示されます。

はい を選んで 決定 を押して予約したあとで、**[予約一覧]**を見て確認してください。

## 3 はい を選んで 決定 を押す




## 4 下の画面が表示されたら、了解 を選んで 決定 を押す




- 予約登録を完了し、番組表、番組検索または注目番組一覧の画面に戻ります。
- 予約が完了したら 戻る を押してください。

# 時間を指定して視聴予約する(時刻指定予約)

時間とチャンネルを指定して、デジタル放送の番組を視聴予約ができます。

▷**予約した時刻になると**

開始時刻の約 15 秒前に、予約したチャンネルに切り換わります。
リモコンで電源を「切」(待機状態)にしていても、自動的に本機の電源が入ります。そのまま視聴する場合は、電源以外のボタンを押してください。約 15 分間無操作が続くと自動的に本機の電源が切れます。

**お知らせ**

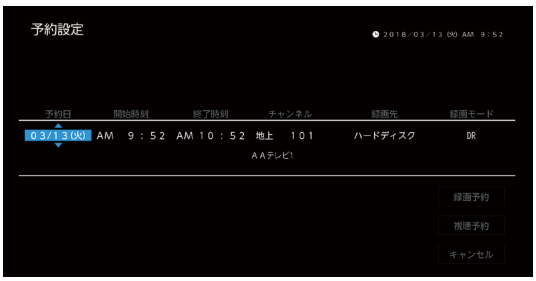
- つづきの時間で2つ以上の番組を視聴予約して本機の電源を「切」(待機状態)にした場合は、1つ目の番組を視聴中にリモコン操作をしないと、2つ目の番組開始時間に本機の電源が入らないことがあります。

**1** デジタル放送を見ているときに 番組表 を押す

**2** サブメニュー を押して **予約一覧** を選んで 決定 を押す

**3** サブメニュー を押して **新規予約** を選んで 決定 を押す

**4** ◀·▶でカーソルを移動して、**予約日** を選ぶ



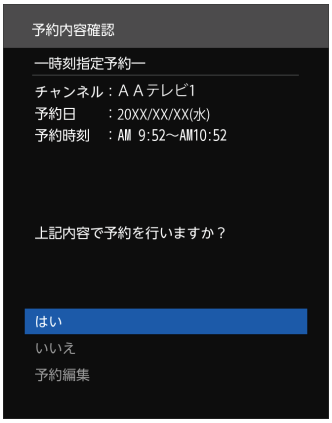

**5** ◀·▶でカーソルを移動して、**開始時刻** と **終了時刻** を選ぶ

## 6 ◀·▶でカーソルを移動して、チャンネル を選ぶ

## 7 視聴予約 を選んで 決定 を押す

## 8 はい を選んで 決定 を押す

## 9 下の画面が表示されたら、決定 を押す




- 続けて視聴予約するときは、手順4の画面に戻ります。

## 10 戻る を２回押す

**ご注意**

- 予約の開始時刻が重なっていると、最初に予約した番組のみ視聴できます。P.79
- 「予約が重複しています」と表示された場合は、予約したあとで、「予約一覧」を見て確認してください。P.84

**お知らせ**

- 1週間の番組を選んで、最大15件まで（番組表や番組検索からの予約 P.80 を含む）予約できます。

# 予約を確認する／取り消す

次の予約登録内容は、予約一覧で確認できます。

- 視聴予約
- 録画予約

予約が重複したり連続したりしているときや、件数がいっぱいになってしまったときに、確認したり取り消したりできます。

## 予約一覧の見かた

① 重複している予約
② 選択中の予約
③ 現在の日時
④ 予約種別
⑤ ガイド表示
⑥ 毎日／毎週の録画予約



## 1 番組表表示中にサブメニューを押して、予約一覧を選んで決定を押す

## 2 予約状況を確認する

- 予約の種類によってアイコン P.182 が表示されます。
- 同じ種類の予約が時間的に重なっていると、⚠が表示されます。

**お知らせ**

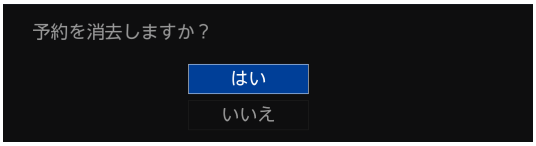
- 開始時刻が前の予約の終了時刻と連続しているときは、先に始まる番組の予約が少し早く（約1分）終了し、正しく録画／視聴できません。この場合は、**[予約一覧]**では⚠が表示されませんので、ご注意ください。
- 番組表や番組検索から予約している番組が、放送局の都合で放送時間が変更されたり、放送が中止されたりした場合は、自動的に予約内容がキャンセルされます。
- 予約が重複していると、正しく録画／視聴できません。P.79、P.95

## 重複している予約を取り消す場合

### 3 取り消す番組を選んで サブメニュー を押す

### 4 予約消去 を選んで 決定 を押す

### 5 はい を選んで 決定 を押す




- 予約を取り消したら、戻る を押してください。

次ページへつづく

# 予約を確認する／取り消す（つづき）

## 重複している予約を複数取り消す場合

### 3 サブメニューを押す

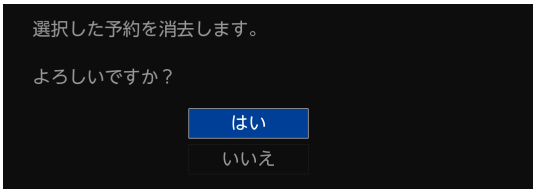
### 4 複数予約消去 を選んで 決定 を押す

### 5 取り消す番組を選んで 決定 を押す

- この手順を繰り返して、取り消したい番組をすべて選びます。
- 番組を取り消し対象にすると、☑（チェック）が付きます。
- 取り消し対象からはずしたい場合は、該当する番組を選んで 決定 を押します。

### 6 決定 を選んで 決定 を押す

### 7 はい を選んで 決定 を押す




- 予約を取り消したら、戻る を押してください。

# 録画する

HDD USB-HDD

本機の内蔵HDDまたは内蔵メモリーや、本機に接続したUSB-HDDにデジタル放送の番組が録画できます。
録画時間について、くわしくは「およその録画時間（目安）」P.94をご覧ください。

**本機の不具合または、放送局や受信障害に伴う何らかの事象に起因して正しく録画できなかった場合は、記録内容の保障や損害について当社は一切責任を負いかねます。あらじかじめご了承ください。**

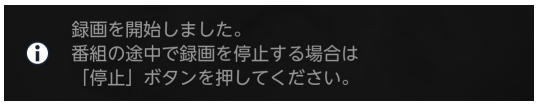
## ワンタッチ録画をする

▶ **準備**

- USB-HDDを既に登録していて内蔵HDD／内蔵メモリーまたはUSB-HDDで録画先を切り換える場合は、事前に **[ホーム]** ➡ **[テレビ操作]** ➡ **[録画先切換]** で **[内蔵HDD]** または **[USB-HDD]** を選んで 決定 を押してください。

### デジタル放送を見ているときに 録画 を押す

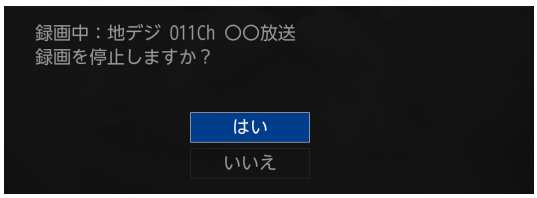
下の画面が表示され、ワンタッチ録画を開始します。




- ワンタッチ録画中の番組が終了すると自動的に録画を停止します。

▷**録画を停止したいときは**

① **録画中に放送を視聴している状態で、停止 を押す**
② **はい を選んで 決定 を押す**




### 番組表を見ているときに録画予約したい番組を選択し、録画を押すと番組が録画予約されます

**お知らせ**

- 電源スイッチがあるセルフパワー型のUSB-HDDをお使いの場合に、デジタル放送をご覧になるときは、ワンタッチ録画機能をいつでもすぐにご利用いただけるように、USB-HDDの電源を「入」にしておくことをおすすめします。
- 本機の番組情報が十分に取得されていないと、録画番組が特定できず動作ができないことがあります。購入直後などは本機の番組表が利用できるように番組データを受信してからご使用ください。P.160

# 録画予約をする

HDD　USB-HDD

予約数は、番組指定予約と時刻指定予約を合わせて95件までです。
予約一覧の見かたについては P.84 をご覧ください。

## 番組予約録画をする

番組表や番組検索から番組を選んで、視聴予約や録画予約ができます。

▶ **準備**

- 番組表 P.60、番組検索結果画面 P.65 または注目番組一覧 P.67 を表示する
- USB-HDDを既に登録していて内蔵HDD／内蔵メモリーまたはUSB-HDDで録画先を切り換える場合は、事前に **[ホーム]** ➡ **[テレビ操作]** ➡ **[録画先切換]** で **[内蔵HDD]** または **[USB-HDD]** を選んで 決定 を押してください。

### 1 録画したい番組を選んで 決定 を押す

- その番組の **[番組内容]** が表示されます。
- 決定 の代わりに 録画 を押した場合は、手順3をご覧ください。

▷ **デジタル放送の番組を番組表から予約した場合の自動追従について**

- **デジタル放送の番組を番組表から予約した場合は、次のようなときに自動的に録画開始／終了時刻が変更されて録画されます。**

**例：** 毎週録画しているドラマの最終回だけ、放送時間が延長されているとき。
特別番組のため、今回放送分だけ放送時間が遅くなるとき。
予約していたスポーツ番組が延長されたとき。
予約番組の前に放送されているスポーツ番組が延長されて、予約番組の放送時間が遅くなるとき。
自動的に録画開始／終了時刻が変更される時間は、1回だけの録画の場合は放送開始時刻の3時間後まで、毎週／毎日録画の場合は前後各3時間までとなります。

- **野球中継などで延長部分が他のチャンネルに引き継がれて放送される場合に、番組データの延長情報に従って自動的にチャンネルと録画終了時刻が変更されて録画されます。(イベントリレー)**

**例：** お昼の時間帯に「ＥＥ放送」で放送されている高校野球を番組表から予約して録画中に、夕方から放送されるチャンネルが「ＨＨテレビ１」に引き継がれた場合でも、録画チャンネルが切り換わってそのまま高校野球の録画が継続されます。
自動追跡やイベントリレーによって予約が重なったときは、「予約が重なった場合」P.95 の例に従って録画されます。
自動追跡は、番組表から予約した番組にのみ有効となります。「時刻指定予約」P.90 は自動追跡が無効になります。

## 2 録画予約 を選んで 決定 を押す

▷視聴年齢制限のある番組を選んだときは
1 ～ 10/0 で暗証番号の入力が必要です。
P.136

▷予約が時間的に重なっているときは
[予約が重複しています]と表示されます。
はい を選んで 決定 を押して予約したあとで、[予約一覧]を見て確認してください。P.84

## 3 確認画面が表示されるので、はい を選んで 決定 を押す

### 繰り返し録画を設定しない場合

## 4 確認画面が表示されるので、了解 を選んで 決定 を押す

予約登録を完了し、番組表、番組検索または注目番組一覧の画面に戻ります。

## 5 戻る を押す

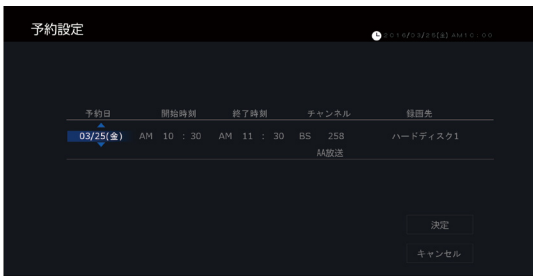
▷番組表から予約を消去したいときは
① 番組表表示中に予約を消したい番組を選んで 決定 を押す
② ◀・▶で 予約消去 を選んで 決定 を押す
③ ▲・▼で はい を選んで 決定 を押す

### 繰り返し録画を設定する場合

毎週録画や毎日録画の設定ができます。

## 4 確認画面が表示されるので、予約編集 を選んで 決定 を押す

## 5 予約日 を選ぶ



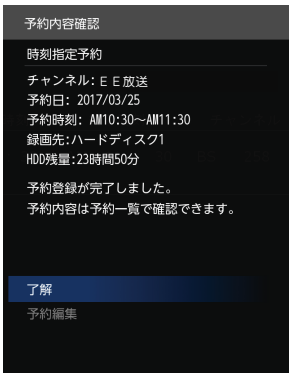

● 表示されている日付（1回のみ）、「毎日」、「毎週」から選択します。

## 6 決定 を選んで 決定 を押す



次ページへつづく

## 7 下の画面が表示されたら、了解 を選んで 決定 を押す



- 予約登録を完了し、番組表、番組検索または注目番組一覧の画面に戻ります。
- 設定が終わったら、戻る を押してください。

**ご注意**
- USB機器へ録画予約したときは、電源プラグを抜かないでください。

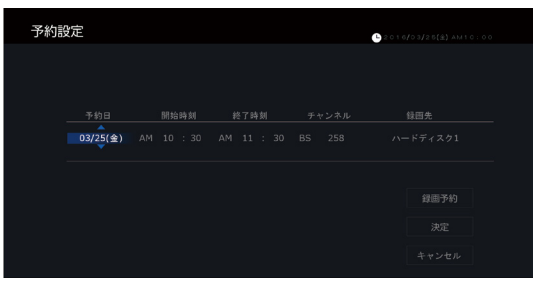
# 時刻を指定して録画予約する(時刻指定予約)

時刻とチャンネルを指定して、録画予約ができます。

## 1 番組表表示中に サブメニュー を押して、予約一覧 を選んで 決定 を押す

## 2 サブメニュー を押して、新規予約 を選んで 決定 を押す

## 3 ◀·▶で項目を移動して、設定する

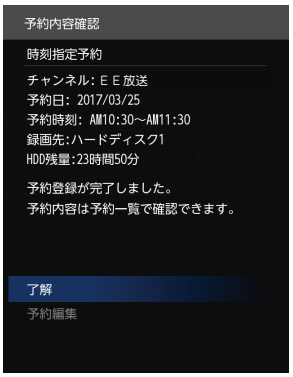



- 項目は、予約日 ↔ 開始時刻 ↔ 終了時刻 ↔ チャンネル と移動できます。

## 4 録画予約 を選んで 決定 を押す

## 5 確認画面が表示されるので はい を選んで 決定 を押す

## 6 下の画面が表示されたら、了解 を選んで 決定 を押す




- 続けて予約するときは、手順3の画面に戻ります。
- 設定が終わったら、戻る を押してください。

**ご注意**

- 録画予約したときは、本機の電源プラグを抜かないでください。
- **[予約が重複しています]**と表示された場合は、予約したあとで、予約一覧を見て確認してください。 P.84

**お知らせ**

- 時刻指定予約は自動追従しません。
- 時刻指定予約では、視聴年齢制限のある番組などが正しく予約できないことがあります。
- 予約登録完了後、予約一覧 P.84 で正しく予約できているかどうかを確認してください。予約の変更や取り消しも予約一覧で行ってください。

# 予約を確認する／修正する／取り消す

予約登録内容は、予約一覧で確認できます。予約が重複したり、連続したりしているときや、件数がいっぱいになってしまったときに、確認や予約日の修正や取り消すことができます。

## 1 番組表表示中にサブメニューを押して、予約一覧を選んで決定を押す

## 2 予約を確認する

- 予約の種類によってアイコン P.182 が表示されます。
- 録画予約が時間的に重なっていると、⚠が表示されます。

### 録画予約の内容（予約日）を修正する場合

## 3 予約日を修正したい番組を選んでサブメニューを押す

- サブメニューが表示されます。

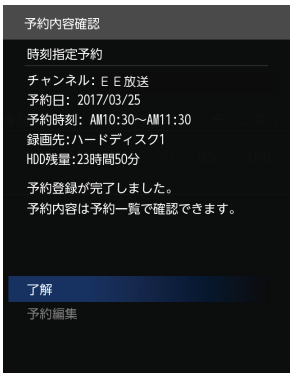
## 4 予約修正を選ぶ

- 予約修正は録画予約でのみ行えます。視聴予約では行えません。

## 5 「予約日」と「録画先」の設定を選ぶ

- [予約日]は表示されている日付（1回のみ）、毎日、毎週から選択します。

## 6 決定を選んで決定を押す




- 左の画面が表示されたら、了解を選んで決定を押す
- 予約修正を完了し、番組表、番組検索または注目番組一覧の画面に戻ります。
- 設定が終わったら、戻るを押してください。

## 重複している録画予約を取り消す場合

**3** 取り消す番組を選んで サブメニュー を押す

- サブメニューが表示されます。

**4** 予約消去 を選んで 決定 を押す

**5** 確認画面が表示されるので、はい を選んで 決定 を押す

- 設定が終わったら、戻る を押してください。

## 重複している録画予約を複数取り消す場合

**3** 取り消す番組を選んで サブメニュー を押す

- サブメニューが表示されます。

**4** 複数予約消去 を選んで 決定 を押す

**5** 取り消す番組を選んで 決定 を押す

- この手順を繰り返して、取り消したい番組をすべて選びます。
- 番組を取り消し対象にすると、☑（チェック）が付きます。
- 取り消し対象からはずしたい場合は、該当する番組を選んで 決定 を押します。

**6** 確認画面が表示されるので、はい を選んで 決定 を押す

- 設定が終わったら、戻る を押してください。

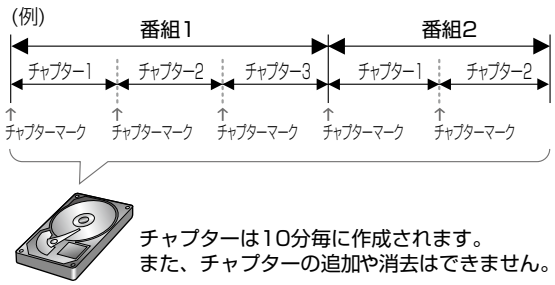
**お知らせ**

- 開始時刻が前の予約の終了時刻と連続しているときは、先に始まる番組の予約が少し早く（約20秒）終了し、正しく録画されません。この場合は予約一覧に⚠と表示されませんので、ご注意ください。
- 番組表や番組検索から予約している番組が、放送局の都合で放送時間が変更されたり、放送が中止されたりした場合は、自動的に予約内容がキャンセルされます。
- 予約が重複していると、正しく録画／視聴できません。P.79、P.95

# 録画についての補足説明

## 録画番組の構成について

「番組」という大きな区切りと、「チャプター」という小さな区切りで構成されます。




チャプターは10分毎に作成されます。
また、チャプターの追加や消去はできません。

## およその録画時間(目安)

128GBの内蔵メモリーの場合(FL-43UB4000)

| | | |
|---|---|---|
| 地上デジタル | (HD放送) | 約17時間 |
| BSデジタル | (HD放送) | 約11時間 |
| | (SD放送) | 約22時間 |
| 110度CSデジタル | (HD放送) | 約11時間 |
| | (SD放送) | 約22時間 |

500GBの内蔵HDDの場合

| | | |
|---|---|---|
| 地上デジタル | (HD放送) | 約60時間 |
| BSデジタル | (HD放送) | 約43時間 |
| | (SD放送) | 約86時間 |
| 110度CSデジタル | (HD放送) | 約43時間 |
| | (SD放送) | 約86時間 |

■残量(録画可能時間)表示は、あくまでもおおよその目安であり、保証するものではありません。
- 実際の録画時間は、放送の伝送レートにより目安の残量表示とは異なる場合があります。一般的に、伝送レートは、地上デジタル放送では約17Mbps、BS・110度CSデジタル放送では24Mbpsとされています。
- 本機は、BS・110度CSデジタル放送のHD放送で録画される場合の残量を優先的に表示します。
例えば、128GBのUSBメモリーを挿入し、残量が「11時間20分」などと表示されている場合でも、地上デジタル放送の番組は約17時間録画可能です。
- 伝送レートの違いにより、録画番組を削除しても、残量は削除した録画番組の時間よりも長くならない場合があります。

■映りが悪い(電波状態が悪い、弱い)番組など、画質が良くない映像を録画した場合、実際に録画できる時間は短くなります。

## 録画の種類

ワンタッチ録画:今見ている番組をかんたんに録画する

予約録画:
- 番組表や番組検索から予約する(番組指定予約) P.88
- 録画する時刻を指定して予約する(時刻指定予約) P.90

## 同時操作

■視聴中　○:できる　×:できない

| 今やってること＼HDD動作 | ワンタッチ録画 | 予約録画 |
|---|---|---|
| 放送視聴中 | ○ | ○ |
| 外部入力視聴中 | × | ○ |
| ネットサービス視聴中 | × | ○ |

■再生中　○:できる　×:できない

| 今やってること＼HDD動作 | ワンタッチ録画 | 予約録画 |
|---|---|---|
| HDDの再生中 | × | ○ |

■録画中　○:できる　×:できない

| 放送の視聴 | 再生 | 追っかけ再生 | ワンタッチ録画 | 予約録画 |
|---|---|---|---|---|
| ○ | ○ | ○ | × | × |

## 録画についての制限事項

■12時間を超える録画はできません。12時間を超える時刻指定予約を行ったときにメッセージが表示され、予約登録できません。また、番組指定予約で12時間以上の番組を予約した場合は、12時間を経過した時点で自動的に録画が停止されます。

■1,000番組を超える録画はできません。

**次の番組、映像や音声は録画できません。**
- 独立データ放送、ラジオ放送
- 外部入力

CATV(ケーブルテレビ)をご利用の場合は、パススルー方式(本機のアンテナ端子につないで視聴)であれば録画できます。HDMI端子、ビデオ端子など外部入力につないで視聴されている場合は録画できません。

**ご注意**

- 録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。私的目的で録画したものでも、著作権者などに無断で販売したり、インターネット上で公衆に送信したり、営利目的で放映したりすると著作権侵害となります。

# 予約についての制限事項

■番組指定予約、時刻指定予約を合わせて、95件を超える予約はできません。

# 予約をしたときの本機の動き

▷**予約があるとき**は

機能LEDが白色に点灯します。本機の電源プラグは抜かないようにしてください。また、USB-HDDやUSBケーブルをはずしたり、USB-HDDの電源を切ったりしないようにしてください。

▷**予約録画を終了するとき**は

視聴中は**[録画終了]**の表示がでます。

▷**録画中**は

機能LEDが白色に点灯します。

# 予約が重なった場合

予約が重なっている場合は、**[予約一覧]**で重なっている予約に⚠が表示されます。(前番組の予約の終了時刻と後番組の予約の開始時刻が同じ場合をのぞく)

図の■、▨部分は録画されません。

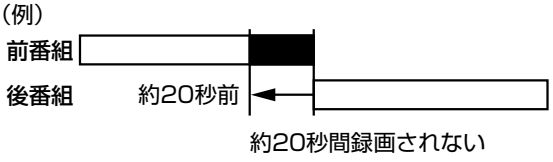
## 連続予約(重複なし)

▷**前番組の予約終了時刻と後番組の予約開始時刻が同じ場合**

- 前番組の終了約20秒前になったら前番組の予約を終了し後番組の予約を開始します。

→前番組の終了約20秒前から終了までの部分は録画されません。

(例)



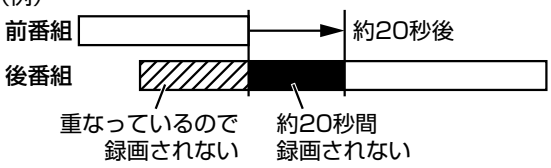

## 重複予約(通常予約同士)

▷**前番組の予約終了時刻が後番組の予約開始時刻より遅い場合**

- 前番組の終了後、後番組の予約準備を行います。前番組終了から約20秒後、後番組の予約を開始します。

→前番組の終了後、約20秒間後番組は録画されません。

(例)




## 重複予約(視聴予約と録画予約)

▷**どちらも実行されます。ただし、同一番組の視聴予約と録画予約はできません。**

# 複数の録画予約の優先順位

① **開始時間の早い番組**

② **予約設定が先に行われた番組＞予約設定が後に行われた番組**

# 録画予約が実行されない条件

■USB-HDDに録画予約しようとした場合に、USB-HDDがフォーマットされていない状態またはUSB-HDDが接続されていないとき

■停電が起こったとき

(電源「入」時に停電が起こったあと、予約終了時刻前に復帰した場合は、そこから予約開始し、予約終了時刻まで録画されます。)

■録画予約した番組の開始時刻が3時間以上延びたとき

■番組自体が消滅したとき

■BSでの降雨状態などの受信障害

※録画予約が実行できなかった場合は、テレビからのお知らせでお知らせします。P.76

# HDDについて

### ▷HDD、ハードディスクとは？

大容量データ記録装置の１つで、大量のデータの読み書きを高速で行うことができ、記録されているデータの検索性にすぐれています。本機は、このHDDを内蔵しています。

#### 次のようなことは行わないでください。

- 本機に振動や衝撃を与えないでください。特に本機の電源が入っているときは、お気をつけください。
- 本機の電源が入っている状態で、電源プラグを抜かないでください。
- 本機の電源が入っている状態や電源を切った直後、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。(電源を切ったあと、２分以上経過してから行ってください。)
- 本機が結露した状態で使わないでください。
- HDDは、振動や衝撃、周囲の環境(温度など)の変化に影響されやすい精密な機器です。場合によっては、録画(録音)内容が失われたり、正常に動作しなくなったりする恐れがあります。
- HDDが故障すると、HDDの録画(録音)内容が失われることがあります。

### ▷HDDへの録画(録音)について

- HDDは機械的部品なので寿命があり、経年的な変化で早期に劣化することがあります。
- HDDを録画(録音)内容の恒久的な保管場所とせず、一時的な保管場所としてお使いください。

#### その他

- お客様ご自身で本機のHDDを交換した場合は、保証が無効となります。
- 本機を長時間使用しないときは、電源を切っておいてください。
- HDDは、お買い上げ時には何も録画されていません。あらかじめ番組などを録画して、再生をお楽しみください。

**ご注意**

- HDDに異常が発生した場合は、再生が不能になったり、録画(録音)内容が消えたりすることがあります。

# USB-HDDについて

- USB１通常録画(HDD用)端子は、以下のUSB-HDDに対応しています。
  - USB-HDD
  - SeeQVault-HDD
- USB端子には上記以外の機器は接続しないでください。接続した機器や本機の故障の原因となります。
- 本機とUSB-HDDを接続しているときは、USB-HDDに録画したり、USB-HDDの番組を、HDDにダビングしたりできます。
- 本機とSeeQVault-HDDを接続しているときは、当社製の他のSeeQVault対応機器でSeeQVault-HDDに記録した番組を本機で再生できます。
- USB-HDDまたはSeeQVault-HDDの動作中は、USB-HDDまたはSeeQVault-HDDの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。記録した内容が消えたり、USB-HDD、SeeQVault-HDDおよび本機が故障したりする原因となることがあります。

### ▷USB-HDDで使える機能

- 登録したUSB-HDDは、HDDと同じようにお使いいただけます。操作も同じですので、各機能の項目を参照してください。

### ▷HDDとSeeQVault-HDDの相違点

- 本機に接続し、**[SeeQVault用として他機でも使用する]** P.117を選んだSeeQVault-HDDでは、以下の操作はできません。
  - 直接録画

# USB機器について

- USB2メディア再生（USBメモリー用）端子は、以下のようなUSBマスストレージクラス（大容量データ記憶装置の1つに分類されるUSBのデバイスタイプ）、またはUSB接続したSDカードに対応しています。
  - USBメモリー
- 上記以外のUSB機器は接続しないでください。USB機器や本機の故障、記録されているデータの破損の原因となります。また、本機とUSB機器をUSBハブ経由やUSB延長ケーブルで接続した場合の動作を保証するものではありません。
- USB2メディア再生（USBメモリー用）端子に、タブレットなどの本機で利用できない（または対応していない）USB機器を接続しても、接続した機器を利用できない旨のメッセージが表示されない場合があります。
- 本機のUSB端子を使用して、携帯電話やポータブルオーディオプレーヤーなどの充電は行わないでください。本機の故障の原因となります。

**ご注意**

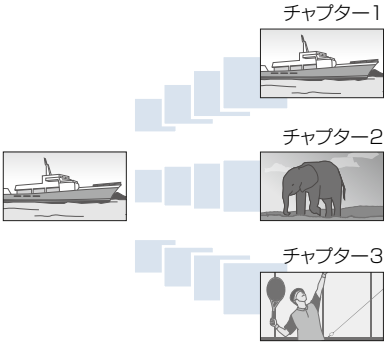
- USB機器は、本機のすべての動作を停止させてから抜いてください。
- USB機器の認識中・読み込み中は、次のことを行わないでください。SDカード、USB機器や本機の故障、記録されているデータの破損の原因となります。
  - 本機の電源を切ったり、電源プラグを抜いたりする
  - USBケーブルを抜く

# 番組・チャプター・ファイル・フォルダについて

## ▷番組とチャプター

**番組：** HDDやUSB-HDDなどの内容は、録画された番組ごとに区切られています。
短編集の「話」に相当します。

**チャプター：** 本機で通常録画した番組では、1つの番組の中で、約10分毎に区切られています。
本の「章」に相当します。

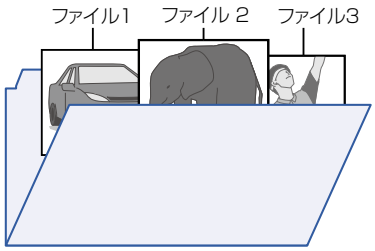



## ▷ファイルとフォルダ

JPEGファイルが記録されたメディアは、「フォルダ」という大きな区切りと「ファイル」という小さな区切りで分かれています。デジタルスチルカメラでJPEGファイルが作成されたり、それらファイルをパソコンなどで保存したりする際、ファイルはフォルダに分けて記録させることができます。

**ファイル**：ひとつひとつのデータのことです。

**フォルダ**：ファイルなどの集合を内包する階層のことです。




フォルダ

# 録画した番組を見る(再生する)

HDD USB-HDD SeeQVault -HDD

本機で録画した番組を見るときは、画面に録画一覧を表示させて、見たい番組を選んで再生します。

## 録画一覧の見かた

① 未視聴の番組
② 保護されている番組
③ 残量表示※
④ ガイド表示

※ 残量(録画可能時間)表示は、あくまでもおおよその目安であり、保証するものではありません。

- 実際の録画時間は、放送の伝送レートにより目安の残量表示とは異なる場合があります。
  一般的に、伝送レートは、地上デジタル放送では約17Mbps、BS・110度CSデジタル放送では24Mbpsとされています。
- 本機は、BS・110度CSデジタル放送のHD放送で録画される場合の残量を優先的に表示します。
  例えば、128GBのUSB メモリーを挿入し、
  残量が「１１時間２０分」などと表示されている場合でも、
  地上デジタル放送の番組は約17時間録画可能です。
- 伝送レートの違いにより、録画番組を削除しても、残量は削除した録画番組の時間よりも長くならない場合があります。

## 画面表示の見方

① 再生中の番組名
② 動作状態
③ 再生経過時間／総再生時間
④ タイムバー
（再生中の現在の位置を表示します）

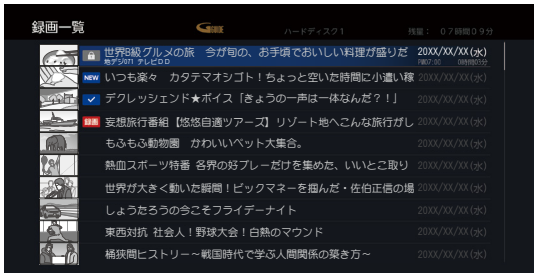
## 録画一覧から再生したいときは

ホームからでも操作OK!!

### 1 録画一覧を押す

- 録画一覧が表示されます。

### 2 見たい番組を選ぶ




スキップ ……前のページに移動　スキップ ……次のページに移動

### 3 再生または決定を押して、再生を始める

- 選択した番組の停止した位置から再生します。

▷**再生を停止したいときは 停止 を押す**

- 再生が停止し、録画一覧に戻ります。(停止位置が記憶されます。)

▷**画面表示を表示したいときは 画面表示 を押す**

- 「画面表示」が表示されます。

**お知らせ**

- 続き再生が始まる位置は、番組により多少ずれることがあります。
- 録画時間はおよその目安です。
- 録画日付の新しい順に上から表示します。
- 再生開始時に、映像や音声が出るまで時間がかかることがあります。
- 番組の変わり目などで画面が一瞬静止画になったりブロックノイズが見えたりすることがあります。
- 番組の再生が終わると自動的に停止し、録画一覧が表示されます。

# いろいろな見かた

## 最初から再生

### 1 録画一覧 表示中に、見たい番組を選んで サブメニュー を押す

### 2 最初から再生 を選んで 決定 を押す

- 選択した番組が最初から再生されます。

## 続きから再生

**1** 録画一覧 表示中に、見たい番組を選んで サブメニュー を押す

**2** 続きから再生 を選んで 決定 を押す

- 選択した番組が続きから再生されます。
- 放送を視聴時に 再生 を押して続きから再生することもできます。

## 再生速度を変えて見る

### 早送り／早戻し

▷再生中に 早戻し ・ 早送り を押す

- 押すごとに5段階で速度が変わります。再生 を押すと通常の速度に戻ります。

### 再生を一時停止める

▷再生中に 一時停止 を押す

- 一時停止 または 再生 を押すと、解除されます。

## 見たいところまで飛ばす

▷再生中に スキップ ・ スキップ を押す

- 押すごとに前後のチャプターに飛びます。チャプターは、10分ごとに自動で記録されています。

▷再生中に 30秒スキップ を押す

- 押すごとに10段階(約30秒毎)で飛ばす先が変わります。

▷再生中に 10秒戻し を押す

- 押すごとに10段階(約10秒毎)で飛ばす先が変わります。

## 音声の切り換え

▷再生中に 音声切換 を押す

- 押すごとに音声が切り換わります。

お知らせ
- 音声切換は、番組ごとに設定が可能です。

## 字幕の切り換え

▷再生中に サブメニュー を押して、字幕切換 を選んで 決定 を押す

- 言語名を選ぶと字幕が表示されます。

## 設定を変更する

**1** 再生中に サブメニュー を押して、変更したい設定を選んで 決定 を押す

- [映像モード] P.125、[音声モード] P.130、[画面モード] P.58、[映像切換] P.74、[音声切換] P.54、[字幕切換] P.57、[ヘッドホン音量] P.75、[録画先切換] P.87、の各設定を調整できます。

## 追っかけ再生

予約した番組の録画中に帰宅したときなど、録画を続けながら（停止させずに）番組の最初から見ることができます。

### 1 録画中に 録画一覧 を押す

### 2 録画中の番組を選ぶ

### 3 再生 を押して、追っかけ再生を始める

▷追っかけ再生をやめるときは

- 停止 を押す
- 再生が停止します。（録画は続きます。）
  このあと、録画も停止させるときは、「録画を停止したいときは」P.87 をご覧ください。

お知らせ

- 追っかけ再生中に早送りなどを行って、再生が録画に追いついた場合は、通常再生に切り換わります。
- 追っかけ再生中にスキップなどを行って、再生が録画に追いつく場合は、その操作は実行できません。



# 番組を保護する・保護を解除する

### 1 録画一覧 表示中に、保護または保護を解除する番組を選んで サブメニュー を押す

- 録画一覧を表示中に番組を選んで 緑 を押して保護または保護を解除することもできます。

### 2 保護設定／解除 を選んで 決定 を押す

- 番組を保護すると、録画一覧の番組名に🔒マークが表示されます。

お知らせ

- 録画中の番組は保護できません。

# 番組をハードディスク間で移動する

## 1 録画一覧 表示中にサブメニューを押す

## 2 ムーブ（移動）を選んで決定を押す

## 3 移動したい番組を選んで決定を押す

- この手順を繰り返して、移動したい番組をすべて選びます。
- 番組を移動対象にすると、☑（チェック）が付きます。
- 移動対象からはずしたい場合は、該当する番組を選んで決定を押します。

## 4 確認画面が表示されるので はい を選んで決定を押す

- 番組の移動が開始されます。

**お知らせ**

- 番組を移動すると、移動元の番組が録画一覧から消去されます。
- USB-HDDを登録していない場合は、**[ムーブ（移動）]**を選択することはできません。
- **[ムーブ（移動）]**中は録画や再生をすることができません。

**ご注意**

- SeeQVault-HDD非対応のFNI-OSOH_500_0より前のソフトウェアで録画した番組は、通常録画用として登録したUSB-HDD／SeeQVault-HDDには**[ムーブ（移動）]**できますが、**[SeeQVault用として他機でも使用する]**P.117を選んだSeeQVault-HDDに**[ムーブ（移動）]**することができません。

# 番組を消去･全消去する

## 番組を消去する

HDD　USB-HDD　SeeQVault -HDD

### 録画一覧で番組を個別に消去する場合

**1** 録画一覧を押して録画一覧を表示する

**2** 消去する番組を選んでサブメニューを押す

**3** 番組消去 を選んで決定を押す

- 保護されている番組（🔒マークのある番組）は、消去できません。
  消去したい場合は、保護を解除 P.101 してから消去してください。

**4** 確認画面が表示されるので、はい を選んで決定を押す

- 番組が消去されます。
- 消去が終わったら、戻るを押してください。

### 番組を一括消去する場合

**1** 録画一覧を押して録画一覧を表示する

**2** 消去する番組を選んでサブメニューを押す

**3** 複数番組消去 を選んで 決定を押す

**4** さらに消去する番組を選んで決定を押す

- この手順を繰り返して、消去したい番組をすべて選びます。
- 複数の番組を消去対象にして、一括で消去することができます。
- 番組を消去対象にすると、☑（チェック）が付きます。
- 消去対象からはずしたい場合は、該当する番組を選んで決定を押します。

**5** 決定 を選んで決定を押す

- 確認画面が表示されるので、はい を選んで決定を押してください。
- 消去が終わったら、戻るを押してください。

お知らせ
- 録画中の番組は消去できません。

# 番組を全消去する

HDD USB-HDD SeeQVault -HDD

録画番組をすべて消去と、保護された録画番組以外をすべて消去ができます。

**1** ホームを押して、設定／お知らせ ➡ 機能設定 を選んで決定を押す

**2** リンク設定 ➡ HDD 設定 ➡ 通常録画用 または SeeQVault 用 ➡ 番組全消去 または 番組全消去（保護番組以外） を選んで決定を押す

**3** 全消去したいHDDを選んで決定を押す

- 確認画面が表示されるので、はい を選んで決定を押してください。

**4** 初期化が完了して画面が表示されたら、決定を押す

- 全消去が終わったら、ホームを押してください。

# ホームネットワーク上の機器やUSBメモリーの写真や動画を見る

ホームネットワーク上の機器やUSBメモリーに保存された写真や動画を再生します。

**お知らせ**

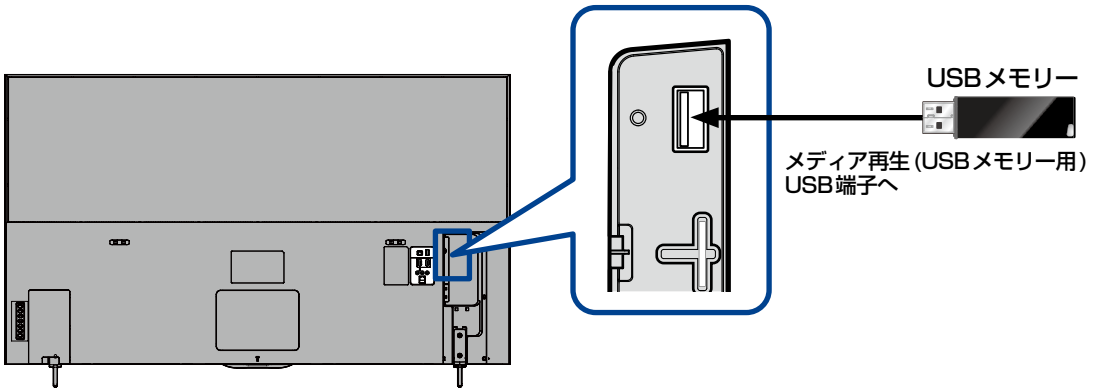
- 本機で使えるUSBメモリーとデータ形式について
  - USBメモリー機器：USBメモリー（32GB以下）、USBカードリーダー（マスストレージクラス）
  - ファイルシステム：FAT16形式、FAT32形式
  - 写真ファイル形式：JPG、JPEG、jpg、jpeg P.170
  - 動画ファイル形式：mpg、mpeg、mp4 P.170
- USBハブ（市販品）を使用して複数のUSBメモリーを接続した場合は、最大4個まで認識します。
- 写真は、プログレッシブ形式のJPEGファイル、Motion JPEGには対応していません。また、画像データのサイズにより表示に時間がかかる場合があります。
- バーチャルプレイリストには対応していません。
  1080／60p,50pと3Dのフォーマットには対応していません。
- 最大で1000枚の写真と1000個の動画を表示できます。
- SDカード、miniSDカードやmicroSDカードを使用される場合は、市販品のSDメモリーカードリーダーが必要です。すべてのSDカードとSDメモリーカードリーダーの組合せには対応していません。
- SDカード、miniSDカードやmicroSDカードの入っていないSDメモリーカードリーダーを挿入した状態で電源を「入」にすると、画面が出てテレビが操作できるようになるまでに時間がかかるようになります。
  （**[クイック起動]**が**[入]**設定時の電源「入」やそれに類する状態からの電源「入」では時間は変わりません。）
  カードリーダーを使うときはカードが入っていることを確かめてください。
- パソコンで書き込み、編集された画像や動画は見ることができない場合があります。
- 記録状態などによっては、正常に見ることができない場合があります。また、リストに表示されても見ることができないことがあります。
- 本機は、SD規格に準拠したFAT32形式及びFAT16形式でフォーマットされたSDカードに対応しています。
- 4GB以上のSDカードは、SDHCカードのみ使用できます。
- SDXCカードには対応していません。
- 動画ファイルに複数の映像がある場合は、最初の1つを再生しますが、切り換えることはできません。
- 本機背面のメディア再生（USBメモリー用）USB端子には、写真や動画再生用USB機器以外のものを接続しないでください。

## 写真や動画を表示する

### USBメモリーの写真や動画を表示する

**1** **本機の電源が「入」のときに、USBメモリーをメディア再生（USBメモリー用）USB端子に接続する**

- 向きを確認し、ゆっくり挿し込んでください。






次ページへつづく

## 2 ホームを押して、メディア再生 ➡ USBメモリー を選んで決定を押す

- 複数のUSBメモリーを接続している場合は、再生するUSBメモリーの選択画面が表示されるので、再生したいUSBメモリーを選んで決定を押してください。

## 3 写真 または 動画 を選んで決定を押す

- 写真一覧または動画一覧が表示されます。
  ファイルが無い場合は、[ファイルがありません。]と表示されます。

## ホームネットワーク上の機器の写真や動画を表示する

## 1 ホームネットワーク上の機器との接続・設定を行う

- くわしくは「ネットワーク接続・設定する」P.141をご覧ください。

## 2 ホームを押して、メディア再生 ➡ ホームネットワーク を選んで決定を押す

## 3 表示したい機器を選んで決定を押す

- 写真、動画ファイルまたはフォルダの一覧が表示されます。

## 表示を消す

写真一覧または動画一覧を表示中に戻るを押す

# 写真を見る

## 写真一覧の見かた

**▲·▼·◀·▶でカーソルを移動させる**

- 再生できないデータはアイコン表示されます。

## 写真一覧の続きを見る

**1 ページ単位で表示を切り換えることができます。**

▷ **スキップ を押す**

- 前のページを表示します。

▷ **スキップ を押す**

- 次のページを表示します。

## 画像を選ぶ

**拡大表示や回転させたい画像を選択します。**

**▲·▼·◀·▶でカーソルを移動させる。**

- 選択された画像は青色に表示されます。

## 拡大する

**画像を選んで 決定 を押す**

- 全画面表示になります。

▷ **[写真一覧]に戻りたいときは**

- 戻る を押す

▷ **前後の画像に切り換えたいときは**

- スキップ ・ スキップ を押す

▷ **回転させたいときは**

- 緑 を押す

# 写真をスライドショーで見る

## スライドショーを開始する

**写真一覧を表示中にサブメニューを押して、**
**スライドショーの実行 を選んで決定を押す**

- カーソルで選択された画像から全画面表示を開始します。

## スライドショーを終了する

**戻るを押す**

- 写真一覧に戻ります。
- もう一度押すと写真一覧を終了します。

## スライド時間を変更する

**スライドショーで1枚の写真が表示され、次の写真に切り換わるまでの時間を変更できます。**
**写真一覧を表示中にサブメニューを押して、表示間隔 を選んで決定を押す**

- 5秒、10秒、15秒から選べます。

## スライドショーを繰り返し再生する

**同階層内のすべての写真を繰り返し再生することができます。**
**写真一覧を表示中にサブメニューを押し、繰り返し再生 を選んで決定を押す**

- 入 を選ぶと繰り返し再生される様になります。

# 動画を見る

## 動画一覧の続きを見る

**1ページ単位で表示を切り換えることができます。**

▷ **スキップ を押す**
- 前のページを表示します。

▷ **スキップ を押す**
- 次のページを表示します。

## 動画ファイルを選ぶ

**再生したい動画ファイルを選択します。**
**▲・▼・◀・▶でカーソルを移動させる。**

- 選択された動画ファイルは橙色に表示し、右の縮小画面で再生されます。
  フォルダ毎の名前順で表示されます。

## 全画面で再生する

**動画ファイルを選んで 決定 を押す**
**全画面で再生を開始します。**

- 繰り返し再生したいときは

▷ **サブメニュー を押す**

## 再生速度を変えて見る

### 早送り／早戻し

▷**再生中に 早戻し 早送り を押す**

- 押すごとに３段階で速度が変わります。
- 再生 を押すと通常の速度に戻ります。

### 再生を一時停止める

▷**再生中に 一時停止 を押す**

- 一時停止 または 再生 を押すと解除されます。

## 全画面表示中に前の動画または次の動画を見る

▷**再生中に スキップ スキップ を押す**

- 再生中の動画から前または次の動画に切り換わります。

## 動画一覧に戻る

▷ **停止 を押す**

## 設定を変更する

**1** **再生中に サブメニュー を押す**

**2** **変更したい設定を選んで 決定 を押す**

- 「映像モード」 P.125
- 「音声モード」 P.130
- 「ヘッドホン音量」 P.75
- 「録画先切換」 P.87

の各設定を調整できます。

**お知らせ**

- 動画ファイルの再生が終わると自動的に停止し、動画一覧に戻ります。
- 動画ファイルを再生中に停止させると、動画一覧に戻ります。
- 再生できない動画ファイルを選択した場合は、まれに前に再生した動画ファイルが再生されることがあります。

# HDMI-CEC対応機器を操作する

HDMI機器連動機能とは、HDMIで規格化されているAVアンプやレコーダーなどを制御するための機能で、HDMI-CEC（Consumer Electronics Control）規格に準拠した機器間をHDMIケーブルで接続することにより、相互連動動作を可能にした業界標準規格です。

HDMI-CECに対応したAVアンプやレコーダーを本機のHDMI入力に接続すると、本機のリモコンで接続機器の主な操作（再生など）ができます。HDMI-CEC対応機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。（仕様は予告なく変更することがあります。）

### ▷本機でHDMI-CEC機能を使うには

**本　　機**…[ホーム]➡[設定／お知らせ]➡[機能設定]➡[リンク設定]➡[HDMI機器連動]を[入]に設定しておいてください。くわしくはP.140をご覧ください。

**接続機器**…接続機器側のHDMI-CEC設定を[入]にします。くわしくは各機器の取扱説明書をご覧ください。

**お知らせ**

- 他社製のHDMI-CEC対応機器で、本機と部分的に連動動作する場合もありますが、当社製レコーダーの[機器制御]対応シリーズ以外はその動作を保証するものではありません。
- [リンク設定]の[テレビリモコンの操作対象]を[HDMI機器優先]に設定した場合は、本機のリモコンの▲・▼・◀・▶、決定、戻る、早戻し、再生、早送り、停止、一時停止、スキップ、スキップでHDMI-CEC対応機器を操作できます。
- 接続する機器によっては、一部の操作ができない場合があります。
- [HDMI機器連動]は当社製のレコーダーでは[機器制御]と呼んでいます。

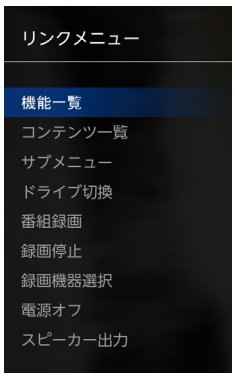
**ご注意**

- HDMI-CEC機能を中止するために[HDMI機器連動]P.140を[切]にした場合は、本機の電源を入れ直してください。
- 接続機器によってはお客様の意図しない動作をする場合があります。このようなときは[HDMI機器連動]を[切]にしてください。

## HDMI-CEC対応機器の操作のしかた

### 1 リンクを押す

### 2 操作したい項目を選んで決定を押す




#### ▷リンクメニューについて

- **機能一覧**
  接続機器の設定などを行う画面が表示されます。
- **コンテンツ一覧**P.113
  レコーダーの録画一覧を表示します。
- **サブメニュー**
  接続機器のサブメニューが表示されます。
  ※対応は機種により異なります。
- **ドライブ切換**P.112
  接続機器が複数の記録媒体を持つ場合は、再生や録画をする媒体を切り換えます。
- **番組録画**P.112
  視聴中のデジタル放送を今すぐ録画開始します。
- **録画停止**P.112
  一発録画を停止します。
- **録画機器選択**
  録画する録画先のレコーダーを選択します。
- **電源オフ**P.111
  本機のリモコンで接続機器の電源を切ります。
- **スピーカー出力**P.111
  本機のリモコンで、対応するAVアンプの音量を調節できます。

- 本機のリモコンで操作してください。

# HDMI-CEC対応アンプの音量を調節する

**1** リンク を押す

**2** スピーカー出力 を選んで 決定 を押す

**3** 外部音声機器 を選ぶ

**4** 音量 で音量を調節する

- アンプを消音にする場合は、消音 を押してください。
- アンプの種類によって調節できる音量が異なります。

**お知らせ**

- [スピーカー出力]を[外部音声機器]にすると、以降、本機の電源と連動してアンプの電源が立ち上がります。
  アンプに電源が入ると本機の音声は消音されます。これらが基本的な動作ですが、接続される製品により動作は異なります。
- 音量 を押し続けて音量調整すると画面表示が変わらないまま音量が変わる場合があります。ボタンを放すと表示がかわりそのときの音量が表示されます。
- 本機でヘッドホンをご使用中は、外部アンプからは本機の音は出ません。
  [ヘッドホン出力設定]が[スピーカー非連動]のときは、本機でヘッドホンをご使用中でも、外部アンプから本機の音が出ます。

# 接続機器の電源を切る

**1** リンク を押す

**2** 電源オフ を選んで 決定 を押す

- HDMI-CEC 対応機器の電源が「切」になります。

**お知らせ**

- [ホーム]➡[設定／お知らせ]➡[機能設定]➡[リンク設定]➡[HDMI 機器の自動電源オフ]を[入]にした状態で、本機と接続機器の電源が入っているときに 電源 を押すと、本機と接続機器の電源が両方とも切れます。

# 接続機器に連動して本機の電源を入れる

▷ **[ホーム]➡[設定／お知らせ]➡[機能設定]➡[リンク設定]➡[テレビの自動電源オン]を[入]にした状態で、本機の電源が入っていないときにDVDレコーダーなどの接続機器でディスクの再生を開始する**

- 本機の電源が自動的に入り、接続機器が接続されている外部入力に本機の入力切換が切り換わります。
- 本機の電源が入っていない状態で、接続機器の電源を入れた場合でも、連動して本機の電源が入ります。

**ご注意**

- HDMI-CEC機能を中止するために**[HDMI機器連動]** P.140を**[切]**にした場合は、本機の電源を入れ直してください。

# デジタル放送を一発録画で録る

## 1 リンク を押す

## 2 番組録画 を選んで 決定 を押す

- 画面に**[レコーダーでの録画が開始されました。]**の表示が出て、録画を開始します。

### 録画を停止したいときは

## 3 リンク を押す

## 4 録画停止 を選んで 決定 を押す

**お知らせ**

- HDMI-CEC機能は、HDMI-CEC対応機器にて使用可能です。各機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。仕様は予告なく変更することがあります。
- デジタル放送をご覧になるときは、**[番組録画]**機能をいつでも、すぐにご利用いただけるように、レコーダーの電源を「入」にしておくことをおすすめします。
- 本機のチューナーでデジタル放送を見ているときは、視聴中のデジタル放送の番組情報をレコーダーに送り、レコーダーでチャンネルを切り換えて録画します。
- レコーダー側のチューナー(HDMI)でデジタル放送を見ているときは、レコーダーが選局している番組をそのまま録画します。レコーダーの録画ボタンを押した場合と同じ動作となります。
- 録画モード(画質)は、レコーダー側で設定されているモードになります。くわしくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- レコーダーの番組情報が十分に取得されていないと、録画番組が特定できず動作ができないことがあります。レコーダー購入直後などはレコーダーの番組表が利用できるように番組情報を受信してからご使用ください。
- 契約が必要なチャンネルの番組を一発録画するときは、録画機器に契約済みのminiB-CAS カードが入っていることを確認してください。

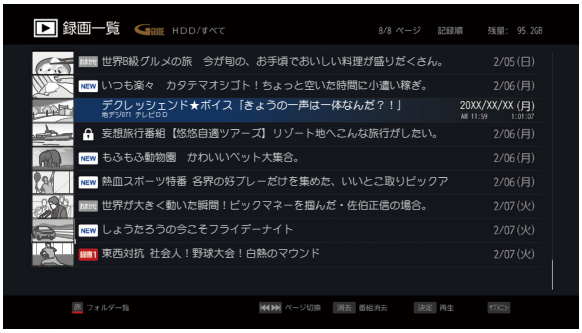
## コンテンツー覧を表示する

### 1 リンクを押す

### 2 コンテンツー覧 を選んで 決定 を押す

- HDMI-CEC 対応機器のコンテンツー覧が表示されます。

▷ コンテンツー覧例




### 3 ▲·▼、決定 または 再生 で操作する

▷ 確認だけして放送画面に戻る場合は

- 戻る を押す

  コンテンツー覧が消えます。(入力はHDMIのままです。)

- [リンク設定]の[テレビリモコンの操作対象]を[HDMI機器優先]に設定した場合は、本機のリモコンの▲·▼·◀·▶、決定、戻る、早戻し、再生、早送り、停止、一時停止、スキップ、スキップでHDMI-CEC対応機器を操作できます。
- 接続する機器によっては、一部の操作ができない場合があります。

# USB-HDDを接続・設定する

## USB-HDDってどんな機器？

HDDと同じように、受信した番組を録画したり再生したりすることができます。
USB-HDD をご使用になる際は、以下をお読みになり十分ご理解いただいた上でご使用ください。

**ご注意**

- 本機への登録を解除したUSB-HDDは録画も再生もできなくなります。登録を解除したUSB-HDDをもう一度本機に登録する場合も、本機専用方式で初期化しますので番組はすべて消去されます。登録を解除するUSB-HDDは、間違えないように注意してください。

## SeeQVault-HDDってどんな機器？

SeeQVault-HDDを使用すれば、本機で録画した番組をバックアップ用に記録できます。
万一、本機が故障した場合は、本機に内蔵のHDDやUSB-HDDに録画された番組は失われますが、SeeQVault-HDDへ記録した番組は本機の修理後でも再生やダビングが可能になります。
また、本機能に対応した当社製の他の機器でも再生やダビングができます。（本機でバックアップ用に記録した番組を他社のSeeQVault対応機器で再生やダビングをしたり、他社のSeeQVault対応機種で記録した番組を本機で動作させたりすることを保証するものではありません。）
初期化していないSeeQVault-HDDを本機に接続した場合は、接続後に表示される確認画面で**[SeeQVault用として他機でも使用する]**を選ぶ必要があります。P.117

## USB-HDDをつなぐ前に

- 本機には、内蔵HDDまたは内蔵メモリーが搭載されていますが、USB-HDDを本機に接続して使用することもできます。内蔵HDD／メモリーと共通の録画についての補足説明に関しては、「録画についての補足説明」P.94をご覧ください。
- 本機が対応するUSB-HDDについて、本機に接続して番組の録画／再生が可能なUSB-HDDの最新情報や詳細は、当社のホームページ（funai.jp/cs/）でご確認ください。
- USB-HDDは推奨のものをご使用いただき、USBケーブルはUSB-HDDに付属のケーブルをご使用ください。
- バスパワー型のUSB-HDDは動作保証外です。セルフパワー型のUSB-HDDをご使用ください。
- 本機背面の通常録画（HDD用）USB 端子には、デジタル放送録画用USB機器以外のものを接続しないでください。
- 他のレコーダーやテレビ、パソコンなどで使用していたUSB-HDDを本機に接続してUSB-HDDとして登録すると、本機専用の方式で初期化されるため、それまでに保存されていたデータや録画番組などはすべて消去されます。消去しても問題ないデータであることを確認してから本機で初期化してください。
- 本機で使用していたUSB-HDDをパソコンで使用するには、パソコンで初期化する必要があります。その際、本機で記録した内容はすべて消去されます。消去しても問題ないデータであることを確認してからパソコンで初期化してください。
- USB-HDDの動作中は、USB-HDDの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。記録した内容が消えたり、本機およびHDD／USB-HDDが故障したりする原因となります。
- 本機に接続できるUSB-HDDは、USB2.0コネクタを持ち、USBマスストレージクラスで、容量は4TBまでです。
- 本機とUSB-HDDまたはUSBハブを接続するときは、本機とUSB-HDD（セルフパワー型のみ）またはUSBハブの電源を必ず「切」にしてください。**[クイック起動]**が設定されている場合は、設定を解除してから電源を「切」にしてください。P.163電源を「切」にしたあと、本機前面のLEDがすべて消灯していることを確認してください。
- 通常録画用として登録したUSB-HDDに録画した番組は、本機でのみ再生できます。他の当社製テレビ（同じ型番のテレビも含む）やパソコンなどに接続しても再生できません。

■USB機器をお使いになるには、本機に登録（ページ参照）が必要です。登録の際、USB機器に保存されたデータはすべて消去されます。
■USB機器は非常に精密な機器です。丁寧にお取り扱いください。
■USB機器は録画内容の恒久的な保管場所ではありません。
■USB-HDDに付属の取扱説明書をご覧ください。

一時的な保管場所としてお使いください。万一録画内容が失われましても当社は補償いたしません。大切な番組の録画には、ブルーレイディスクレコーダーやDVDレコーダー、ビデオなど、他の機器にも録画することをおすすめします。

■USB機器に異常が発生した場合は、USB 機器の録画内容は失われます。
■USB機器は、使用する場所の環境や使用状況が過酷な場合は、数年で寿命となり、録画内容が再生できなくなることがあります。
■部分的または全体的に次のような症状が頻繁に発生するようになった場合は、USB機器の寿命が近づいています。
- 再生できない、再生と一時停止を繰り返す
- 映像が乱れる
- ブロックノイズ（モザイク状のノイズ）が発生する

■本機で録画した番組は、コピー防止･内容の保護の目的により、本機以外では視聴できません。万一本機が故障し主要な部品を取り換えたり、本機を交換したりした場合でも、USB機器に録画した番組は見られなくなりますのでご了承ください。
■万一何らかの不具合により正常に録画されなかった場合や、録画内容を正常に再生できなくなった場合などの録画内容の補償はできません。

**ご注意**
- USB-HDDは7台まで本機に登録できます。
- USB-HDDをつなぐ場合は、USBハブを使うと3台まで同時に接続可能です。

# USB-HDDをつなぐ

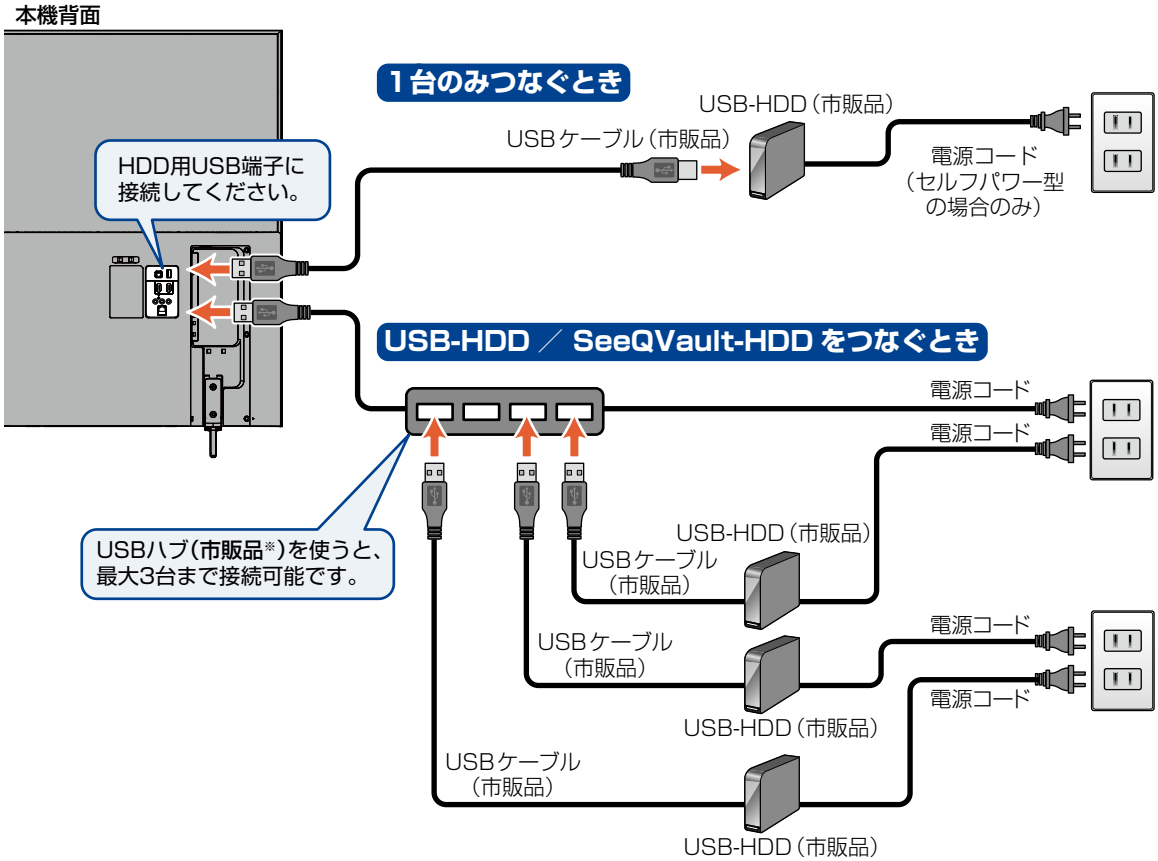
## ▷USBハブを使うときは

- USBハブを使うときに接続するUSB-HDDは、ACアダプターを使用するセルフパワー型をおすすめします。（バスパワー型USB-HDD をUSBハブに接続したとき、製品供給電力を超える場合は動作しません。）
- USBハブに使用するACアダプターは、専用のACアダプターをご使用ください。
- USB-HDD名や接続場所などを特定しやすくするために、登録や初期化の処理を1台ずつ接続して行うことをおすすめします。
- 複数台のUSBハブを経由して本機にUSB-HDDを接続できません。
- 4ポート以上のUSBハブに4台以上のUSB-HDDを接続しても、本機が認識できるのは3台までです。
- USBハブの中には内部のハブが複数段になっているものもあります。そのようなUSBハブで接続したときは、本機がUSB-HDDを認識しない場合があります。

# USB-HDDを接続･設定する（つづき）

## USB-HDDをつなぐ

■USB-HDDは必ず本機背面のHDD用USB端子に接続してください。
■USB-HDDが電源付きの場合は、本機の電源より先にUSB-HDDの電源を入れてください。




※ セルフパワー型のUSBハブは、当社接続確認済み機器をご使用ください。接続確認済み機器については、当社のホームページ（funai.jp/cs/）でご確認ください。

### 次のようなことは行わないでください。

■USB機器の動作中に、USBメモリーやUSB-HDDの接続ケーブル、本機の電源プラグを抜かない。
■USB機器の動作中に、USB-HDDや本機の電源を切らない。

USB機器の故障やデータが消失する恐れがあります。

USB-HDDは、USB-HDDに付属の取扱説明書をよくお読みになった上で正しくお取り扱いください。

■5GHz帯に対応した無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。2.4GHz帯の設定では他の2.4GHz帯の機器との干渉により、無線LANの通信が途切れることがあります。

### ▷通常録画用USB-HDDを接続したあとは

- 本機にUSB-HDDを通常録画用として登録してください。（本機に登録されていないUSB-HDDはお使いになれません。）
- 未登録のUSB-HDDを接続すると、登録設定の確認画面が表示されますので、**[はい]**を選んで決定を押してください。そのあと、「USB-HDDを通常録画用として登録する」P.119の手順6に進んでください。

### ▷SeeQVault-HDDを接続したあとは

- 当社製のSeeQVault対応機器で、SeeQVault-HDDとして登録するなど他機種での使用も想定して使用していたSeeQVault-HDDは、そのまま本機で使用できます。
- 他社のSeeQVault対応機器で使用していたSeeQVault-HDDは、本機で使用できない場合があります。初期化を行うと使用できる場合がありますが、他社のSeeQVault対応機器で記録した番組がすべて消去されますので、消去されても問題ないデータであることを確認してから初期化してください。
- 初期化していないSeeQVault-HDDを接続すると、登録設定の確認画面が表示されます。
- SeeQVault-HDDとして使用する場合は、**[SeeQVault用として他機でも使用する]**を選んで決定を押してください。そのあと、「SeeQVault-HDDを初期化する」P.118の手順3に進んでください。
- 通常録画用として使用する場合は、**[通常録画用として登録する]**を選んで決定を押してください。そのあと、「USB-HDDを通常録画用として登録する」P.119の手順6に進んでください。
  通常録画用として登録すると、本機でのみ再生や録画が可能となります。

### ▷USB-HDD／SeeQVault-HDDまたはUSBハブを取りはずすには

セルフパワー型のUSB-HDD／SeeQVault-HDDまたはUSBハブを本機から取りはずすときは、必ず先に本機の電源を「切」にしてからUSB-HDD／SeeQVault-HDDまたはUSBハブの電源を「切」にして取りはずしてください。また、SeeQVault-HDDを取りはずすときは、必ず事前に「SeeQVault-HDDを取り外す」P.118を実行しておいてください。

**お知らせ**

- USB端子に、タブレットなどの本機で利用できない（または対応していない）USB機器を接続しても、接続した機器を利用できない旨のメッセージが表示されない場合があります。
- 登録可能なUSB-HDDを接続しても登録設定の確認画面が表示されなかった場合は、**[ホーム]➡[設定／お知らせ]➡[機能設定]➡[リンク設定]➡[HDD設定]➡[通常録画用]➡[USB-HDD登録設定]**を選んで登録してください。

# SeeQVault-HDDを初期化する（SeeQVault用として他機でも使用する）

SeeQVault -HDD

本機側面のUSB 1通常録画（HDD用）端子に接続したSeeQVault-HDDを初期化します。

**1** ホーム を押して、設定／お知らせ ➡ 機能設定 ➡ リンク設定 ➡ HDD設定 を選んで 決定 を押す

**2** SeeQVault用 ➡ SeeQVault-HDD初期化 を選んで 決定 を押す

**3** 未登録 または本機／他機で初期化済みのSeeQVault-HDDを選んで 決定 を押す

- 確認画面が2回表示されるので、はい を選んで 決定 を押してください。

**4** USB-HDD名を設定するかしないかを選んで 決定 を押す

▷ **はい を選んだ場合**

「USB-HDD ／ SeeQVault-HDDの登録名を変更する」P.122の手順3に進んでください。

▷ **いいえ を選んだ場合**

登録を完了して放送画面に戻ります。

- 登録したUSB-HDDの名前を変更する場合は、「USB-HDD ／ SeeQVault-HDDの登録名を変更する」P.122をご覧ください。

▷ **再度初期化するときは**

SeeQVault-HDDを初期化すると、本機または他機で記録した番組がすべて初期化されます。消去されても問題ないデータであることを確認してから初期化してください。

① 手順1 ～ 4 を再度行う

# SeeQVault-HDDを取りはずす

SeeQVault -HDD

本機に接続したSeeQVault-HDD を取りはずします。

**1** 録画一覧 を押して、ハードディスク一覧 を表示する

- ハードディスク一覧 は内蔵HDDを含め2台以上接続し、録画一覧 を押したときに表示されます。

**2** ｻﾌﾞﾒﾆｭｰ を押す

- SeeQVault-HDDを複数接続している場合は、選択画面が表示されるので取りはずしたいSeeQVault-HDDを選んで 決定 を押してください。
- 確認画面が表示されるので、はい を選んで 決定 を押してください。

# USB-HDDを通常録画用として登録する

本機背面の通常録画（HDD用）USB端子にUSB-HDD（市販品）(最大容量４TB）を通常録画用としてつなぐ場合は、以下の手順で本機に登録します。

USB-HDD

---

## 1 本機の電源が「切」の状態でUSB-HDDを本機背面にある通常録画（HDD用）USB端子に接続する P.115

- 本機の電源を「入」にすると、[本機に登録されていないハードディスクが検出されました。ハードディスク登録設定を行いますか？]の確認画面が表示されます。
  「はい」を選んで決定を押した場合は手順6から登録設定を行ってください。

## 2 ホームを押して、設定／お知らせ ➡ 機能設定 を選んで決定を押す

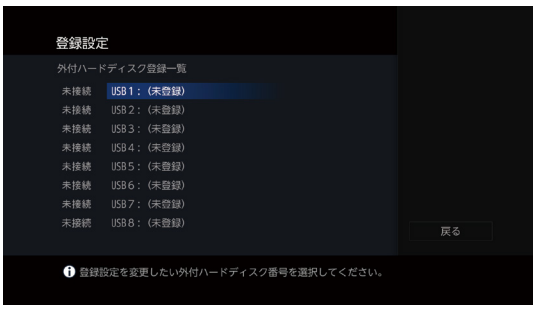
## 3 リンク設定 を選んで決定を押す

## 4 HDD設定 を選んで決定を押す

## 5 通常録画用 を選んで決定を押す

## 6 USB-HDD登録設定 を選んで決定を押す

## 7 未登録 と表示されている行を選んで決定を押す



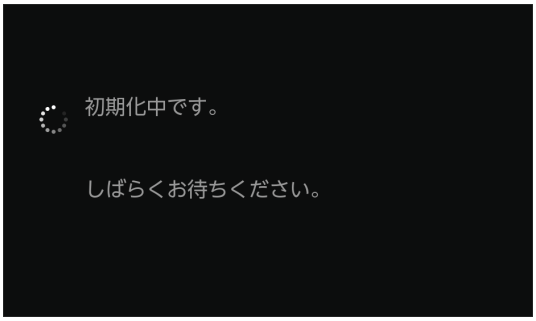

- 本機に登録したUSB-HDDは、本機以外では使用できません。
  本機と同じものを２台お持ちの場合でも、それぞれに登録し直す必要があります。



次ページへつづく

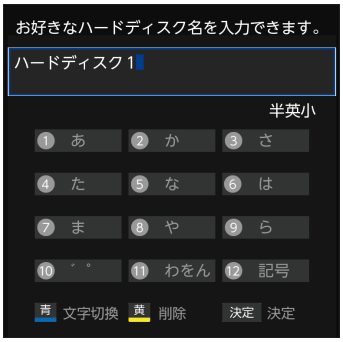
## 8 （未登録）が表示されたら、決定を押す

- 登録済みのUSB-HDDを接続していた場合は、**[すでに登録済みの機器が接続されています。この操作は不要です。決定ボタンを押してください。]**と表示されます。
- 確認画面が2回表示されるので、はいを選んで決定を押してください。
- USB-HDDの初期化が始まり、下の画面が表示されます。




- USB-HDDの初期化中は、音量＋ー、消音以外のボタンははたらきません。
- 確認画面が表示されるので、決定を押してください。

## 9 登録名を入力する




### ① 青で[全かな][全カナ][全英数][半英][半数]を選ぶ

### ② 1 ～10/0で文字（数字／記号）を入力する

- ①～②を繰り返して入力します。
- 間違えたときは黄を押して、入力し直してください。

### ③ 入力が終わったら、決定を押す

- 設定が終わったら、ホームを押してください。

**ご注意**

- SeeQVault-HDDを通常録画用として本機に登録することも可能ですが、通常録画用で初期化する場合、以下の点を十分ご理解のうえ、登録してください。
  - 記録されている番組はすべて消去されます。
  - 通常録画用として使用されるため、本機でのみ再生や録画が可能となります。（当社製SeeQVault対応機器での再生や録画はできなくなります。）

# HDD/USB-HDDの登録名を変更する

## HDDの登録名を変更する

HDD

**1** ホームを押して、設定／お知らせ ➡ 機能設定 を選んで決定を押す

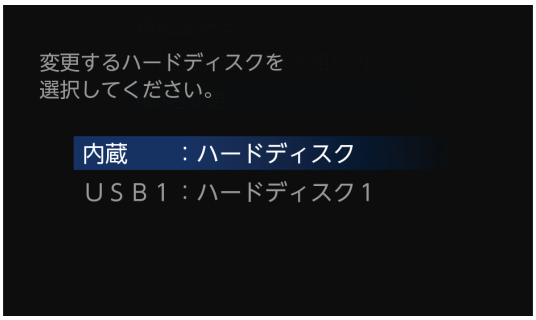
**2** リンク設定 を選んで決定を押す

**3** HDD設定 を選んで決定を押す

**4** 通常録画用 を選んで決定を押す

**5** HDD名変更 を選んで決定を押す

**6** 下の画面が表示されたら内蔵HDDを選んで、決定を押す




**7** 登録名を入力する

① 青 で [全かな][全カナ][全英数][半英][半数] を選ぶ

② 1 ～ 10/0 で文字（数字／記号）を入力する

- ①～②を繰り返して入力します。
- 間違えたときは黄を押して、入力し直してください。

③ 入力が終わったら、決定を押す

- 設定が終わったら、ホームを押してください。

お知らせ

- 内蔵HDDまたは内蔵メモリーの登録名も本操作で変更できます。

# USB-HDD／SeeQVault-HDDの登録名を変更する

USB-HDD　SeeQVault-HDD

## 1 ホームを押して、設定／お知らせ ➡ 機能設定 を選んで決定を押す

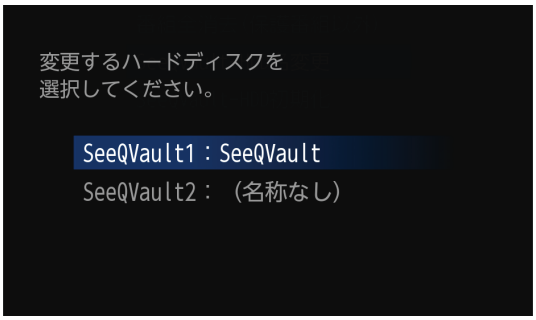
## 2 リンク設定 を選んで決定を押す

## 3 HDD設定 を選んで決定を押す

## 4 お好みの項目を選んで決定を押す

- USB-HDD名を変更したい場合は、
  通常録画用 ➡ USB-HDD名変更 を選んでください。
- SeeQVault-HDD名を変更したい場合は、
  SeeQVault用 ➡ SeeQVault-HDD名変更 を選んでください。

## 5 下の画面が表示されたらお好みのメディアを選んで、決定を押す




## 6 登録名を入力する

① 青 で [全かな][全カナ][全英数][半英][半数] を選ぶ
② 1 ～ 10/0 で文字（数字／記号）を入力する
- ①～②を繰り返して入力します。
- 間違えたときは 黄 を押して、入力し直してください。

③ 入力が終わったら、決定を押す
- 設定が終わったら、ホーム を押してください。

お知らせ
- 他機で登録された名前が表示されない場合があります。

# 登録を解除する

## USB-HDDの登録を解除する

USB-HDD　SeeQVault -HDD

登録解除を行うと、そのUSB-HDD内の番組は、保護されている番組も含めすべて再生できなくなりますのでご注意ください。

**1** ホームを押して、設定／お知らせ ➡ 機能設定 を選んで決定押す

**2** リンク設定 を選んで決定を押す

**3** HDD設定 を選んで決定を押す

**4** 通常録画用 を選んで決定を押す

**5** USB-HDD登録設定 を選んで決定を押す

**6** 登録を解除したいUSB-HDDを選んで決定を押す

- 確認画面が2回表示されるので、はい を選んで決定を押してください。
- 設定が終わったら、ホームを押してください。

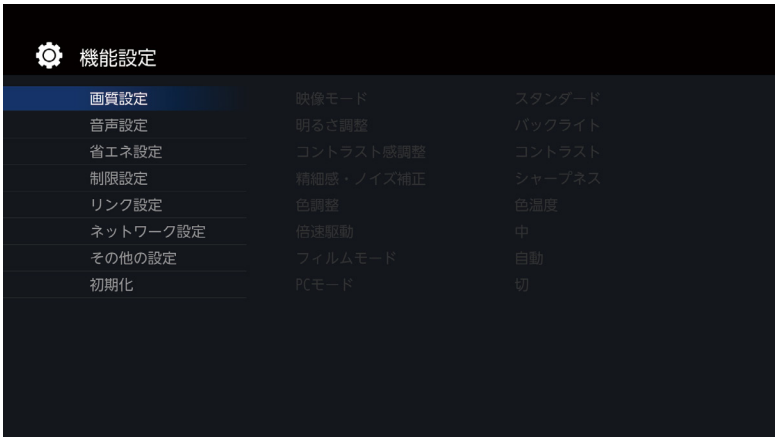
# 画質設定をする

画質をお好みの設定にしたいときに調整します。

## 画質設定の表示のしかた

**1** ホームを押して、設定／お知らせ ➡ 機能設定 を選んで 決定 を押す

**2** 画質設定 を選んで 決定 を押す



### ▷画質設定について

- **映像モード** P.125
  映像に合った画質設定を、
  7つのモードの中から選ぶことができます。
- **明るさ調整** P.125
  画面の明るさを調整します。
- **明暗調整** P.126
  画面の明暗を調整します。
- **精細感調整** P.126
  精細感やノイズ補正を調整します。
- **色彩調整** P.127
  色彩を調整します。
- **倍速駆動** P.127
  動きの速い映像で出る残像感を軽減し、
  なめらかに表示します。
  (FL-43UB4000をのぞく)
- **フィルムモード** P.128
  映画フィルム素材を自動的に検知して、
  映画フィルム本来の映像の美しさを忠実に再現します。
- **PCモード** P.128
  PC信号に最適な設定を提供します。

# 映像モードを切り換える

7つの映像モードから選ぶことができます。
それぞれの設定は、お好みに合わせて調整できます。P.125〜P.127

## 1 画質設定 を表示中に、映像モード を選んで 決定 を押す

## 2 設定を選んで 決定 を押す

- 設定が終わったら、ホーム を押してください。

▷**映像モードの種類**

- **ダイナミック**
  色調、画質ともにあざやかで、メリハリの効いた画質です。お部屋が特に明るく、コントラスト感が要求されるときにおすすめします。
- **スタンダード**
  標準的な画質です。一般的な視聴におすすめします。
- **ナチュラル**
  より自然で、落ちついた色合いに補正された画質になります。
- **シネマ**
  お部屋を暗くして映画ソフトを楽しむのに適した画質です。
- **ゲーム**
  テレビゲームを楽しむのに適した画質です。
- **写真**
  写真を楽しむのに適した画質です。
- **ユーザー設定**
  お好みに合わせてデジタル放送(地上／BS／CS)および、各入力(ビデオなど)ごとに細かい調整ができます。

**お知らせ**

- 映像モードは、デジタル放送(地上／BS／CS)および、各入力(ビデオなど)ごとに選ぶことができます。

# 明るさ調整を設定する

画面全体の明るさを調整します。

## 1 画質設定 を表示中に 明るさ調整 を選んで 決定 を押す

## 2 設定を選んで 決定 を押す

- 設定が終わったら、ホーム を押してください。

▷**明るさ調整の種類**

- **バックライト**
  画面全体の明るさを調節します。設定値を下げることで消費電力も下がります。
- **バックライト補正**
  画面全体の明るさを向上させます。
  映像が不自然になる場合は「切」にしてください。

# 明暗調整を設定する

画面の明暗を調整します。

## 1 画質設定 を表示中に、明暗調整 を選んで 決定 を押す

## 2 設定を選んで 決定 を押す

● 設定が終わったら、ホーム を押してください。

▷ **明暗調整の種類**

- **コントラスト**
  映像の白い部分の明るさを調整します。明るい部分が白飛びし細部が潰れる場合は、設定値を下げます。
- **黒レベル**
  映像の暗い部分の明るさを調節します。暗い部分が見えにくい場合は、設定値を上げます。
- **コントラスト補正**
  映像のコントラスト感を上げます。暗いシーンなどを鮮明な映像に調整します。
- **黒補正**
  中間よりも暗い部分の階調を高めて濃淡を強調する調整をします。
- **ガンマ調整**
  映像の階調調整をします。
- **HDR復元**
  明るさの領域を復元し、鮮明な映像にします。映像が不自然になる場合は「切」にしてください。
- **HDRガンマ調整**
  HDR映像の輝度を調整します。階調を重視する場合は設定値を下げてください。

# 精細感調整を設定する

精細感やノイズ補正を調整します。

## 1 画質設定 を表示中に、精細感調整 を選んで 決定 を押す

## 2 設定を選んで 決定 を押す

● 設定が終わったら、ホーム を押してください。

▷ **精細感調整の種類**

- **シャープネス**
  映像のくっきり感を調節します。設定値を上げるとメリハリのある映像、設定値を下げるとやわらかい映像になります。
- **解像度復元**
  見た目の解像度を上げ、精細な映像にします。映像が不自然になる場合は「切」にしてください。
- **階調補正**
  暗い部分から明るい部分へのグラデーションや微細な質感が表現されるように補正します。映像が不自然になる場合は「切」にしてください。
  (FL-43UB4000をのぞく)
- **ノイズ低減**
  映像にのった微細なノイズを減らします。「自動」に設定すると、映像に合わせてノイズを軽減します。

| | |
|---|---|
| 自動 | 映像にあわせて自動でノイズを軽減します。 |
| 強／中／弱 | ノイズ軽減の強さを変更します。 |
| 切 | 精細感・ノイズ補正がオフになります。 |

- **ブロックノイズ低減**
  デジタル放送のブロック状のノイズと輪郭部分に現れるモスキートノイズを軽減します。

# 色彩調整を設定する

色彩を調整します。

## 1 画質設定 を表示中に、色彩調整 を選んで 決定 を押す

## 2 設定を選んで 決定 を押す

- 設定が終わったら、ホーム を押してください。

▷ **色彩調整の種類**

- **色温度**
  色調を調節します。室内照明などの視聴環境に合わせてお好みの色調に設定します。
- **白強調**
  白やグレーの部分を強調します。
  (FL-43UB4000 をのぞく)
- **色の濃さ**
  色の濃淡を調節します。自然な色にするときは、やや薄めに設定します。
- **色あい**
  色あいを調節します。肌色をお好みに合わせて設定します。
- **色域マッピング**
  色の再現範囲を設定します。
  (FL-43UB4000 をのぞく)
- **色あざやか補正**
  入力信号に適切な処理を行って色鮮やかにします。映像が不自然になる場合は「切」にしてください。
- **色詳細調整**
  色あい・鮮やかさ・明るさを、赤・黄・緑・シアン・青・マゼンタの色ごとに調整します。
  (FL-43UB4000 をのぞく)

# 倍速駆動を設定する

動きの速い映像で出る残像感を軽減し、なめらかに表示します。(FL-43UB4000 をのぞく)
映像が不自然になる場合は [切] にしてください。

## 1 画質設定 を表示中に、倍速駆動 を選んで 決定 を押す

## 2 設定を選んで 決定 を押す

- 設定が終わったら、ホーム を押してください。

# フィルムモードを設定する

映画フィルム素材を自動的に検知して、映画フィルム本来の映像の美しさを忠実に再現します。
映像が不自然になる場合は「切」にしてください。

**1** **画質設定** を表示中に、**フィルムモード** を選んで 決定 を押す

**2** **設定を選んで 決定 を押す**

- 設定が終わったら、ホーム を押してください。

# PCモードを設定する

PC信号に最適な設定を提供します。
現在の入力がPCと接続している場合は **入** に設定してください。

**1** **画質設定** を表示中に、**PCモード** を選んで 決定 を押す

**2** **設定を選んで 決定 を押す**

- 設定が終わったら、ホーム を押してください。

| | |
|---|---|
| 入 | PC信号に最適な設定を提供します。現在の入力がPCと接続している場合は 入 に設定してください。 |
| 切 | PCモードがオフになります。 |

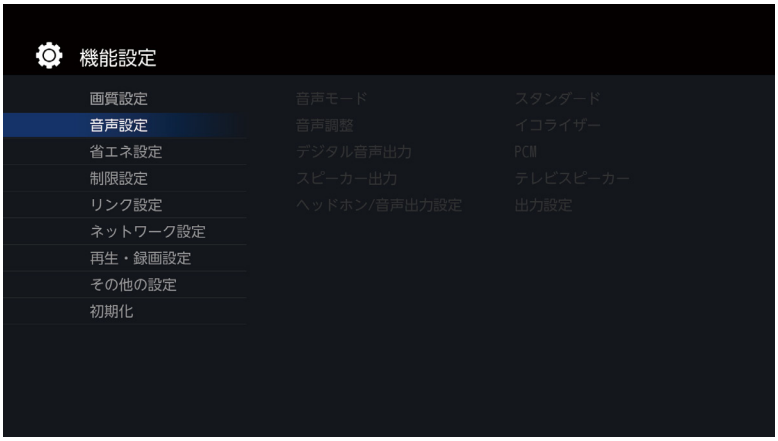
# 音声設定をする

音声をお好みの設定にしたいときに調整します。

## 音声設定の表示のしかた

**1** ホームを押して、設定／お知らせ ➡ 機能設定 を選んで 決定 を押す

**2** 音声設定 を選んで 決定 を押す



### ▷音声設定について

- **音声モード*** P.130
  映像に合った音質設定を、５つのモードの中から選ぶことができます。
- **詳細調整** P.131
  音声を詳細に調整します。
  （音声モード が 音声アシスト の場合は調整できません。）
- **デジタル音声出力** P.132
  デジタル音声出力の音声形式の設定をします。
- **スピーカー出力** P.132
  スピーカーの出力設定をします。
- **ヘッドホン／音声出力設定** P.133
  音声の出力方法や外部スピーカー出力の設定、またヘッドホン使用中にスピーカーから同時に音声を出力するかを切り換えることもできます。
  *印のついた設定は、ヘッドホン出力設定 を スピーカー非連動 に設定しているとき、ヘッドホンへの音声出力にははたらきません。
  （本機のスピーカーから出力される音声にのみ反映されます。）

# 音声モードを切り換える

映像に合った音質の設定を５つのモードの中から選ぶことができます。
それぞれの設定は、お好みに合わせて調整できます。

## 1 音声設定 を表示中に、音声モード を選んで 決定 を押す

## 2 設定を選んで 決定 を押す

- 設定が終わったら、ホーム を押してください。

### ▷音声モードの種類

- **スタンダード**
  標準的な音質です。一般的な視聴におすすめします。
- **ミュージック**
  低音、高音を強調した音質です。音楽番組の視聴に適したモードです。
- **シネマ**
  効果音などの迫力ある音を強調した音質です。映画番組の視聴に適したモードです。
- **音声アシスト**
  高音を強調し、人の声を聞き取りやすくした音質です。ニュース番組などの視聴に適したモードです。
- **ユーザー設定**
  各入力ごとにお好みに合わせて細かい調整ができます。

**お知らせ**

- 音声モードは、デジタル放送(地上／BS／CS)および、各入力(ビデオなど)ごとに選ぶことができます。

# 詳細調整を設定する

音声を詳細に調整します。音声モードが「音声アシスト」の場合は調整できません。

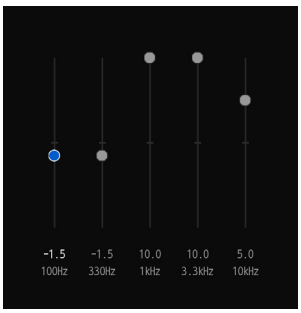
## 1 音声設定 を表示中に、詳細調整 を選んで 決定 を押す

## 2 設定を選んで 決定 を押す

● 設定が終わったら、ホーム を押してください。

▷ **詳細調整の種類**

- **イコライザー**
  周波数帯域ごとの音質を調整します。周波数帯域は◀・▶で選択できます。




- **左右バランス**
  スピーカーの左右のバランス音量を調節します。
- **Sonic Emotion サラウンド**
  Sonic Emotionのサラウンド設定をします。臨場感あふれるサラウンド効果を楽しめます。
  - [入]
  - [切]
- **重低音強調**
  重低音を強調します。
  - [入]
  - [切]
- **はっきり音声**
  声やセリフの部分をはっきり聞こえるように強調します。
  - [入]
  - [切]
- **ぴったり音量**
  CMや番組の切り換わりなど、音量が大きく変わるシーンにおいて音量の変化を自動的に調整します。
  - [入]
  - [切]

# デジタル音声出力を設定する

光デジタル音声出力端子とARC(オーディオリターンチャンネル)を使用したHDMI端子から出力される音声形式を設定します。光とARCは同じ設定になります。

## 1 音声設定 を表示中に、デジタル音声出力 を選んで 決定 を押す

## 2 設定を選んで 決定 を押す

- 設定が終わったら、ホーム を押してください。

▷ デジタル音声出力の種類

- **PCM**
  音声形式をリニアPCMに変換して出力します。ビットストリーム を選択したときにオーディオ機器が音声を出力しない場合に設定してください。
- **ビットストリーム**
  受信した音声形式でそのまま出力します。

# スピーカー出力を設定する

スピーカーの出力設定を行います。

## 1 音声設定 を表示中に、スピーカー出力 を選んで 決定 を押す

## 2 設定を選んで 決定 を押す

- 設定が終わったら、ホーム を押してください。

▷ スピーカー出力の種類

- **テレビスピーカー**
  スピーカーから音声を出力します。
- **外部音声機器**
  スピーカーから音声を出力しません。ヘッドホンからは音声を出力可能です。

# ヘッドホン／音声出力設定を設定する

ヘッドホン／音声出力の設定を行います。

## 1 音声設定 を表示中に、ヘッドホン／音声出力 を選んで 決定 を押す

## 2 設定を選んで 決定 を押す

- 設定が終わったら、ホーム を押してください。

### ▷ヘッドホン／音声出力設定の種類

- **出力設定**
  音声出力端子に接続する機器を設定します。
  - **ヘッドホン**
  - **外部スピーカー**
- **ヘッドホン出力設定**
  ヘッドホンを使用するときのスピーカーからの音声出力を設定します。
  - **スピーカー連動**
    ヘッドホンをご使用になるとき、スピーカーから音声を出力しません。
  - **スピーカー非連動**
    ヘッドホンをご使用になっても、スピーカーから音声を出力します。ヘッドホンの音量は、ヘッドホン音量メニューから調整できます。
- **外部スピーカー出力設定**
  音声出力端子からの出力レベルを設定します。
  - **固定**
    出力レベルを固定にします。
  - **可変**
    本機の音量レベルに連動します。

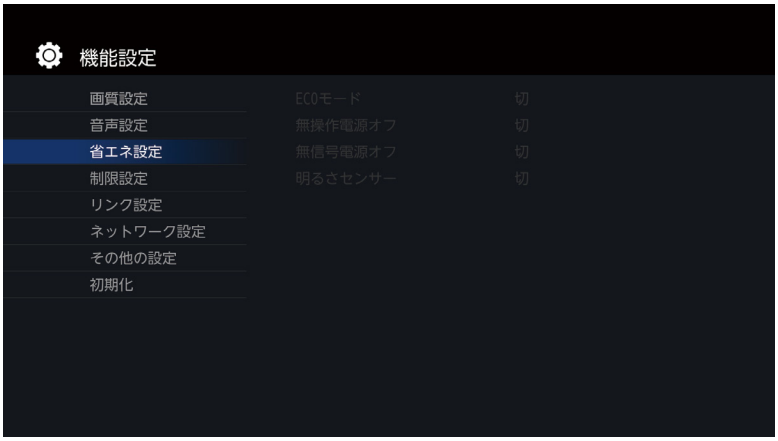
# 省エネ設定をする

いろいろな節電の設定をします。

## 省エネ設定の表示のしかた

**1** ホームを押して、設定／お知らせ ➡ 機能設定 を選んで 決定 を押す

**2** 省エネ設定 を選んで 決定 を押す



▷ 省エネ設定 P.135 について

- **ECOモード**
  画面の明るさを抑え、消費電力を削減します。
- **無操作電源オフ**
  無操作時に電源を切る設定をします。
- **無信号電源オフ**
  無信号時に電源を切る設定をします。
- **明るさセンサー**
  お部屋の明るさに応じて、自動で画面の明るさを抑え、消費電力も節約します。

お知らせ

- [明るさセンサー]を[入]に設定しているときは、部屋の照明が安定し、明るさセンサー受光部 P.16、P.18、P.20 が遮断されていないことをご確認ください。

# 省エネ設定の各項目を設定する

省エネに関する設定ができます。

## 1 省エネ設定 を表示する P.134

## 2 設定したい項目を選んで 決定 を押す

| | |
|---|---|
| ECOモード | 「入」で、画面の明るさを抑え、消費電力を削減します。 |
| 無操作電源オフ | 「入」で、テレビの消し忘れを防ぎます。約３時間テレビを操作しなかった場合は、自動的に電源が切れます。 |
| 無信号電源オフ | 「入」で、テレビの消し忘れを防ぎます。放送終了後など、映像信号がなくなった状態で約１０分経つと、自動的に電源が切れます。 |
| 明るさセンサー | 「入」で、お部屋の明るさに応じて、自動で画面の明るさを抑え、消費電力も節約します。 |

## 3 設定を選んで 決定 を押す

- 設定が終わったら、ホーム を押してください。

**お知らせ**

- **無操作電源オフ「入」では、**
  電源が切れる1分前から**[無操作自動オフ　1分前]**と表示されます。引き続き見るときは、音量を変えるなどリモコン操作をしてください
- **無信号電源オフ「入」では、**
  - 電源が切れる1分前から**[無信号自動オフ　1分前]**と表示されます。

# 制限設定をする

視聴の許可年齢を超える番組の視聴を制限したり、動画配信サービスを利用したりするときに暗証番号の入力が必要となるように設定できます。

## 制限設定の表示のしかた

**1** ホームを押して、**設定／お知らせ** ➡ **機能設定** を選んで 決定 押す

**2** **制限設定** を選んで 決定 を押す

▷ **制限設定について**

- **視聴年齢制限** P.136
  年齢制限のある視聴番組を制限するための設定をします。
- **ネットアプリ利用制限** P.136
  動画配信サービスを利用するときに、暗証番号の入力が必要となるように設定できます。
- **暗証番号変更** P.139
  視聴年齢制限設定の暗証番号を変更します。

## 暗証番号を登録して視聴年齢制限を設定する

一定の年齢以上でないと見ることができない番組や動画配信サービスに対して、暗証番号を登録し、視聴を制限することができます。暗証番号は、**[視聴年齢制限]**と**[ネットアプリ利用制限]**で共通の番号となります。

### 初めて視聴制限やネットアプリ利用制限を設定するとき(暗証番号が未設定のとき)

**1** **制限設定** を表示する

**2** **視聴年齢制限** または **ネットアプリ利用制限** を選んで 決定 を押す

## 3 1 ～ 10/0 で４桁の暗証番号を入力する

入力した数字は「＊」で表示されます。

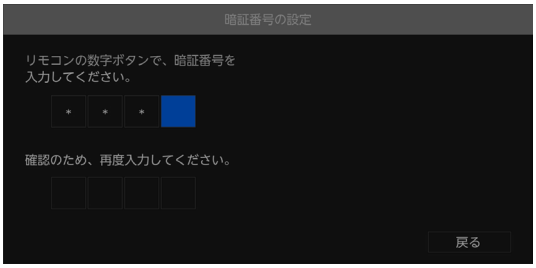
▷「0」を入力するときは

10/0 を押す

▷間違えたときは

◀を押すと、１文字消える

## 4 もう一度、同じ暗証番号を入力する




▷2回目に入力した暗証番号が間違っていたときは

[暗証番号が一致しません。もう一度入力してください。]と表示されます。
画面の説明に従って、もう一度始めから暗証番号を入力してください。

## 5 設定を選んで 決定 を押す

▷視聴年齢制限を設定するとき

| | |
|---|---|
| 4才～19才 | ４才から19才まで１才単位で設定できます。番組の視聴年齢制限が設定した年齢より上の場合は、例えば[15才以上]に設定すると、番組の視聴年齢制限が[18才以上]のときは、暗証番号を入力しないと視聴できなくなります。 |
| 制限なし | 番組の視聴年齢制限に関係なく視聴できます。 |

▷ネットアプリ利用制限を設定するとき

| | |
|---|---|
| 入 | 動画配信サービスを利用するときに、暗証番号の入力が必要となります。 |
| 切 | 動画配信サービスを利用するときに、暗証番号の入力が不要となります。 |

● 設定が終わったら、ホーム を押してください。

お知らせ

● 万一、暗証番号を忘れた場合には、[機能設定初期化] P.167 後に、再設定していただく必要があります。ただし、[機能設定初期化]をすると[ネットワーク接続設定]と[USB-HDD設定]をのぞくすべての設定が、お買い上げ時の状態に戻ります。

## 視聴制限やネットアプリ利用制限の設定を変更するとき(暗証番号が設定済みのとき)

### 1 制限設定 を表示する P.136

### 2 視聴年齢制限 または ネットアプリ利用制限 を選んで 決定 を押す

### 3 1 ～ 10/0 で４桁の暗証番号を入力する

入力した数字は「＊」で表示されます。

▷「0」を入力するときは

10/0 を押す

▷間違えたときは

◀を押すと、１文字消える

### 4 設定を選んで 決定 を押す

- 設定が終わったら、ホーム を押してください。

## 暗証番号を変更するとき

**1** 制限設定 を表示する P.136

**2** 暗証番号変更 を選んで 決定 を押す

**3** 1 ～ 10/0 で４桁の暗証番号を入力する

入力した数字は「＊」で表示されます。

▷「0」を入力するときは

10/0 を押す

▷間違えたときは

◀ を押すと、1 文字消える

**4** 1 ～ 10/0 で４桁の新しい暗証番号を入力する

入力した数字は「＊」で表示されます。

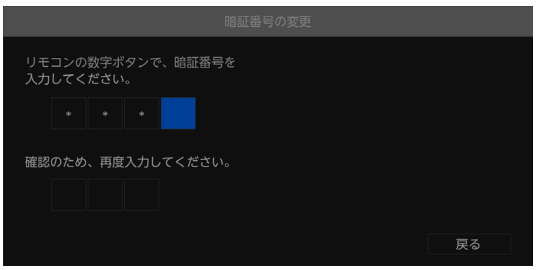
▷「0」を入力するときは

10/0 を押す

▷間違えたときは

◀を押すと、1 文字消える

**5** もう一度、同じ暗証番号を入力する




▷2回目に入力した暗証番号が間違っていたときは

[暗証番号が一致しません。もう一度入力してください。]と表示されます。
画面の説明に従って、もう一度始めから暗証番号を入力してください。

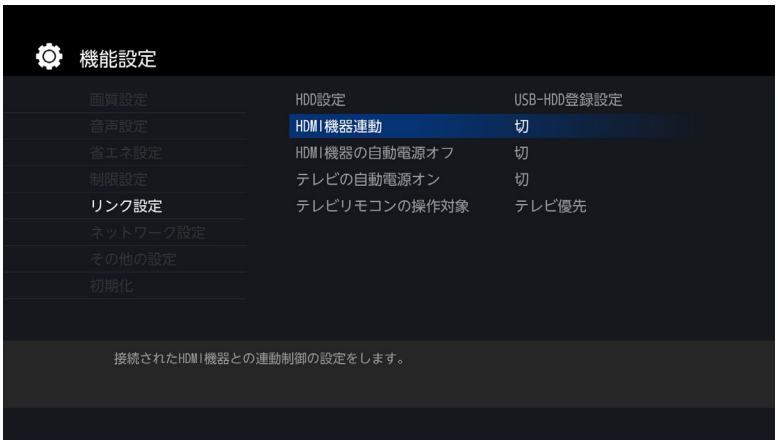
● 設定が終わったら、ホーム を押してください。

# リンク設定をする

## HDMI-CECの設定をする

### 1 ホームを押して、設定／お知らせ ➡ 機能設定 ➡ リンク設定 を選んで 決定 押す

### 2 設定項目を選んで 決定 を押す




### 3 設定を選んで 決定 を押す

| | |
|---|---|
| **HDMI機器連動** | HDMI-CEC対応機器を接続したときは**[入]**を選んでください。 |
| **HDMI機器の自動電源オフ** | **[入]**で、テレビの電源を「切」にすると、HDMI-CEC対応機器の電源も連動して「切」になります。 |
| **テレビの自動電源オン** | **[入]**で、HDMI-CEC対応機器の電源を「入」にすると、テレビの電源も連動して「入」になります。 |
| **テレビリモコンの操作対象** | **[HDMI機器優先]**で、リモコンで操作したときにHDMI-CEC対応機器側の操作を優先します。<br>**[テレビ優先]**で、リモコンで操作したときにHDMI-CEC対応機器側の操作をしません。 |

### 4 ホームを押して、本機の電源を入れ直す

**お知らせ**

- 本機のHDMI-CEC機能を使用するには、接続された機器がHDMI-CECに対応している必要があります。機器により仕様が異なる場合があります。くわしくはHDMI-CEC対応機器の取扱説明書をご覧ください。
- デジタル音声をARCで出力するには、**[HDMI機器連動]**を**[入]**にしてください。ARCを使用するために、接続する外部機器の設定が必要な場合があります。外部機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

**ご注意**

- HDMI-CEC機能を中止するために**[HDMI機器連動]**を**[切]**にした場合は、本機の電源を入れ直してください。

# ネットワークを接続･設定する

用途やお客様のネットワーク環境によって、接続や設定方法が異なります。下図を確認しながら接続や設定をしてください。

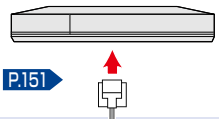
## LANケーブルを使って接続する

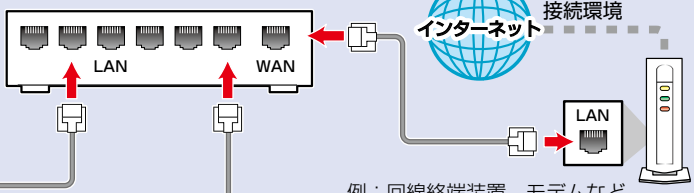
**他機の映像などを再生したい**

他機の映像などを本機で再生できます。

▷必要な設定

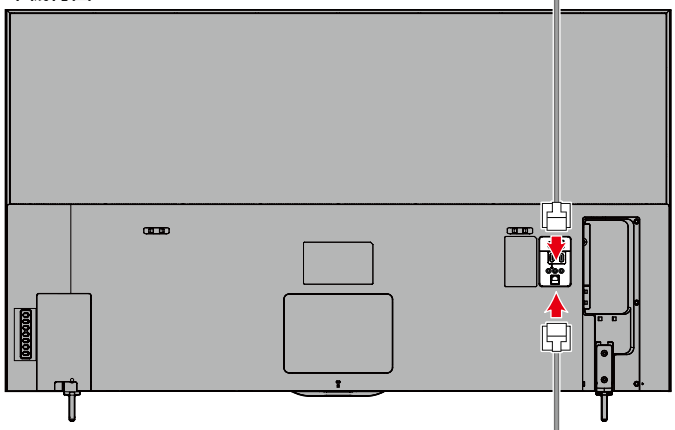
［機器連携設定］P.151






**■ブロードバンド常時接続環境でつなぐとき**

本機背面



お知らせ

- 複数の他機を同時に接続する場合は、ルーターに他機を接続してから、本機とルーターを接続してください。

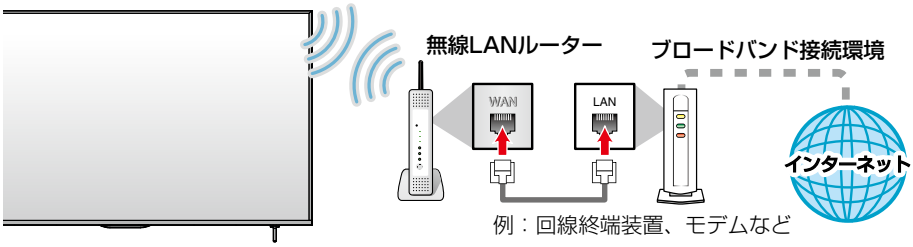
**■本機と他機をLANケーブルで直接つなぐとき**

ブロードバンド常時接続環境がない場合は、本機と他機をLANケーブルで直接つないでください。

**他機の映像などを再生したい**

# 無線LANを使って接続する

無線LANを使うと、LANケーブルを使わずにネットワークに接続できます。




※ 2.4GHz帯の機器（電子レンジなど）をお使いの場合は、無線LANの通信が途切れることがあります。
※ 2.4GHz帯の無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、USB3.0対応のUSB-HDDを使用すると、無線LAN通信が途切れることがありますので、USB-HDD、USBハブおよびUSBケーブルは本機の近くには設置せず、本機内蔵の無線LANアンテナ部からできるだけ離して配置してください。
※ 5GHz帯に対応した無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。

## ▷ネットワーク接続環境

- 動作環境は、予告なく変更される場合があります。また、すべての動作を保証するものではありません。
- 本機に関する最新情報は当社のホームページ（funai.jp/cs/）でご確認ください。
- 本機は、公衆無線LAN接続には対応していません。
- 11acまたは11n方式での接続を推奨します。通信速度が十分でない場合は、動画配信サービスやホームネットワークの映像が途切れることがあります。
- FUNAI Connectに必要な動作環境
  - FUNAI Connect Android版、FUNAI Connect iOS版が動作するスマートフォン･タブレット動作環境に関しては、当社のホームページ（funai.jp/apps/）でご確認ください。

## ▷用語と商標について

- Androidは、Google Inc.の登録商標です。
- 本書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

## ▷制限事項

- 動作環境にすべて合致していても正常に動作しない場合や、何らかの不具合が発生することがあります。すべての動作を保証するものではありません。
- 本機の通信機能は、米国電気電子技術協会IEEE802.3に準拠しています。
- 本機の状態やパソコン間の通信状態によっては、表示が遅くなったり、最新の状態ではなかったり、表示や通信にエラーが発生したりすることがあります。すべての動作を保証するものではありません。
- プロバイダー（インターネット接続事業者）側の設定や制限によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。
- 電話通信事業者およびプロバイダーとの契約費用および通信に使用される通信費用は、お客様ご自身でご負担ください。
- プロバイダー指定の回線接続機器（ADSLモデムなど）に、100Base-TX／10Base-TのLANポートがない場合は接続できません。
- プロバイダーによっては、ルーターの使用を禁止あるいは制限している場合があります。くわしくはご契約のプロバイダーにお問い合わせください。
- セキュリティソフトウェア自体やその設定によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。
- 利用制限のされていない無線LANネットワークには接続しないでください。接続すると不正アクセスとみなされる恐れがあります。
- 本機とハブやルーターとの接続には別途、市販品のLANケーブル（ストレート）をご用意ください。

## ▷免責事項

- 本機機能によって接続した機器に通信障害などの不具合が生じた場合の結果について、当社は一切の責任を負いません。
- お客様の居住環境が、ブロードバンド常時接続できない場合に関して、当社は一切責任を負いません。
- 火災、地震、雷など自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機能の使用または使用不能から生ずる付随的な障害（事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化･消失、インターネット契約料金･通信費用の損失など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続した機器、使用されるソフトウェアとの組み合わせによる誤動作や、ハングアップなどから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本機能を使用中、万一何らかの不具合によって、録画･録音･編集されなかった場合の内容の補償および付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断など）に対して、当社は一切の責任を負いません。
- インターネットを使用して提供されるサービスは、

予告なく一時停止したり、サービス自体が終了されたりする場合がありますので、あらかじめご了承ください。

### ▷すでにブロードバンド常時接続環境をお持ちの場合は

- 次のことをご確認ください。
  - 回線事業者やプロバイダーとの契約内容と事項
  - 必要な機器の準備
  - ADSLモデムやブロードバンドルーターなどの接続と設定
- 回線の種類や回線事業者、プロバイダーにより、必要な機器と接続方法が異なります。ADSLモデムやブロードバンドルーター、ハブ、スプリッター、ケーブルは、回線事業者やプロバイダーが指定する製品をお使いください。
- お使いのモデムやブロードバンドルーター、ハブに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機では、ブロードバンドルーターやブロードバンドルーター機能付きADSLモデムなどの設定はできません。
- ADSL回線をご利用の場合は
  - ブリッジ型ADSLモデムをお使いの場合は、ブロードバンドルーター（市販品）が必要です。
  - USB接続のADSLモデムなどをお使いの場合は、ADSL事業者にご相談ください。
  - プロバイダーや回線事業者、モデム、ブロードバンドルーターなどの組み合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
  - ADSLモデムについてご不明な点は、ご利用のADSL事業者やプロバイダーにお問い合わせください。
  - ADSLの接続については専門知識が必要なため、ADSL事業者にお問い合わせください。
- FTTH（光ファイバー）回線をご利用の場合は
  - 接続方法などご不明な点については、プロバイダーや回線事業者へお問い合わせください。

### ▷ブロードバンド常時接続環境をお持ちでない場合は

- プロバイダーおよび回線事業者と別途ご契約（有料）する必要があります。くわしくはプロバイダーまたは回線事業者にお問い合わせください。

**ご注意**

- LANケーブルは、カテゴリー5以上対応のストレートケーブルをご使用ください。

**お知らせ**

- LAN接続後にテレビの映りが悪くなったときは、LANケーブルと同軸ケーブルを離してみてください。
- ブロードバンドルーターなどの設定で本機のMACアドレスが必要な場合は、ホーム ➡**[設定／お知らせ]**➡**[機能設定]**➡**[ネットワーク設定]**➡**[ネットワーク接続設定]**➡**[ネットワーク状態表示]**で確認できます。
- 外出先などから、パソコンで遠隔操作はできません。

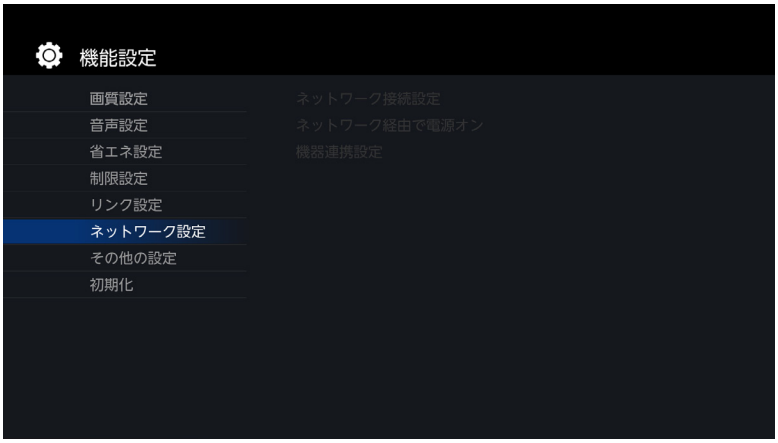
# ネットワークの設定をする

ネットアプリを利用したり、データ放送の双方向通信をブロードバンド回線経由で利用したりする場合の設定です。プロバイダとの契約時に提供された資料や接続する機器の取扱説明書を参考に設定してください。

## ネットワーク設定の表示のしかた

**1** ホームを押して、設定／お知らせ ➡ 機能設定 を選んで決定を押す

**2** ネットワーク設定 を選んで決定を押す




▷ネットワーク設定について

- **ネットワーク接続設定** P.144
  ネットワーク接続の設定をします。
- **ネットワーク経由で電源オン** P.150
  Wake-on-LANに対応した機器からの操作で、本機の電源をネットワーク経由でオンにします。
- **機器連携設定** P.151
  ネットサービスやモバイル端子アプリに関連する設定を行います。

## ネットワーク接続方法を設定する

ネットワーク接続の方法を設定します。

**1** ネットワーク設定 を表示中に、ネットワーク接続設定 ➡ ネットワーク接続方法 を選んで決定を押す

**2** 無線LAN または 有線LAN を選んで決定を押す

ご注意

- [無線LAN]と[有線LAN]は同時に利用できません。

# 無線LANでの接続設定をする

- 無線LANをお使いになるときは、セキュリティなどで暗号化してお使いください。
  暗号化していないと、第三者に不正アクセスされ、情報漏えいの恐れがあります。
- 無線LANネットワークのセキュリティを設定していない場合は、ホームネットワークの機能はお使いになれません。

無線LANで接続した場合の設定をします。

## 1 ネットワーク設定 を表示中に、ネットワーク接続設定 ➡ 無線LAN接続設定 を選んで 決定 を押す

## 2 設定方法を選んで 決定 を押す

▷ **かんたん接続(プッシュボタン)**

プッシュボタン方式で無線LANアクセスポイントに接続します。

① 画面の指示に従って、無線LANアクセスポイントのWPSボタンを押す

② 接続 を選んで 決定 を押す

- 自動的に各項目が設定され、無線LANの設定が完了します。
  **[インターネット接続に成功しました。]**以外の結果画面が表示された場合は、画面のメッセージに従ってもう一度設定を行ってください。

▷ **かんたん接続(PINコード)**

PINコード方式でかんたんに無線LANを設定できます。

① 検出された無線LANアクセスポイントから、本機の接続先を選んで 決定 を押す

② 表示されたPINコードを無線LANアクセスポイントやパソコンに入力する

③ 接続 を選んで 決定 を押す

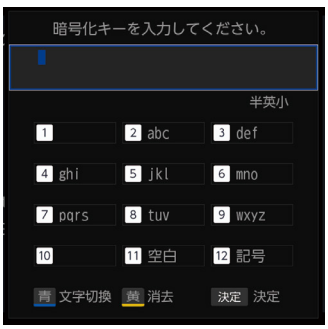
- PINコードの入力のしかたは、お使いの機器に付属の取扱説明書をお読みください。
- 自動的に各項目が設定され、無線LANの設定が完了します。設定が完了すると、確認画面が表示されます。

### 無線LAN自動検出

本機が利用可能な無線LANアクセスポイントを検出して、設定します。

① 検出された無線LANアクセスポイントから、本機の接続先を選んで 決定 を押す

② 暗号化キーを入力する




❶ 青 で 半英小(小文字) 半英大(大文字) 半数 を選ぶ

❷ 1 ～ 12 で文字(数字／記号)を入力する

- ①～②を繰り返して入力します。
- 間違えたときは 黄 を押して、入力し直してください。

❸ 入力が終わったら、決定 を押す

- 自動的にネットワークの接続テストを開始します。接続テストが終わると確認画面が表示されます。
- **[インターネット接続に成功しました。]**以外の結果画面が表示された場合は、画面のメッセージに従ってもう一度設定を行ってください。

次ページへつづく

### 手動設定

各項目を手動で設定します。

① SSIDを入力して、決定を押す
② 暗号化方式を選んで決定を押す
③ 暗号化キーを入力し、決定を押す

**お知らせ**

- 2.4GHz帯の機器（電子レンジなど）をお使いの場合は、無線LANの通信が途切れることがあります。
- 2.4GHz帯の無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、USB3.0対応のUSBHDDを使用すると、無線LAN通信が途切れることがありますので、USB-HDD、USBハブおよびUSBケーブルは本機の近くには設置せず、本機内蔵の無線LANアンテナ部からできるだけ離して配置してください。
- 5GHz帯に対応した無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。
- 無線LANの通信状態が良くない場合は、無線LANルーター（アクセスポイント）の位置などを変更すると、通信状態が改善されることがあります。
- すべての無線LANルーター（アクセスポイント）での接続を保証するものではありません。

**ご注意**

- インターネット環境が必要になります。

# IPアドレス／DNS設定をする

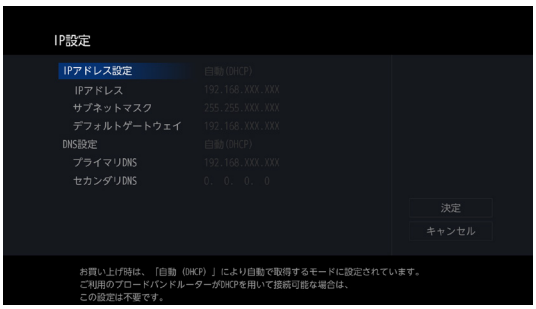
データ放送の双方向通信を、ブロードバンド回線経由でご利用になる場合の設定です。プロバイダとの契約時に提供された資料や接続する機器の取扱説明書を参考に設定してください。

## DHCPを使用して必要な情報を自動取得する場合

**1** ネットワーク設定 を表示中に、ネットワーク接続設定 ➡ IPアドレス／DNS設定 を選んで決定を押す

**2** IPv4 を選んで決定を押す

**3** IPアドレス設定 を選んで決定を押す



**4** 自動 (DHCP) を選んで 決定 を押す

**5** DNS 設定 を選んで 決定 を押す

**6** 自動 (DHCP) を選んで 決定 を押す

- 設定が終わったら、決定 を選んで 決定 を押してください。

お知らせ

- プロバイダよりプロキシサーバーの指定がある場合は、P.148 をご覧ください。
- 設定完了後、「ネットワーク接続テスト」P.149 を行ってください。

## 必要な情報を手動で入力する場合

**1** ネットワーク設定 を表示中に、ネットワーク接続設定 ➡ IP アドレス／ DNS 設定 を選んで 決定 を押す

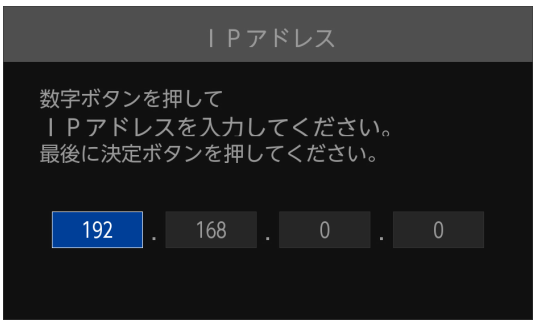
**2** IPv4 を選んで 決定 を押す

**3** IP アドレス取得方法 を選んで 決定 を押す

**4** 手動 を選んで 決定 を押す

**5** IP アドレス を選んで 決定 を押す

**6** IP アドレスを 1 ～ 10/0 の数字ボタンで入力する




▷間違えたときは
◀で戻り、入力し直す



次ページへつづく

**7** 同様に **サブネットマスク** と **デフォルトゲートウェイ** にも、必要に応じて入力する

**8** **DNS設定** を選んで 決定 を押す

**9** DNS設定が必要な場合は、**手動** を選んで 決定 を押す

**10** **プライマリDNS** を選んで 決定 を押す

**11** **1** ～ **10/0** の数字ボタンで入力する

▷間違えたときは

◀で戻り、入力し直す

**12** 同様に **セカンダリDNS** も、必要に応じて入力する

- 設定が終わったら、**決定** を選んで 決定 を押してください。

お知らせ

- プロバイダよりプロキシサーバーの指定がある場合は、P.148をご覧ください。
- 設定完了後、「ネットワーク接続テスト」P.149を行ってください。



## プロバイダよりプロキシサーバーの指定がある場合

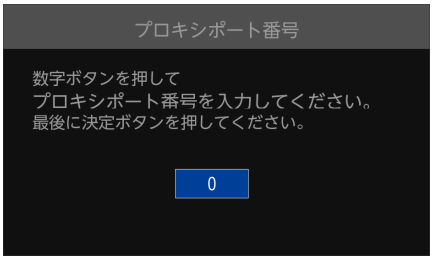
**1** **ネットワーク設定** を表示中に、**ネットワーク接続設定** ➡ **プロキシ設定** を選んで 決定 を押す

**2** **有効** を選んで 決定 を押す

- 入力画面が表示されますので、プロキシアドレスとプロキシポート番号を入力してください。

**3** **1** ～ **10/0** でプロキシアドレスを入力し、決定 を押す

**4** 1 ～ 10/0 を押してプロキシポート番号を入力し、決定を押す



## ネットワーク接続テストを行う

ネットワーク接続テストを行います。

**1** ネットワーク設定 を表示中に、ネットワーク接続設定 を選んで決定を押す

**2** ネットワーク接続テスト を選んで決定を押す

- 接続テストを開始します。接続テストが終わると確認画面が表示されるので決定を押してください。

## ネットワーク状態を表示する

ネットワークの状態を表示します。

**1** ネットワーク設定 を表示中に、ネットワーク接続設定 を選んで決定を押す

**2** ネットワーク状態表示 を選んで決定を押す

# ネットアプリの利用規約を表示する

ネットアプリの利用規約を表示します。

1 **ネットワーク設定** を表示中に
**ネットワーク接続設定** を選んで 決定 を押す

2 **ネットアプリ利用規約** を選んで 決定 を押す

# ネットワーク経由で電源オンを設定する

Wake-on-LANに対応した機器からの操作で本機の電源をネットワーク経由でオンにします。

1 **ネットワーク設定** を表示中に、
**ネットワーク経由で電源オン** を選んで 決定 を押す

2 **入** または **切** を選んで 決定 を押す

# 機器連携設定をする

他機との連携に関する設定ができます。

## 1 ネットワーク設定 を表示中に、機器連携設定 を選んで 決定 を押す

## 2 設定したい項目を選んで 決定 を押す

| | |
|---|---|
| 連携機能 | [入]で、ネットワークを使った連携機能を使用するための設定をします。 |
| モバイルアクセス制限 | 他機から接続制限するための設定をします。他機を利用するユーザーを制限する場合に[ユーザー名]または[パスワード]を設定してください。 |
| テレビ名 | 他機から接続する際に、表示される本機の名前を設定します。 |
| ログイン情報初期化 | ネットアプリのログイン情報を初期化します。 |

▷[モバイルアクセス制限]の[ユーザー名]、[パスワード]または[テレビ名]内で本機の名前を選んだときは

❶ 青 で 半英小 半英大 半数 を選ぶ

❷ 1 ～ 10/0 で文字（数字／記号）を入力する

- ①～②を繰り返して入力します。
- 間違えたときは 黄 を押して、入力し直してください。

❸ 入力が終わったら、決定 を押す

● 設定が終わったら、ホーム を押してください。

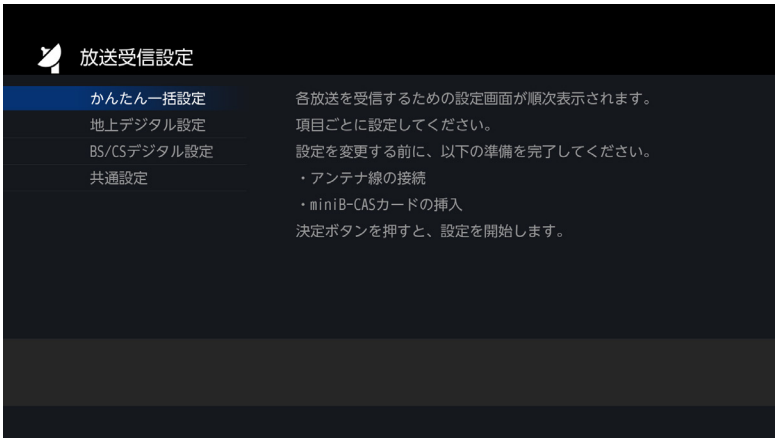
# 放送受信設定をする

番組を視聴するための初期設定をします。

## かんたん一括設定で再設定する

### 1 ホームを押して、設定／お知らせ ➡ 放送受信設定 を選んで 決定 を押す

### 2 かんたん一括設定 を選んで 決定 を押す




- 放送受信設定について
  - **かんたん一括設定**
    テレビを見るために必要な設定がかんたんにできます。
  - **地上デジタル設定** P.153
    地上デジタル放送を見るためのチャンネル設定をします。
  - **BS／CS デジタル設定** P.158
    BS・110度CSデジタル放送を見るためのチャンネル設定をします。
  - **共通設定** P.159
    地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送の共通の設定をします。

### 3 「かんたん一括設定」を行う P.43

**ご注意**

- 地上デジタル放送が受信できない、または受信できないチャンネルがある場合は、「地上デジタル放送のとき」P.179をご覧ください。

# 地上デジタル放送のチャンネル設定をする

転居された場合や、お住まいの地域で放送局の開局･変更があった場合には、チャンネル設定が必要です。
地上デジタル放送を見るための、お住まいの地域の情報を取得します。
転居された場合は、[**初期スキャン**]を行ってください。
[**県域設定**]で指定した地域の放送局で、開局や周波数変更の可能性があるときは、[**テレビからのお知らせ**]P.76でお知らせします。この場合は、[**再スキャン**]を行ってください。

## 転居したときや、お住まいの地域で放送局の開局･変更があったとき

**1** ホームを押して、**設定／お知らせ** ➡ **放送受信設定** を選んで 決定 を押す

**2** **地上デジタル設定** を選んで 決定 を押す

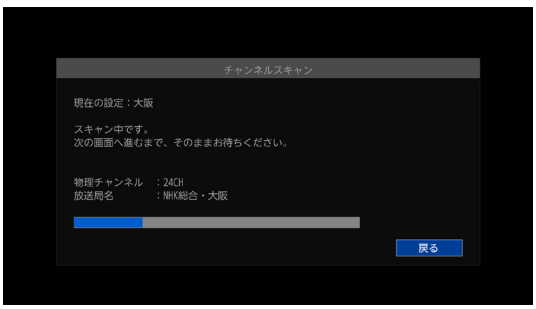
### 転居したとき

放送局の開局･変更があったときは、手順3 ～ 5は必要ありません。
手順6に進んでください。

**3** **初期スキャン** を選んで 決定 を押す

**4** 「お住まいの地域」を選んで 決定 を押す

**5** 「スキャンしたい放送の種類」を選んで 決定 を押す




- スキャン中に 戻る を押すと、設定を中断できます。

次ページへつづく

# 放送受信設定をする(つづき)

## 放送局の開局・変更があったとき

手順3～5を行った場合は、手順6は必要ありません。

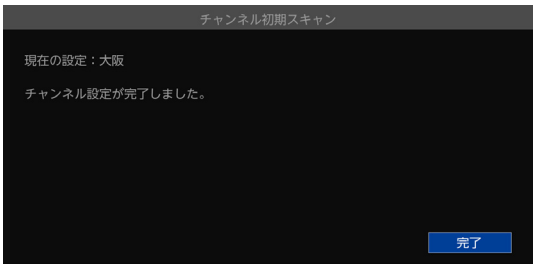
### 6 再スキャン を選んで 決定 を押す

- スキャン中に 戻る を押すと、設定を中断できます。

### 7 受信した放送局を確認し、決定 を押す

### 8 完了 が選ばれていることを確認し、決定 を押す

- 決定 を押すと、手順2の画面に戻ります。設定が終わったら、ホーム を押してください。




**お知らせ**

- 受信できる地上デジタル放送のチャンネルがひとつもない場合は、
  - アンテナが正しく接続されていない
  - お住まいの地域で地上デジタル放送が開始されていない
  - 受信レベルが小さい

  の可能性があります。
  アンテナの接続またはお住まいの地域の地上デジタル放送の電波状況をご確認ください。

**ご注意**

- 地上デジタル放送が受信できない、または受信できないチャンネルがある場合は、「地上デジタル放送のとき」P.179をご覧ください。

# 数字ボタンのチャンネルを追加･変更する

リモコンの 1 ～ 12 ボタンにチャンネルが設定されていないボタンがあるとき、チャンネルを追加することができます。
また、設定されているチャンネルを、お好みで別のチャンネルに変更できます。

## 1 ホームを押して、設定／お知らせ ➡ 放送受信設定 を選んで決定を押す

## 2 地上デジタル設定 を選んで決定を押す

- BS／CSデジタル放送の場合は BS／CSデジタル設定 を選んで決定を押します。

## 3 チャンネル操作設定 を選んで決定を押す

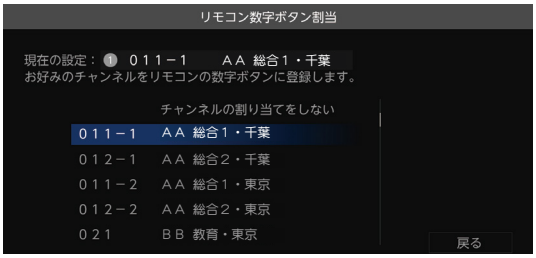
- BSデジタル放送の場合は BSチャンネル操作設定 を、CSデジタル放送の場合は CSチャンネル操作設定 を選んで決定を押します。

## 4 リモコン数字ボタン割当 を選んで決定を押す

## 5 設定したいリモコン数字ボタンを選んで決定を押す

- 「---」のボタンが、チャンネルが設定されていないボタンです。

## 6 追加したいチャンネルを選んで決定を押す




- 設定が終わったら、完了 を選んで決定を押してください。

# チャンネルの飛び越し(スキップ)を設定する

デジタル放送の視聴しないチャンネルや同じ内容のチャンネルをチャンネル▲・▼ボタンで選局するときに飛び越し(スキップ)したり、番組表から消去したりすることができます。

## 1 ホームを押して、設定／お知らせ ➡ 放送受信設定 を選んで決定を押す

## 2 地上デジタル設定 を選んで決定を押す

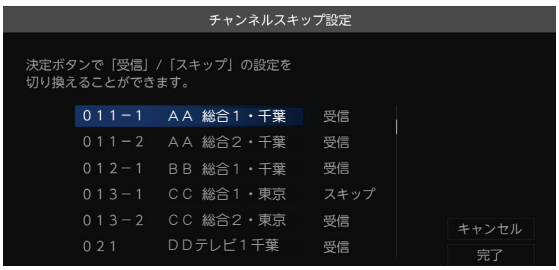
- BS／CSデジタル放送の場合は BS／CSデジタル設定 を選んで決定を押します。

## 3 チャンネル操作設定 を選んで決定を押す

- BSデジタル放送の場合は BSチャンネル操作設定 を、CSデジタル放送の場合は CSチャンネル操作設定 を選んで決定を押します。

## 4 チャンネルスキップ設定 を選んで決定を押す

## 5 スキップしたいチャンネルを選んでから、決定を押して 受信 を スキップ に変更する




- チャンネルをスキップすると、**[受信]**が**[スキップ]**に変わります。
- **[スキップ]**に設定されているチャンネルは、チャンネル▲・▼ボタンで選局するときにスキップされ、番組表から消去されます。
- 設定が終わったら、完了 を選んで決定を押してください。

**お知らせ**

- 同じチャンネルでは、チャンネル▲・▼ボタンのスキップ設定と番組表の表示設定を異なる設定にはできません。
- 放送局によっては、時間帯ごとに複数(2～3程度)のチャンネルで同一の内容を放送したり、それぞれのチャンネルで別の内容を放送したりする場合があります。スキップ設定する場合は、番組表などで放送内容を確認してから行ってください。
- 複数チャンネルで同一の内容を放送している場合は、自動的にスキップされます。

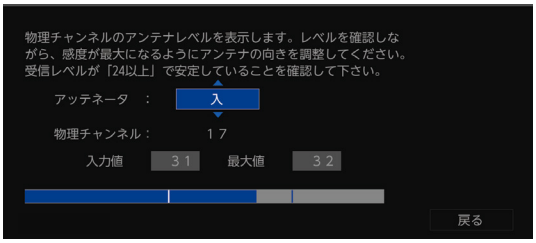
# デジタル放送の受信状態を確認する

デジタル放送用のアンテナを最初に設置するときや転居したときなどは、受信レベルの数値がアンテナの向きを決める目安になります。また、BS・110度CSアンテナを接続したときは、アンテナ電源の設定が必要です。

## 地上デジタル放送用のアンテナを設置したとき

### 1 ホームを押して、設定／お知らせ ➡ 放送受信設定 を選んで決定を押す

### 2 地上デジタル設定 ➡ 受信状態の確認 を選んで決定を押す




- 受信レベルを目安にして、アンテナの向きを決めてください。また、地上デジタル放送の電波が強すぎて正常に受信できないような場合は、手順3に進んで[アッテネータ]を 入 にします。通常は[切]にしてお使いください。

### 3 アッテネータ欄を選んで決定を押す

### 4 入 を選んで決定を押す

- 信号強度が変更されます。 入 に設定すると信号強度が弱くなり、状況が改善されることがあります。
- 設定が終わったら、ホームを押してください。

**お知らせ**

- 受信レベルで表示される数値は、受信信号電力対雑音電力比の換算値で、受信状況を知るための手助けとなります。安定して視聴できるレベルは[24]以上が目安ですが、地上デジタル放送では、放送局、環境によって数値が大きくはずれることがあります。
  地上デジタル放送の受信可能地域については、一般社団法人　放送サービス高度化推進協会（A-PAB）のホームページ http://www.apab.or.jp/ をご覧ください。
- [アッテネータ]の設定を切り換えたあとは、「地上デジタル放送のチャンネル設定をする」P.153で[再スキャン]を行ってみてください。受信できる放送が増えることがあります。逆に映りが悪くなったり、映らなくなったりする放送がある場合もありますので、その場合は[アッテネータ]の設定を元に戻し、[再スキャン]を行ってください。



次ページへつづく

## BS・110度CSアンテナを接続したとき

**1** ホームを押して、設定／お知らせ ➡ 放送受信設定 を選んで 決定 を押す

**2** BS／CSデジタル設定 ➡ アンテナ電源 を選んで 決定 を押す

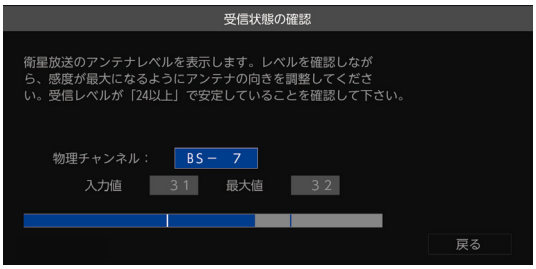
**3** 設定を選んで 決定 を押す

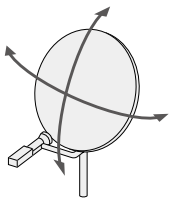
- BS・110度CSアンテナの接続先によって、アンテナ電源の設定を選びます。

| | |
|---|---|
| 供給する | BS・110度CSアンテナに本機を直接つないでいる場合に選びます。BS・110度CSアンテナへの電源は、本機が電源「切」(待機)時(電源LEDが消灯中)でも常に供給され、**[クイック起動]**も自動的に**[入]**に設定されます。 |
| テレビ連動 | BS・110度CSアンテナに本機を直接つないでいる場合に選びます。BS・110度CSアンテナへの電源は、本機の電源と連動して本機から供給します。 |
| 供給しない | 他の機器からBS・110度CSアンテナへの電源供給をしている場合や、マンションなどで共同受信している場合に選びます。BS・110度CSアンテナへの電源は、本機から供給しません。 |

**4** 受信状態の確認 を選んで 決定 を押す

- 受信レベルを目安にして、アンテナの向きを決めてください。
- 設定が終わったら、ホームを押してください。



**最大値**

受信レベルモードにしてから入ってきた電波の中で最大の入力レベル。
最大値の位置にある青色のバーをアンテナレベルが超える様に、アンテナの方向を決めます。
最大値が入力されるよう、アンテナを動かしてください。

**入力値**

この値が「最大」の値に近づくように、アンテナを動かします。安定して視聴できるアンテナレベルの目安は「24」以上です。

**お知らせ**

- アンテナ電源の設定を**[テレビ連動]**にした場合は、電源「切」(待機)時(電源LEDが消灯中)は、本機からアンテナ電源を供給しません。内部処理のためアンテナ電源が維持されることがありますが一時的なものです。
- 受信レベルは天候などの影響を受け、上下することがあります。
- 受信レベルの数値は、アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信C/N(受信信号電力対雑音電力比)の換算値を表します。
- アンテナ線の心線と編組線およびそれらにつながる部分が接触すると、アンテナ電源を**[供給する]**および**[テレビ連動]**に設定していた場合でも自動的に**[供給しない]**に切り換わり、**[アンテナ電源]**を選択できなくなります。電源プラグを抜いてアンテナ線およびアンテナ接続コネクターを確認してください。一旦電源プラグを抜くと、アンテナ電源の設定を行うことができます。

# 文字スーパーを設定する

ニュース速報など、放送上に文字スーパーの情報が含まれている場合は、表示される文字スーパーの言語を設定します。

**1** ホームを押して、設定／お知らせ ➡ 放送受信設定 を選んで 決定 を押す

**2** 共通設定 を選んで 決定 を押す

**3** 文字スーパー を選んで 決定 を押す

**4** 設定を選んで 決定 を押す

| | |
|---|---|
| 日本語 | 日本語で表示します。 |
| 英語 | 英語で表示します。 |
| 切 | 表示しません。 |

- 設定が終わったら、ホームを押してください。

**お知らせ**

- 放送に文字スーパーの情報が含まれていないときや、番組（強制的に文字スーパーが表示されるものなど）によっては、設定通りに表示されないことがあります。
- **[切]**に設定していても、自動表示モードの文字スーパーは強制的に表示されます。
- 日本語、英語以外の文字スーパーは表示しません。

# 居住地域と郵便番号を設定する

デジタル放送の文字スーパーやデータ放送による臨時放送は、地域によって放送される内容が異なることがあります。
お住まいの地域の情報を受信するために、居住地域と郵便番号を設定してください。
郵便番号は、お買い上げ時の**[かんたん一括設定]**で設定済みですが、必要に応じて設定し直してください。

**1** ホームを押して、設定／お知らせ ➡ 放送受信設定 を選んで 決定 を押す

**2** 共通設定 を選んで 決定 を押す

次ページへつづく

### 県域設定

**3** 県域設定 を選んで 決定 を押す

**4** お住まいの地域を選んで 決定 を押す

### 郵便番号設定

**5** 郵便番号設定 を選んで 決定 を押す

**6** 1 ～ 10/0 でお住まいの地域の郵便番号を入力する

▷「0」を入力するときは
10/0 を押す

▷間違えたときは
◀で戻り、入力し直す

**7** 完了 が選ばれていることを確認し、決定 を押す

● 設定が終わったら、ホーム を押してください。

## 番組表(Gガイド)の設定をする

番組検索やトピックスを表示するために、お住まいの地域の設定と受信テストをします。

**1** ホーム を押して、設定／お知らせ ➡
放送受信設定 を選んで 決定 を押す

**2** 共通設定 を選んで 決定 を押す

**3** 番組表設定 を選んで 決定 を押す

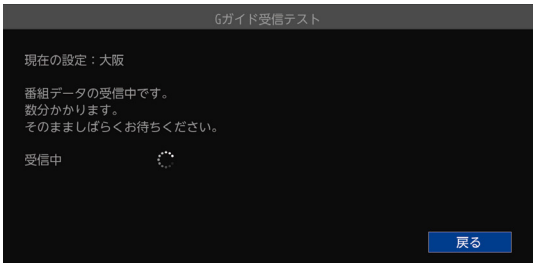
### Gガイド地域設定

**4** Gガイド地域設定 を選んで 決定 を押す

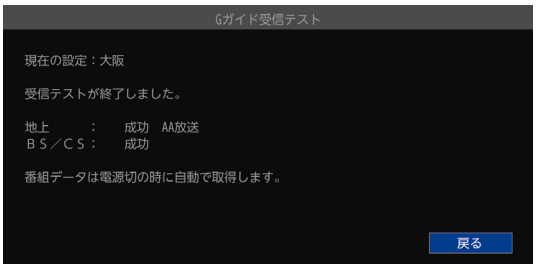
**5** お住まいの地域を選んで 決定 を押す

## 6 Gガイド受信確認 を選んで 決定 を押す

- Gガイドの受信テストが始まり、下の画面が表示されます。




## 7 受信テストが終わって下の画面が表示されたら、内容を確認する




- 設定が終わったら、ホーム を押してください。

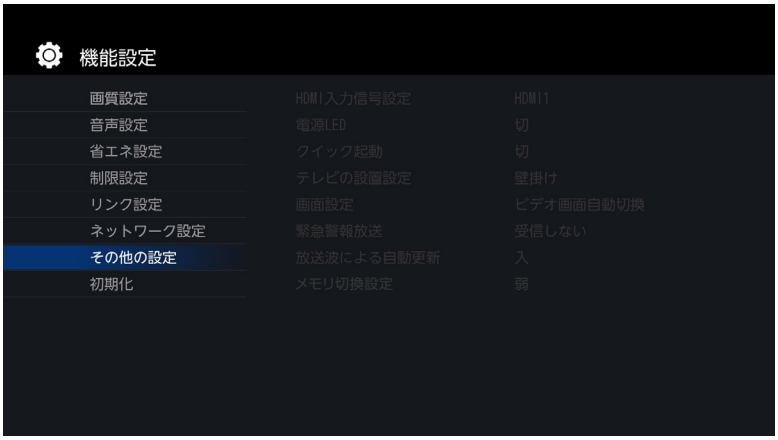
# その他の設定をする

いろいろな機能を使うための設定をします。

## その他の設定の表示のしかた

**1** ホームを押して、設定／お知らせ ➡ 機能設定 を選んで決定を押す

**2** その他の設定 を選んで決定を押す




▷ その他の設定について

- **HDMI入力信号設定** P.162
  接続されたHDMI機器からの入力信号を正しく読み取るための設定をします。
- **電源LED** P.163
  テレビの電源LEDの点灯／消灯を設定します。
- **クイック起動** P.163
  テレビ電源「入」時に映像をすばやく表示しますが、電源「切」（待機）時の消費電力が増加します。
- **テレビの設置設定** P.164
  テレビの設置方法に適したスピーカーの出力を行います。
- **ビデオ画面自動切換** P.164
  ID-1信号があるDVDなどをビデオ入力の映像入力端子で接続したときに、画面サイズが自動で切り換わります。
- **緊急警報放送** P.165
  緊急警報放送の受信時に自動的に電源を「入」にします。電源「切」（待機）時の消費電力が増加します。
- **放送波による自動更新** P.165
  デジタル放送を使って、本機の制御プログラムを自動的に最新の内容に書き換えます。
- **メモリ切換設定** P.166
  ネットサービスで使用するメモリの設定をします。

## HDMI入力信号を設定する

接続されたHDMI機器からの入力信号を正しく読み取るための設定をします。

**1** その他の設定 を表示中に、HDMI入力信号設定 を選んで決定を押す

**2** HDMI1 ～ HDMI4 から設定を変更したいHDMIを選んで決定を押す

## 3 対応信号モード または 入力レンジ を選んで 決定 を押す

- 設定が終わったら、ホーム を押してください。

▷対応信号モードの種類

- **HDR高画質モード**
  HDR対応機器から4K映像を高画質に出力するモードです。
- **高画質モード**
  4K対応機器から4K映像を高画質に出力するモードです。
- **通常モード**
  接続機器との互換性を優先します。

▷入力レンジの種類

- **自動／フルレンジ／リミテッドレンジ**
  HDMI機器から出力する色階調レンジを設定します。通常は 自動 を選択してください。映像が正しく映らない場合は、フルレンジ または リミテッドレンジ に切り換えてください。

# 電源LED

本機の電源LEDの点灯／消灯を設定します。

## 1 その他の設定 を表示中に、電源LED を選んで 決定 を押す

## 2 設定を選んで 決定 を押す

| | |
|---|---|
| 入 | 電源オンの状態で、電源LEDが点灯します。 |
| 切 | 電源オンの状態でも、電源LEDは点灯しません。 |

- 設定が終わったら、ホーム を押してください。

# クイック起動を設定する

電源を入れてから本機が使用できるまでの時間を短縮できます。

## 1 その他の設定 を表示中に、クイック起動 を選んで 決定 を押す

## 2 設定を選んで 決定 を押す

| | |
|---|---|
| 入 | クイック起動を有効にします。<br>電源「切」(待機) 時の消費電力が増加します。 |
| 切 | クイック起動を無効にします。<br>電源「切」(待機) 時に緊急警報放送の受信とアンテナ電源供給はできません。 |

- 設定が終わったら、ホーム を押してください。

**ご注意**

- 故障の原因となりますので、電源プラグをコンセントから抜く場合は、できるだけ**[クイック起動]**を**[切]**に設定して、本機の電源を切ってから抜くことをおすすめします。

**お知らせ**

- **[クイック起動]**を**[切]**にすると、**[アンテナ電源]**の設定が**[供給する]**のときは**[テレビ連動]**に、**[緊急警報放送]**の設定が**[受信する]**のときは**[受信しない]**に自動的に変更されます。

# テレビの設置を設定する

本機の設置方法に適したスピーカーの出力を行います。

## 1 その他の設定 を表示中に、テレビの設置設定 を選んで 決定 を押す

## 2 設定を選んで 決定 を押す

| | |
|---|---|
| テレビスタンド<br>壁掛け | 本機の設置方法に適したスピーカーの出力を行います。 |

- 設定が終わったら、ホーム を押してください。

# ビデオ画面自動切換の設定をする

ID-1 信号がある DVD などをビデオ入力の映像入力端子で接続したときに、画面サイズが自動で切り換わります。

## 1 その他の設定 を表示中に、画面設定 ➡ ビデオ画面自動切換 を選んで 決定 を押す

## 2 設定を選んで 決定 を押す

| | |
|---|---|
| 入 | ID-1 信号がある DVD などをビデオ入力の映像入力端子で接続したときに、画面サイズが自動で切り換わります。 |
| 切 | ビデオ画面自動切換の機能を無効にします。 |

- 設定が終わったら、ホーム を押してください。

お知らせ
- ビデオ入力の画面が正しく切り換わらない場合は、本設定を[切]に設定してください。

# 緊急警報放送の受信を設定する

電源「切」(待機) 時に緊急警報放送を受信するかを設定します。
緊急警報放送とは、電波法施行規則第２条で規定する緊急警報信号を使用して、地震など大規模災害が発生した場合や、津波警報が発表された場合など、災害の発生に伴う被害の予防や軽減に役立たせることを目的とした放送です。

## 1 その他の設定 を表示中に、緊急警報放送 を選んで 決定 を押す

## 2 設定を選んで 決定 を押す

| | |
|---|---|
| 受信する | 緊急警報放送を受信したときに、自動的に本機の電源を**「入」**にします。ただし、クイック起動 が 入 (固定) となり、電源「切」(待機) 時の消費電力が増加します。 |
| 受信しない | 電源「切」(待機) 時に緊急警報放送を受信しません。デジタル放送視聴時はメッセージを表示します。 |

- 設定が終わったら、ホーム を押してください。

**お知らせ**

- 電源「入」時に緊急警報放送を受信すると、自動的にチャンネルを切り換えることがあります。
- 受信した試験信号や放送局の送信状況によっては、自動的に電源が「入」にならない場合があります。
- **[緊急警報放送]**を**[受信する]**に設定している場合は、緊急警報放送が放送局より送信されている間は、本機の電源を「切」にしても、しばらくすると自動的に電源が「入」になります。緊急警報放送を受信しても、本機を自動で起動させないようにするには、**[緊急警報放送]**を**[受信しない]**に切り換えてください。

# 放送波による自動更新の設定をする

放送波による自動更新とは、電源「切」(待機) 時 (電源LEDが消灯中) に、デジタル放送電波を使ってソフトウェアを自動的に書き換える機能です。この機能により、新しい放送環境に合わせて機能アップや機能改善を行うことができます。お買い上げ時は、自動で更新を行う設定になっていますので、お客様による操作や設定は不要です。

## 1 その他の設定 を表示中に、放送波による自動更新 を選んで 決定 を押す

## 2 設定を選んで 決定 を押す

| | |
|---|---|
| 入 | デジタル放送の電波を使って、本機の機能を自動的に更新するようにします。 |
| 切 | 自動更新を行いません。 |

- 設定が終わったら、ホーム を押してください。

**お知らせ**

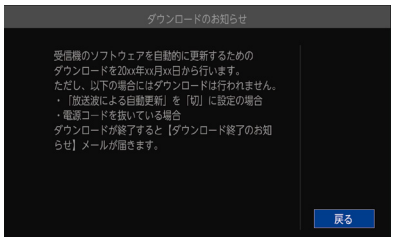
- ネットワークでソフトウェアを更新する場合は、「ネットワークによるソフトウェアの更新を行う」P.169をご覧ください。

## 放送波による自動更新について

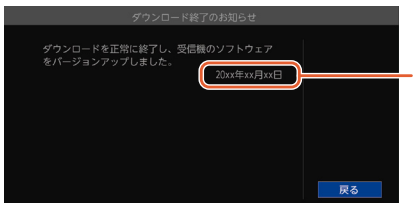
放送波による自動更新はいつ行われるの？
放送波による自動更新は、製品出荷後、適時実施してまいります。
お客様にダウンロード実施時期および期間はお知らせしておりません。本機をご使用になっていない場合にも、電源「切」の状態にしていただくことをおすすめします。
CATV（ケーブルテレビ）でも放送波による自動更新は行われます。同じようにお使いください。

### ▷放送波による自動更新が行われるとき

- **[ダウンロードのお知らせ]**が届きます。お知らせが届くと本機の電源を「入」にしたとき、または画面表示を出したときに**[ お知らせあり]**と表示されます。
  ※お知らせの見かたについてはP.76をご覧ください。




- 放送波による自動更新の実施期間中に、デジタル放送電波を使って、1日に数回、数分間程度のソフトウェアが送信されます。放送波による自動更新は本機の電源「切」のときに、そのソフトウェアを受信して自動的に書き換えます。
- ダウンロードが成功すると**[ダウンロード終了のお知らせ]**が届きます。




### ▷以下のような場合にはダウンロードが行われません

- 電源コードが抜かれている（電源LEDが消えた状態）
- アンテナの受信レベルが23以下になっているP.157
- **[放送波による自動更新]**の設定が**[切]**になっている
- 録画予約実行中
- 視聴予約実行中
- 電源が「入」（電源LEDが青点灯）のとき

**ダウンロードによって、本機のソフトウェアが更新されたとき、この取扱説明書に記載されている画面や文言と本機が一致しなくなることがあります。**



# メモリ切換を設定する

ネットサービスで使用するメモリの設定をします。

**1** **その他の設定**を表示中に、**メモリ切換設定**を選んで決定を押す

**2** 設定を選んで決定を押す

| | |
|---|---|
| **強** | ネットサービスの視聴に問題がある場合に設定します。 |
| **弱** | 通常はこちらを選択します。 |

- 設定が終わったら、本機は自動的に再起動します。

**ご注意**

- 以下の場合は、**[メモリ切換設定]**を設定できません。
  - 録画中
  - ダビング中

# 設定を初期化する

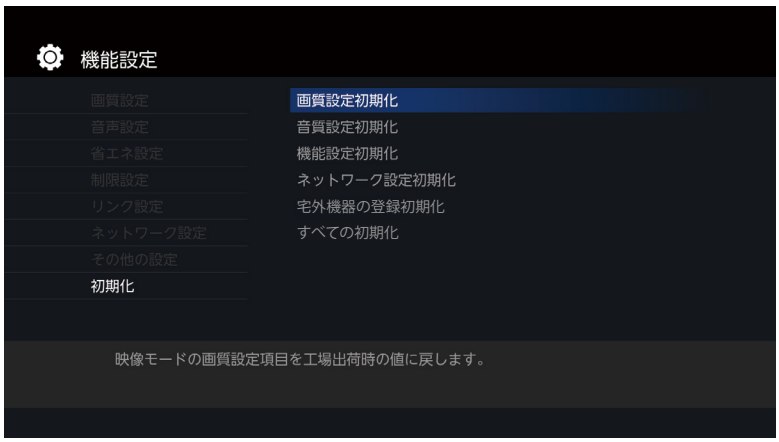
一部の設定またはすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。

## 一部の設定を初期化する

画質設定、音質設定、機能設定、ネットワーク設定を、別々にお買い上げ時の状態に戻します。

**1** ホームを押して、**設定／お知らせ** ➡ **機能設定** を選んで 決定 を押す

**2** **初期化** を選んで 決定 を押す




**3** 初期化したい設定を選んで 決定 を押す

| | |
|---|---|
| **画質設定初期化** | **[映像モード]**の画質設定項目を工場出荷時の値に戻します。 |
| **音質設定初期化** | **[音声モード]**の音質設定項目を工場出荷時の値に戻します。 |
| **機能設定初期化** | **[機能設定]**の設定項目を工場出荷時の値に戻します。ただし、**[ネットワーク設定]**および**[HDD設定]**は初期化されません。 |
| **ネットワーク設定初期化** | **[ネットワーク接続設定]**の設定項目を工場出荷時の値に戻します。 |
| **宅外機器の登録初期化** | 登録された宅外機器の情報をすべて初期化します。初期化すると本機に登録した子機のすべてが宅外機器一覧から消去されるため、再登録が必要となります。 |

**4** **はい** を選んで 決定 を押す

- 設定が終わったら、ホームを押してください。

## すべての情報を初期化する

本機のすべての設定を、お買い上げ時の状態に戻します。

**1** ホームを押して、**設定／お知らせ** ➡ **機能設定** を選んで 決定 を押す

**2** **初期化** を選んで 決定 を押す



次ページへつづく

# 設定を初期化する(つづき)

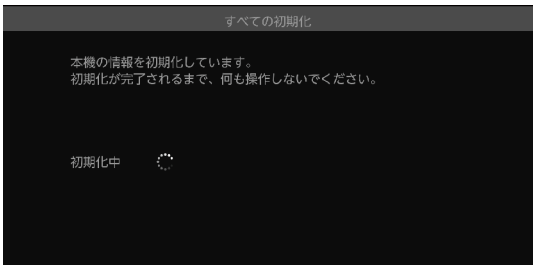
## 3 すべての初期化 を選んで 決定 を押す

## 4 はい を選んで 決定 を押す

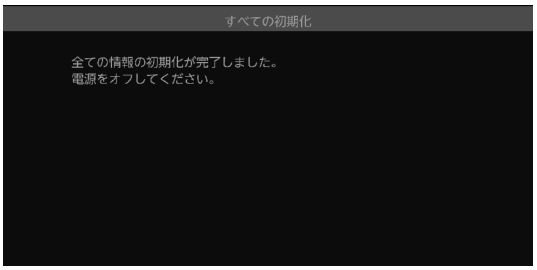
## 5 初期化の種類を選んで 決定 を押す

| | |
|---|---|
| はい | すべての設定を初期化し、お買い上げ時の状態に戻します。USB-HDDの登録情報も初期化(消去)されます。登録情報を初期化すると登録済みのUSB-HDD内の番組は再生できなくなりますのでご注意ください。 |
| いいえ | 登録したUSB-HDDの再生をできるようにしてお買い上げ時の状態に戻すときに選びます。 |
| 戻る | 初期化しないときに選びます。 |

- 本機の全情報初期化が始まり、下の画面が表示されます。




## 6 下の画面が表示されたら、電源 を押す




- 約1分で初期化が完了します。

**ご注意**

- 本機で設定されるデータには、個人情報を含むものがあります。本機を譲渡または廃棄される場合には、**[全情報初期化]**をすることをおすすめします。
- データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、アフターサービス時も含め、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

# ネットワークによるソフトウェアの更新を行う

ネットワークを利用して当社サーバーからソフトウェアをダウンロードし、ソフトウェアの更新を行います。新しいソフトウェアが公開されていない場合はダウンロードされません。

**1** ホームを押して、**設定／お知らせ** ➡ **本機の情報と更新** を選んで決定を押す

**2** **ソフトウェア更新** を選んで決定を押す

**3** **次へ** を選んで決定を押す

**4** 新しいバージョンのソフトウェアがある場合は更新確認が表示されるので、**はい** を選んで決定を押す

**5** 確認画面が表示されるので、**次へ** を選んで決定を押す

**6** ソフトウェア更新が終わって結果画面が表示されたら、内容を確認して決定を押す

# 本機の情報を確認する

ソフトウェアバージョンや本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報、デジタル著作権管理に関する権利情報などを表示します。

**1** ホームを押して、**設定／お知らせ** ➡ **本機の情報と更新** を選んで決定を押す

**2** 表示させたい情報を選んで決定を押す

▷ **本機情報表示の種類**

- **ソフトウェアバージョン**
  ソフトウェアのバージョンを表示します。
- **Netflix ESN**
  NetflixのESNを表示します。
- **Netflix version**
  Netflixのバージョンを表示します。

▷ **ライセンス情報**

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報を表示します。

▷ **デジタル著作権管理**

デジタル著作権管理に関する権利情報を表示します。

# 各メディアに関するその他のお知らせ

## 本機で再生／取り込みできる動画ファイルについて

| | |
|---|---|
| ファイル形式 | MPEG-1 SS (.mpg, .mpeg) |
| 映像 | MPEG1<br>（最大解像度　1920x1080ピクセル　60Hz） |
| 音声 | MPEG |

| | |
|---|---|
| ファイル形式 | MPEG-2 PS (.mpg, .mpeg) |
| 映像 | MPEG1 ／ MPEG2<br>（最大解像度　1920x1080ピクセル　60Hz） |
| 音声 | AC-3 ／ E-AC-3 ／ MPEG ／ LPCM |

| | |
|---|---|
| ファイル形式 | MP4 (.mp4) |
| 映像 | MPEG-4 ／ MPEG-4 AVC/H.264 ／ H.265/HEVC<br>（最大解像度　3840x2160ピクセル　30Hz） |
| 音声 | AAC-LC |

## 本機で再生できるJPEG ファイルについて

| 画素数 | |
|---|---|
| サブサンプリング<br>4：4：4、<br>4：2：2、<br>4：2：0 | 32x32 ～ 4000x4000 |

**ご注意**

- JPEG 形式以外のファイルは再生できません。
- プログレッシブ形式のJPEG ファイルは再生できません。
- Motion JPEG には対応していません。

# miniB-CASカードについて

地上･BS･110度CSデジタル放送を視聴するためには、miniB-CASカードを必ず本機に挿入しておく必要があります。

- 2004年4月から、番組の著作権保護のためにB-CASカードを利用することになりました。miniB-CASカードを挿入しないと、すべてのデジタル放送を受信できません。
- 2004年4月から、デジタル放送には、「コピーワンス（1回だけ録画可能）」のコピー制御信号が付いています。

## ●限定受信システム（CAS：Conditional Access Systems）とは

限定受信システム（CAS）とは、有料放送の契約をした視聴者だけにスクランブル（放送内容をわからなくする技術）を解除して視聴できるようにする技術システムのことです。デジタル放送ではスクランブルの解除以外に、データ放送の双方向サービスや放送局からのメッセージ送付にも利用されます。

## ●（株）B-CASとは

デジタル放送の限定受信システム（CAS）を管理するため設立された（株）ビーエス･コンディショナルアクセスシステムズの略称です。B-CASカードの発行･管理をしています。

**miniB-CASカードに個人情報が書き込まれることはありません。**

付属のminiB-CASカード台紙に記載の内容をよくお読みください。

### ■miniB-CASカードについてのお問い合わせは（2017年7月現在）

（株）ビーエス･コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
TEL：0570-000-250（IP電話からの場合は045-680-2868）
受付時間　10：00～20：00（年中無休）
http://www.b-cas.co.jp/

# デジタル放送について

本機は、地上・BS・110度CSデジタルチューナーを搭載しています。
UHFアンテナ（地上デジタル対応）や衛星アンテナ（BS・110度CS対応）を本機に接続すると、無料チャンネルと契約済みの各デジタル放送を受信することができます。

## 地上デジタル放送

- デジタル放送全般については、一般社団法人　放送サービス高度化推進協会（A-PAB）のホームページ http://www.apab.or.jp/ をご覧ください。
- 地上デジタル放送を受信するには、UHFアンテナが必要です。現在お使いのUHFアンテナでも地上デジタル放送を受信できます。くわしくはお買い上げ店にお問い合わせください。
- 地上デジタル放送は、CATV（ケーブルテレビ）でも受信できます。お住まいの地域のCATVで地上デジタル放送が開始されているかは、CATV放送会社にお問い合わせください。CATV放送会社によっては、放送方式が異なります。
  本機はすべての周波数（VHF帯、MID帯、SHB帯、UHF帯）に対応する「CATVパススルー対応」の受信機です。
- 携帯端末向けのワンセグ放送は、本機では受信できません

## BSデジタル放送

- 放送衛星（Broadcasting Satellite）を使って放送されるハイビジョン放送やデータ放送が特長です。BS日テレ、BS朝日、BS-TBS、BSジャパン、BSフジなどは無料放送を行っています。
  有料放送は、加入申し込みと契約が必要です。

**■「WOWOW」カスタマーセンター**

TEL：フリーダイヤル　0120-580-807
受付時間　9：00～20：00（年中無休）
http://www.wowow.co.jp/

**■「スター・チャンネル」総合案内窓口**

TEL：0570-013-111 または 044-540-0809
受付時間　10：00～18：00（年中無休）
http://www.star-ch.jp/

## 110度CSデジタル放送

- BSデジタル放送と同じ東経110度の方角にある通信衛星（Communication Satellite）を使って放送されるニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあるのが特長です。
  ほとんどの放送が有料です。
- 110度CSデジタル放送を視聴するには、「スカパー！」への加入申し込みと契約が必要です。110度CSデジタル放送には、CS1とCS2の2つの放送サービスがあり、その中に多くの放送局があります。本機ではCS1とCS2がCSにまとめられています。

**■「スカパー！」カスタマーセンター（総合窓口）**

TEL：フリーダイヤル　0120-039-888
受付時間　10：00～20：00（年中無休）
http://www.skyperfectv.co.jp

## ●双方向サービスとは

データ放送で行われるサービスの1つで、インターネットを使い番組に連動して、放送局と視聴者で双方向のやり取りができます。たとえばテレビ画面を見ながら、クイズの解答やショッピングなどいろいろなサービスが考えられています。本機で双方向サービスを利用するには、インターネット回線を接続してください。P.141

# 仕様

仕様、および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

| 形名 | | FL-65 UP5000 | FL-55 UP5000 | FL-49 UP5000 | FL-65 UD4100 | FL-55 UD4100 | FL-49 UD4100 | FL-43 UB4000 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 種類 | | 地上・BS・110度CSデジタル ハイビジョン液晶テレビ | | | | | | |
| 内蔵HDD | | 500 GB | | | | | | 128 GB |
| 電源 | | AC100 V　50／60 Hz | | | | | | |
| 消費電力 | | 起動時：193 W | 起動時：151 W | 起動時：128 W | 起動時：258 W | 起動時：177 W | 起動時：143 W | 起動時：89 W |
| | | 待機時：0.4 W<br>[クイック起動]を[入]に設定時：約22 W※1 | | | | | | 待機時：0.4 W<br>[クイック起動]を[入]に設定時：約12 W※1 |
| 年間消費電力量※2 | | 175 kWh／年<br>【標準※3時】<br>区分名※4：DG2<br>受信機型<br>サイズ：65 V | 142 kWh／年<br>【標準※3時】<br>区分名※4：DG2<br>受信機型<br>サイズ：55 V | 128 kWh／年<br>【標準※3時】<br>区分名※4：DG2<br>受信機型<br>サイズ：49 V | 219 kWh／年<br>【標準※3時】<br>区分名※4：DG2<br>受信機型<br>サイズ：65 V | 163 kWh／年<br>【標準※3時】<br>区分名※4：DG2<br>受信機型<br>サイズ：55 V | 144 kWh／年<br>【標準※3時】<br>区分名※4：DG2<br>受信機型<br>サイズ：49 V | 81 kWh／年<br>【標準※3時】<br>区分名※4：DF1<br>受信機型<br>サイズ：43 V |
| 音声 | 実用最大出力 JEITA | 10 W＋10 W（同時出力） | | | 12 W＋12 W（同時出力） | 10 W＋10 W（同時出力） | | |
| | スピーカー | (5.1 cm＋5.1 cm＋6.9 cm×2.6 cm)×2 | | (5.1 cm＋3.2 cm×1.4 cm)×2 | (10.6 cm×4.0 cm＋2.5 cm)×2 | (9.8 cm×3.0 cm＋2.5 cm)×2 | | (5.2 cm)×2 |
| アンテナ入力 | | UHF　1軸　75 Ω不平衡形 | | | | | | |
| BS・110度CSアンテナ入力 | | 75 Ω不平衡形（C15形）兼コンバーター用電源（DC 15 V）出力 | | | | | | |
| 受信チャンネル | | 地上デジタル：000～999 ch　BSデジタル：000～999 ch<br>110度CSデジタル：000～999 ch | | | | | | |
| 表示画素数 | | 3840 ドット × 2160 ライン | | | | | | |
| 有効表示領域 | | 幅142.8×高さ80.3／対角163.8 cm | 幅120.9×高さ68.0／対角138.7 cm | 幅107.3×高さ60.4／対角123.2 cm | 幅142.8×高さ80.3／対角163.8 cm | 幅120.9×高さ68.0／対角138.7 cm | 幅107.3×高さ60.4／対角123.2 cm | 幅94.1×高さ52.9／対角107.9 cm |
| ヘッドホン出力端子 | | φ3.5ステレオミニジャック | | | | | | |
| ビデオ入力端子 | | （映像）1.0 V（p - p）　75 Ω（同期負極性）<br>（音声）150 mV（rms）　ハイインピーダンス | | | | | | |
| HDMI入力端子 | | 4系統　4端子 ARC対応（HDMI 1入力のみ） | | | | | | |
| LAN端子 | | RJ-45　10BASE-T×100BASE-TX | | | | | | |
| USB端子 | | ハイスピードUSB　Type A　DC 5 V（HDD用）<br>ハイスピードUSB　Type A　DC 5 V（USBメモリー用） | | | | | | |
| デジタル音声（光）出力端子 | | 1系統　1端子 | | | | | | |
| 外形寸法 | スタンドあり | 幅145.7×高さ89.7×奥行30.1 cm | 幅123.4×高さ77.4×奥行26.5 cm | 幅110.0×高さ69.3×奥行26.5 cm | 幅146.0×高さ90.7×奥行26.4 cm | 幅124.0×高さ78.4×奥行23.5 cm | 幅110.3×高さ70.6×奥行23.5 cm | 幅96.9×高さ63.0×奥行20.6 cm |
| | スタンドなし | 幅145.7×高さ84.6×奥行6.1 cm | 幅123.4×高さ72.4×奥行5.9 cm | 幅110.0×高さ64.4×奥行5.8 cm | 幅146.0×高さ84.9×奥行10.4 cm | 幅124.0×高さ72.3×奥行8.0 cm | 幅110.3×高さ64.5×奥行8.0 cm | 幅96.9×高さ56.5×奥行9.7 cm |
| 質量 | スタンドあり | 28.8 kg | 21.6 kg | 16.1 kg | 26.5 kg | 17.6 kg | 14.9 kg | 9.6 kg |
| | スタンドなし | 28.1 kg | 20.9 kg | 15.6 kg | 25.6 kg | 16.7 kg | 14.0 kg | 9.0 kg |
| キャビネット材質 | | 前：アルミ　後：鉄、PC+ABS | | | 前：アルミ、鉄　後：PS | | | 前：PC+ABS<br>後：鉄、PS |
| 使用周囲温度 | | 5 ℃～40 ℃ | | | | | | |

| リモコン | | |
|---|---|---|
| | 形名 | FRM-100TV |
| | 電源 | DC 3 V　単4形乾電池2本 |
| | 質量 | 約136 g（乾電池含む） |
| | 操作範囲 | 左右各約30°以内、上下約15°以内 |



次ページへつづく

# 仕様(つづき)

- テレビのV型(55V型など)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- このテレビは日本国内用です。電源電圧・放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
  また、アフターサービスもできません。
  This television set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.
  No servicing is available outside of Japan.
- 製品は、ご使用終了時に再資源化の一助として主なプラスチック部品に材質名を表示しています。

※1: [クイック起動]を[入]に設定した場合のみの消費電力となりますので、以下の動作をしているときは更に消費電力が増加します。
- 本機で受信したデジタル放送をHDDやUSB-HDDで録画しているとき
- BS・110度CSアンテナへの電源供給を本機から行うために、
  **[アンテナ電源]**を**[供給する]**および**[テレビ連動]**に設定しているとき

※2: 省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

※3: 一般的にご家庭でご使用される際のメーカー推奨の画質設定の一つです。このモデルでは、映像モード=スタンダードをおすすめしています。

※4: 「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」では、テレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態および付加機能の有無などに基づいた区分を行っています。「区分名」とは、その区分名称をいいます。

## 最大記録可能数について

上限を超える場合は、メッセージが表示されます。
最大記録可能数は、使用状況や、記録する内容などにより、下記の数値より少なくなることがあります。

| 項目 ＼ メディア | HDD USB-HDD | SeeQVault -HDD |
|---|---|---|
| 番組数 | 1,000 | 1,000 |

- 録画予約数　95
- 1番組あたりの連続録画可能時間　12時間(HDD／USB-HDD)

# 保証とアフターサービス

必ずお読みください

## ■保証書（梱包箱に貼り付けしています）について

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ販売店からお受け取りください。
- 保証書裏面の「無料修理規定」をよくお読みください。また、当社のお客様サポートサイト（funai.jp/cs/）の「修理規約」も合わせてお読みください。
- 保証書は、納品書や領収書と共に大切に保管してください。

製品本体の保証期間は、お買い上げ日から３年間です。
なお、摩耗部品・リモコンの保証期間は、１年間です。

## ■ご不明な点や修理に関するご相談

- この取扱説明書の「困ったときは」や、当社のお客様サポートサイト（funai.jp/cs/）に従ってお調べください。それでも解決しない場合には、お買い上げの販売店か、「船井電機お客様ご相談窓口」までご相談ください。

## ■補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この製品の補修用性能部品を製造打切り後８年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ■部品について

- 修理の際に、当社の判断により、再生部品または代替部品を使用することがあります。
- 修理などで交換した部品は、任意に引き取らせていただきます。

## ■記録内容の補償について

- 記録媒体を搭載または使用する製品の場合は、故障または修理・交換により記録内容が消失などすることがありますが、記録内容の補償はいたしません。

## 船井電機お客様サポートサイト
funai.jp/cs/

- 製品の取扱いに関するお役立ち情報が満載です。一度ご覧ください。それでも解決しない場合には、当社お客様ご相談窓口までお電話をお願いいたします。

## お客様ご相談窓口のご案内

**取扱い・修理に関するご質問は、**
**お買い上げの販売店へお問い合わせください。**

- 転居や贈答品など、お買い上げの販売店にご依頼できない場合は、当社の窓口へお問い合わせください。

※この製品は、日本国内専用に設計されていますので、国外では使用できません。また、修理対応もできません。

## ■修理を依頼されるとき

- 不具合があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- **保証期間中は**
  修理に際しましては、保証書をご提示ください。
  保証書の規定に従って、修理させていただきます。
- **保証期間が過ぎているときは**
  修理すれば使用できる場合はご希望により有料修理させていただきます。点検・診断のみでも有料となることがあります。
- **修理料金のしくみ**
  技術料＋部品代＋出張料などで構成されています。
  ※修理のための製品の取りはずし・再設置は、販売店様もしくはお客様でご対応をお願いします。
- 製品の設定（他機器との接続・調整・取扱説明など）を依頼されると、有料となることがあります。
- **修理不可の場合**
  製品の状態やその他の事情により、修理に代えて製品交換で対応する場合があります。交換品は、新品同等の機械的・電気的に動作確認を行った交換用製品となります。
  なお、交換後の製品は、最初のご購入時の保証期間が適用されます。

### ご連絡いただきたい内容

- お名前
- ご住所
- 電話番号
- お買い上げ製品の型番
  （この取扱説明書または保証書に記載）
- お買い上げ製品の製造番号
  （保証書または本機背面のラベルに記載）
- お買い上げ日
- 症状（故障または不具合の内容）
  「症状診断シート」（次頁）をご活用ください。

**相談窓口におけるお客様の個人情報のお取扱いについて**

- お客様より船井電機株式会社およびグループ会社にお電話でお問い合わせいただいた場合には、正確にご回答するため、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。また、折り返しお電話させていただくときのために、「発信者番号表示」を採用しています。あらかじめご了承のうえ、お問い合わせください。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、サービス活動およびその後の安全点検活動のために、当社のグループ会社および秘密保持契約において厳正に管理された業務委託会社に個人情報を提供させていただくことがあります。



**船井電機 お客様ご相談窓口**

固定電話からのご利用は（通話料：無料）
**0120-055-271**

携帯電話からのご利用は（通話料：有料）
**0570-008-271**

受付時間　9：00～18：00　（年末年始を除く）

※ 時間帯によっては、お電話が混み合ってつながりにくいことがあります。あらかじめご了承ください。
※ FAXをご利用の方はこちらまで　FAX：06-6746-3374

■ 付属品のご購入についてはこちらをご確認ください。
https://www.funai-service.co.jp/shop/funai/

※ 上記の内容は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。（2024年3月現在）

# 症状診断シート

本機の故障･不具合などのお問い合わせの際に、円滑にご対応させていただくため、以下の内容をご確認いただき、お知らせいただきますようお願いいたします。

**【ご確認事項】** ※以下［　　］の内容は、お客様ご相談窓口またはサービスの担当者にお伝えください。

**全情報の初期化：** 本機を修理する過程でやむを得ず記録内容が失われたり、全情報の初期化が必要になる場合があります。

全情報の初期化を行うと本機の記録内容はすべて消去されます。また、USBメモリーが付属する機種や外付けハードディスクは、それらの登録情報も初期化する場合があります。USB機器※や内蔵ハードディスクの初期化を行うと記録内容（保護された番組を含む）はすべて消去されます。※USB機器は再登録も必要となります。

☐ 同意する

☐ 同意しない（**ご注意：**全情報の初期化にご同意いただけない場合は、修理をおことわりすることがあります。）

**【不具合症状】**

**発生区分** ： ☐ 地デジ　☐ BS／CS　☐ ハードディスク　☐ USB機器　☐ BDディスク　☐ DVDディスク
☐ その他（　　）

**発生頻度** ： ☐ 常時　☐ 時々　☐ その他（　　）

**症状**：（できるだけくわしく）　例：地上デジタル放送の○○チャンネルが受信できない。

**受信環境** ： ☐ 戸建住宅（個別受信）　☐ マンションなど（共同受信）　☐ ケーブルテレビ（社名：　　）

**接続機器** ： ☐ テレビ　（メーカー名：　　、型番［機種名］：　　）
☐ レコーダー　（メーカー名：　　、型番［機種名］：　　）
☐ 外付けHDD（メーカー名：　　、型番［機種名］：　　）
☐ その他　（　　）

## ご購入メモ

ご購入記録として下記内容をご記入いただき、お問い合わせや修理のご依頼の際にご活用ください。
（この製品の型番、製造番号は保証書及び本機背面などに記載してあります。）

| | | |
|---|---|---|
| お買い上げ年月日 | 年　月　日 | miniB-CASカード番号※ |
| お買い上げ店名／電話番号 | ☎ | |
| お買い上げ製品の型番 | ☐ FL-65UP5000　☐ FL-55UP5000<br>☐ FL-49UP5000　☐ FL-65UD4100<br>☐ FL-55UD4100　☐ FL-49UD4100<br>☐ FL-43UB4000<br>（お買い上げいただいた製品の型番の□にチェックを入れてください。） | |
| お買い上げ製品の製造番号 | | |

※「miniB-CASカード情報」画面 P.78 で確認できる「カードID」の番号を記入してください。お問い合わせの際に必要な場合があります。

## 廃棄時にご注意願います

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ（ブラウン管式、液晶式、プラズマ式）を廃棄される場合は、収集･運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

**愛情点検** ● 長年ご使用の製品の点検を！（熱、湿気、ほこりなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。）

**このような症状はありませんか**
- 映像や音がでない。
- 変なにおいがしたり、煙がでたりする。
- 内部に水や異物が入った。
- その他の異常や故障がある。

→ **ご使用中止**　このようなときは、故障や事故防止のためスイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜き、必ずお買い上げの販売店にご連絡ください。

# 困ったときは

## よくあるご質問

| | このようなときは… | ここをお調べください | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 電源 | **電源が入らない。** | ・電源プラグが抜けていませんか。<br>・指定(表示)以外の電源電圧(交流200V)に電源プラグを挿していませんか。<br>➡ 安全のための保護回路が働くため、電源が入らなくなります。一旦電源プラグを今のコンセントから抜いて、約10分ほど時間をおいてから、指定(表示)の電源電圧(交流100V)につなぎ直し、正常動作するかご確認ください。正常動作しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。 | P.42<br>P.173 |
| 電源 | **電源が入らない。<br>電源LED(青色)が点灯しない。** | ・電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、電源を入れ直してください。それでも電源が入らない場合は、安全のための保護回路がはたらいている可能性があります。<br>➡ 電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。<br>・[電源LED]が[切]になっていませんか。 | – |
| 電源 | **電源が入らない。<br>本機の電源ボタンで電源が入るが、リモコンでは電源が入らない。** | ・リモコンの乾電池が消耗していませんか。<br>・リモコンの乾電池の⊕⊖が逆に入っていませんか。<br>・テレビのリモコン受光部に正しく向けていますか。<br>・テレビのリモコン受光部に強い照明などが当っていませんか。 | P.15<br>P.25<br>–<br>– |
| 電源 | **急に電源が切れた。** | ・[無操作電源オフ]、[無信号電源オフ]が[入]になっていませんか。<br>・おやすみタイマーの設定がされていた可能性があります。<br>➡ 再度電源を入れた際、おやすみタイマーの設定をしていないことを確認し、同じ症状が起こらないか確認してください。 | P.134<br>P.54 |
| 電源 | **テレビの電源を入れるとき、起動に時間がかかる。** | ・[クイック起動]が[切]のときに電源を入れた際、起動に時間がかかる場合があります。<br>➡ 内部システムによる仕様のため、故障ではありません。 | P.163 |
| 電源 | **テレビの電源を切ると、HDMIケーブルでつないだレコーダーの電源が切れる。** | ・[HDMI機器連動]が[入]、[HDMI機器の自動電源オフ]が[入]になっていませんか。<br>➡ [HDMI機器の自動電源オフ]が[入]になっている場合は、本機の電源を切るとHDMI-CEC対応機器の電源も連動して「切」になります。HDMIケーブルで接続した他社製品も同様に動作をするものがあります。 | P.140 |
| 電源 | **リモコンで電源を切ったあと、しばらくして動作音がした。** | ・電源を切ったあともデジタル放送のデータ取得の動作をしており、取得動作を終了する際に動作音がしますが、故障ではありません。電源を切ってから取得動作を終了するまでの時間は、送られてくるデータの量に応じて変化します。 | – |
| 電源 | **電源を切っているときに動作音がした。** | ・デジタル放送のデータ取得のための動作音です。故障ではありません。 | – |
| リモコン | **リモコンで操作できない。** | ・リモコンの乾電池が消耗していませんか。<br>・リモコンの乾電池の⊕⊖が逆に入っていませんか。<br>・テレビのリモコン受光部に正しく向けていますか。<br>・テレビのリモコン受光部に強い照明などが当っていませんか。<br>・デジタル放送の番組連動データがあるときやデータ番組を視聴しているときは、数字ボタン(1 ～ 12)がデータ操作に使われるため、チャンネルを切り換えられないことがあります。<br>➡ チャンネル▲・▼や番組表でチャンネル切換をしてください。 | –<br>P.25<br>P.15<br>–<br>– |
| リモコン | **チャンネル▲・▼で、特定のチャンネルだけ選べない。** | ・スキップされていませんか。<br>➡ 選びたいチャンネルのスキップを解除してください。 | P.156 |



次ページへつづく

# 困ったときは(つづき)

| | このようなときは… | ここをお調べください | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| テレビを見ているとき | **リモコンや本機ボタンで操作ができない。** | • 電源プラグを抜き、しばらくしてから再度プラグを挿し直してください。<br>➡ 本機は、パソコンのような複雑なプログラムにより動作しています。まれに動作が不安定になったとき、動作を止めることがあります。電源プラグを挿し直すことで、不安定要素が解消され正常動作に戻ります。 | – |
| | **映像も音も出ない。** | • アンテナ線がはずれていませんか。<br>• 入力端子の接続と入力切換ボタンの操作が合っていますか。<br>• 外部機器の接続コードがはずれていませんか。 | P.36<br>P.53<br>P.38 〜 P.41 |
| | **映像は出るが、音が出ない。** | • 消音になっていませんか。または音量が0になっていませんか。<br>• ビデオなどの入力端子がはずれていませんか。<br>• [スピーカー出力]の設定を確認してください。<br>• ヘッドホン端子にヘッドホンが挿し込まれていませんか。<br>➡ [ヘッドホン出力設定]を[スピーカー非連動]にすると、ヘッドホンとスピーカーの両方から音を出すことができるようになります。 | P.22<br>P.38 〜 P.41<br>P.132<br>P.133 |
| | **DVDを見ているときに、片側のスピーカーから音が出ない。** | • ビデオ入力端子の接続コードがはずれていないか調べてください。 | P.38 |
| | **音がつまったような感じがする。** | • [ぴったり音量]が[入]になっていると音量をおさえる効果によりつまったように感じることがあります。 | P.131 |
| | **音の大きさが変化する。人の声が変化する。** | • [ぴったり音量]が[入]になっていると音量を補正する効果により変動することがあります。 | P.131 |
| | **音声に異音が入ったり映像にノイズが出たりする。** | • テレビや接続機器の近くで携帯電話や無線機などを使用していませんか。<br>➡ 携帯電話などを離して使用してください。 | – |
| | **映りが悪い。** | • アンテナ接続コネクターへのつなぎかたを確認してください。<br>• アンテナ線が切れたり、はずれたりしていませんか。<br>• アンテナが風でこわれたり、まがったりしていませんか。<br>• アンテナは正しい方向に向いていますか。<br>• 自動車、オートバイ、電車、ヘアドライヤーなどからの妨害電波が入っています。<br>➡ アンテナを原因となるものから離してください。<br>• コントラストの調節を確認してください。<br>• チャンネルの設定をやり直してください。<br>• USB-HDDをご使用になっている場合は、USB-HDDによる受信妨害が引き起こされることがあります。USB-HDDの電源を切ることで改善される場合は、本機とUSB-HDDの位置や向き、距離を変えてみてください。 | P.36<br>–<br>–<br>–<br>–<br>P.126<br>P.153<br>P.114 |
| | **色がつかない。色がおかしい。** | • 色の濃さの調節をしてください。<br>• 色あいの調節をしてください。<br>• チャンネルの設定をやり直してください。 | P.127<br>P.127<br>P.153 |
| | **画面の横幅が圧縮されて、左右に黒い帯が出る。** | • 画面モードが[ノーマル]になっていませんか。<br>➡ [ホーム]➡[テレビ操作]➡[画面モード]で、映像に合った画面サイズを選んでください。 | P.58 |
| | **[ダイナミック]を選んでいるのに、左右に黒い帯が出る。** | • ビデオやゲーム画面などでは、左右の黒い帯が残る場合があります。 | P.58 |
| | **字幕が切れる。** | • 画面モードによっては切れる場合があります。<br>➡ [ホーム]➡[テレビ操作]➡[画面モード]で、映像に合った画面サイズを選んでください。 | P.58 |

| | このようなときは… | ここをお調べください | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| テレビを見ているとき | **画面が暗い。** | • 映像モードが変更されていませんか。<br>• コントラストの調節を確認してください。 | P.125<br>P.126 |
| | **外部入力が映らない。** | • ビデオ、HDMIの接続ケーブルがはずれていませんか。 | P.38 〜 P.41 |
| | **HDMI入力が正しく映らない。** | • [HDMI入力信号設定]を正しく設定していますか。<br>➡ [ホーム]➡[設定／お知らせ]➡[機能設定]➡[その他の設定]➡[HDMI入力信号設定]で接続しているHDMIを選んで、映像に合った設定にしてください。 | P.162 |
| | **テレビの上部や液晶パネル面の温度が高い。** | • 本機上面や液晶パネル面の温度が高くなりますが、性能品質には問題ありません。(本機の通風孔をふさがないように、お使いください。) | – |
| | **テレビから時々「ピシッ」と音がする。** | • 室温の変化により、キャビネットがわずかに伸縮するときに発生する音です。画面や音声に異常がなければ心配ありません。 | – |
| デジタル放送のとき(共通) | **デジタル放送が映らない。** | • miniB-CASカードは、正しく挿入されていますか。<br>miniB-CASカードの抜き挿しは必ず電源プラグを抜いてから行ってください。 | P.34 |
| | **リモコンで操作できない。** | • デジタル放送の番組連動データがあるときやデータ番組を視聴しているときは、1 〜 12 ボタンがデータ操作に使われる場合があり、チャンネルを切り換えられないことがあります。<br>➡ チャンネル▲・▼や番組表でチャンネル切り換えをしてください。 | – |
| | **字幕や文字スーパーが出ない。** | • [字幕切換]が[切]に設定されていませんか。<br>➡ [日本語]、[英語]または[外国語]に設定してください。<br>• [文字スーパー]が[切]に設定されていませんか。<br>➡ [日本語]または[英語]に設定してください。<br>• 字幕や文字スーパーのある番組を選局していますか。 | P.57<br>–<br>– |
| | **番組表に表示されないチャンネルがある。** | • 飛び越し(スキップ)設定になっていませんか。 | P.156 |
| 地上デジタル放送のとき | **地上デジタル放送が映らない。**<br>**映像が乱れる。** | • UHFアンテナは、地上デジタル放送の送信局に向けられていますか。<br>➡ 地上アナログ放送の送信局と方向が違う地域があります。<br>• 地上デジタル放送が受信できるUHFアンテナをご使用ですか。<br>➡ 従来のアナログ放送用のUHFアンテナは、視聴地域の特定チャンネルに対応している場合があり、地上デジタル放送用のUHFアンテナやデジタル対応のブースター、混合器などが必要な場合があります。 | P.157<br>P.36 |
| | **映像や音が出ない、または時々出なくなる。**<br>**映像が静止する、または時々静止する。** | • UHFアンテナの向きが、風や振動により変わっていませんか。または、アンテナ線の劣化などありませんか。<br>➡ [受信状態の確認]で受信レベルを確認することができます。何らかの要因で受信レベルが低くなっている可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。<br>• 受信レベルが低い状態でご覧になっていませんか。<br>➡ 受信レベルが低いと、天候や近隣の環境(建物の建築、緑地の伐採、中継アンテナの増設など)の影響を受けやすく、受信状態が悪化し映像が乱れたり映らなくなったりすることがあります。 | P.157<br>– |
| | **番組表が表示されない。**<br>**番組表に表示されない番組がある。** | • お買い上げ時には、番組表は表示されません。チャンネル設定後に、番組表の番組データを受信するまでは表示されません。<br>• 電源を「入」にして最初に番組表を表示するときは、番組データ受信に時間がかかります。 | P.64<br>– |
| | **地上デジタルの放送局のロゴマークが表示されない。** | • 地上デジタル放送の各放送局を一定時間、選局していると、放送局のロゴマークが表示されるしくみになっています。<br>放送時間と受信のタイミングで日数がかかることもあります。 | – |



次ページへつづく

| | このようなときは… | ここをお調べください | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| BS・110度CSデジタル放送のとき | **BS・110度CSデジタル放送が映らない。映像が乱れる。** | • [ホーム]➡[放送受信設定]➡[BS／CSデジタル設定]➡[アンテナ電源]で[テレビ連動]を選んでいますか。<br>• BS・110度CSアンテナとの接続状態を確かめてください。<br>• BS・110度CSアンテナケーブルを分配器で増設されているときは、「電流通過型」のご利用をおすすめします。<br>• 分配器を使用している場合は、110度CSデジタル対応のものを正しく使用していますか。<br>• アンテナ接続コネクターがプラスチックのものをお使いの場合は、正しく加工されていますか。<br>➡ [受信状態の確認]で受信レベルが「24以上」になっているか、ご確認ください。 | P.158<br>–<br>–<br>–<br>P.157 |
| | **BS・110度CSデジタル放送の映りが悪い。** | • アンテナの方向が強風や衝撃で正しい方向からはずれていませんか。<br>• アンテナへの積雪や雨、雷雲などによる電波の減衰が原因となることがあります。<br>➡ [受信状態の確認]で受信レベルが「24以上」になっているか、ご確認ください。 | –<br>P.157 |
| | **データ番組の操作をしていたら、チャンネルが切り換わった。** | • データ番組のユーザー登録画面などで数字入力する場合がありますが、画面上の番号を選んで入力するときに間違ってリモコンの数字ボタン（1 ～ 12）を押すと、チャンネルが切り換わってしまうことがあります。 | – |
| | **特定のチャンネルの映像や音声が時々出なくなる。** | • 本機とアンテナを接続するとき、衛星デジタル放送に対応していないアンテナケーブルや分配器、分波器などを使用していませんか。<br>➡ BS・110度CSデジタル放送に対応していないアンテナケーブルや機器でアンテナを接続している場合は、PHSデジタルコードレス電話機など本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器の影響を受け、映像や音声が出なくなる場合があります。アンテナを接続する場合は、シールド性のよいBS・110度CSデジタル放送対応のアンテナケーブルや機器をご使用ください。 | – |
| | **有料放送の視聴ができない。** | • miniB-CASカードは、正しく挿入されていますか。<br>miniB-CASカードの抜き挿しは必ず電源プラグを抜いてから行ってください。<br>• 有料放送を視聴するための手続きをされていますか。<br>➡ 視聴契約の手続きをしてください。 | P.34<br>P.172 |
| | **BSデジタル放送は映るのに、110度CSデジタル放送が映らない。** | • 110度CSデジタル対応のアンテナを使用していますか。<br>• ブースターや分配器を使用している場合は、110度CSデジタル対応の2.1GHz以上まで対応しているものを使用していますか。<br>• 契約が必要なチャンネルは、契約しないと見られません。<br>• 110度CSデジタル放送は、周波数が高いので従来のBSの配線設備では見られないことがあります。 | –<br>–<br>–<br>– |
| | **急に画像や音質が少し悪くなった。** | • 降雨対応放送になっていませんか。<br>➡ 雨の影響により、衛星からの電波が弱くなっている場合は、本機では電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り換える場合があります。降雨対応放送では、画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質、音質に戻ります。 | P.186 |

## BS・110度CSアンテナへの積雪や豪雨などによる一時的な受信障害

● BS放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、アンテナに雪が付着したりすると電波が弱くなり、一時的に画面にモザイク状のノイズが入ったり、映像が停止したり、音声がとぎれたり、ひどい場合にはまったく受信できなくなったりすることがあります。

| | このようなときは… | ここをお調べください | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| USB-HDD | **録画できない。** | ・「録画禁止」番組を録画していませんか。 | – |
| | | ・USB-HDDの容量や番組数がいっぱいになっていませんか。<br>➡ 不要な番組を消去するか、別のUSB-HDDに録画してください。 | – |
| | | ・バスパワー型のUSB-HDDは保証外です。セルフパワー型のUSB-HDDをご使用ください。 | – |
| | | ・USB-HDDの電源が切れていませんか。 | – |
| | | ・USBケーブルは、しっかり接続されていますか。 | – |
| | | ・[SeeQVault用として他機でも使用する]を選んだSeeQVault-HDDでは直接録画できません。 | P.117 |
| | **録画予約できない。<br>録画予約した番組が録画されない。** | ・停電があったときは、正しく録画されません。(「テレビからのお知らせ」で確認できます。) | – |
| | | ・初期化(フォーマット)、ダウンロード更新など、中断できない動作中は、予約録画できません。 | – |
| | | ・バスパワー型のUSB-HDDは保証外です。セルフパワー型のUSB-HDDをご使用ください。 | – |
| | | ・USB-HDDの電源が切れていませんか。 | – |
| | | ・[SeeQVault用として他機でも使用する]を選んだSeeQVault-HDDでは直接録画できません。 | P.117 |
| | **番組の最初から再生が始まらない。** | ・続き再生になっていませんか。 | P.100 |
| | **番組の消去ができない。** | ・番組が保護されている場合は、消去はできません。<br>➡ 番組の保護設定を解除してください。 | P.101 |
| | | ・録画中は番組の消去はできません。 | – |
| | **消去番組を元に戻せない。** | ・消去された内容は、元に戻すことはできません。録画内容をよく確認してから、消去してください。 | – |
| | **初期化(再フォーマット)した内容を元に戻せない。** | ・初期化(再フォーマット)して消去された内容は、元に戻すことはできません。録画内容をよく確認してから、初期化してください。 | – |

# メッセージ表示一覧

本機では、お知らせで送られてくる情報とは別に、状況に合わせて画面中央に「メッセージ」が表示されます。代表的なメッセージと意味については下記の通りです。

| コード番号 | メッセージ | メッセージの意味 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| – | miniB-CASカードを正しく挿入してください。 | ・miniB-CASカードが挿入されていません。miniB-CASカードを正しく挿入してください。miniB-CASカードの抜き挿しは必ず電源プラグを抜いてから行ってください。 | P.34 |
| E204 | このチャンネルは存在しません。 | ・チャンネル3桁入力選局で、放送されていないチャンネルが入力されています。 | P.50 |
| – | 地上デジタル放送を受信するためには<br>**[メニュー]➡[設定／お知らせ]➡[放送受信設定]➡[かんたん一括設定]**で<br>チャンネルスキャンを行ってください。 | ・地上デジタル放送を受信するために、[放送受信設定]で、[かんたん一括設定]を行ってください。 | P.152 |
| E202 | 放送を受信できません。 | ・地上デジタル放送の[地上デジタル設定]で、[再スキャン]を行ってください。<br>・受信レベルが低くて受信できません。アンテナの向きや接続を確認してください。また、放送されていないチャンネルを選局しているため受信できません。 | P.153<br>P.157 |
| – | 悪天候などにより、降雨対応放送に<br>切り換えました。 | ・雨の影響により、衛星からの電波が弱くなったため、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えました。画質、音質が少し悪くなります。また、番組表示ができない場合もあります。 | P.186 |
| – | この番組をご覧いただくには、契約･登録などを済ませていただく必要があります。ご案内チャンネルに切り換えますか？ | ・未契約の有料番組を選んでいるか、未契約の映像･音声の信号を選んでいます。 | P.172 |
| – | このデータ放送は対象地域外のため、<br>ご覧になれません。 | ・データ放送が地域制限などによって視聴できない場合があります。 | |
| – | このminiB-CASカードは使用できません。<br>カスタマーセンターへご連絡ください。 | ・使用できないカードが挿入されています。miniB-CASカードの抜き挿しは必ず電源プラグを抜いてから行ってください。 | P.34 |
| – | このminiB-CASカードは使用できません。<br>正しいminiB-CASカードを挿入してください。 | ・カードが故障しているか、間違ったカードを挿入しています。miniB-CASカードの抜き挿しは必ず電源プラグを抜いてから行ってください。 | P.34 |
| E200 | 放送チャンネルではないため、視聴できません。 | ・選局したチャンネルが非放送番組です。 | |
| – | このチャンネルは現在放送されていません。 | ・選局したチャンネルが放送休止中です。 | |
| E210 | この受信機では、このチャンネルは選局できません。 | ・本機では選局できないチャンネルです。 | |
| – | データ放送を受信できません。<br>別のチャンネルを選局した後に再度ご覧のチャンネルを選局してください。 | ・データ放送のデータが受信できません。一旦、現在ご覧のチャンネルとは異なるチャンネルを選局後、しばらくたってからエラーが起こったチャンネルに戻りデータ放送を再表示してください。 | |
| – | データの表示ができませんでした。<br>別のチャンネルを選局した後に再度ご覧のチャンネルを選局してください。 | ・データ放送のデータが受信できません。一旦、現在ご覧のチャンネルとは異なるチャンネルを選局後、しばらくたってからエラーが起こったチャンネルに戻りデータ放送を再表示してください。 | |

# お手入れのしかた

お手入れの前に、必ず電源プラグを抜いてください。

## 液晶パネル

液晶画面には、映り込みを抑えたり、映像を見やすくしたりするために特殊な表面処理を施しています。誤ったお手入れをした場合は、画面を損傷する原因にもなりますので次のことを必ずお守りください。

- 表面は、脱脂綿か柔らかい布で軽く拭きとってください。また、きれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用はお避けください。ホコリのついた布・化学ぞうきんで表面をこすると液晶パネルの表面が剥がれることがあります。
- 画面の清掃には、水、イソプロピルアルコール、ヘキサンをご使用ください。研磨剤が入った洗剤は、表面を傷つけるので使用しないでください。アセトンなどのケトン系、エチルアルコール、トルエン、エチル酸、塩化メチルは、画面に永久的な損傷を起こす可能性がありますので、クリーナーの成分には十分ご注意ください。酸やアルカリもお避けください。
- 水滴や溶剤などがかかった場合はすぐに拭きとってください。そのままにすると液晶パネルの変質、変色の原因になります。
- 清掃目的以外（静電気防止など）でも画面に溶剤などを使用されますと画面の光沢ムラなどになることがあります。ムラなどになった場合は、水ですぐに拭き取ってください。

※表面は傷つきやすいので硬いもので押したり、こすったり、叩いたりしないように、取り扱いには十分ご注意ください。画面についたキズは修理できません。

※手指で触れる、などにより表面が汚れることのないように十分にご注意ください。

## キャビネット

キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジンやシンナーなどでふくと変質する原因になります。〈化学ぞうきんご使用の際はその注意書に従ってください〉

- 柔らかい布で軽くふきとってください。
特にパネルのまわりは傷つきやすいので、メガネふきなどの柔らかい布でふきとってください。
- 汚れがひどいときは水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞りふいてください。
- 水滴などが液晶パネルの表面を伝ってテレビ内部に浸入すると故障の原因になります。

## 電源プラグ

- ほこりなどは定期的にとってください。電源プラグにほこりがついていたり、コンセントの挿し込みが不完全になっていたりする場合は、火災の原因になります。

## 内部

掃除は、販売店に依頼してください。

- 1年に一度くらいを目安にしてください。内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因になります。とくに梅雨期の前に行うのが効果的です。

# アイコン一覧

デジタル放送では、アイコン（機能表示のシンボルマーク）によって画面表示の情報をお知らせします。
放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンを表示しない場合があります。

## ■ 番組表・番組内容

| アイコン | アイコンの意味 |
|---|---|
| | 番組の映像信号情報<br>上：画面の縦横比<br>下：信号方式 |
| | 有料放送 未契約 |
| | 有料放送 契約済み |
| | 無料放送 |
| | ４歳から視聴可能<br>～ 20 歳から視聴可能 |

| アイコン | アイコンの意味 |
|---|---|
| | モノラル音声 |
| | 主＋副 音声 |
| | マルチ放送<br>（映像や音声などが複数あり、<br>切り換えできる番組） |
| | ステレオ音声 |
| | マルチチャンネル音声 |
| | 字幕有り |

# 用語の説明

## 数字・アルファベット順

**ARC(オーディオリターンチャンネル)**

テレビとAVアンプをHDMIケーブル1本で接続して、映像と音声のテレビへの入力とデジタル音声のテレビからの出力が可能です。光デジタルケーブルが不要になります。テレビもAVアンプもARCに対応している必要があります。

**CATVパススルー対応**

CATV(ケーブルテレビ)で地上デジタル放送を伝送する方式のうちには、UHF以外の周波数帯域に変換して伝送する方式があります。これを周波数変換パススルー方式と呼びます。この方式での地上デジタル放送を受信するためには「CATVパススルー対応」の受信機が必要です。

**DHCP機能**

Dynamic Host Configuration Protocolの略で、ネットワークに接続する際に、機器にIPアドレスなどの必要な情報を自動的に割り当てる仕組みのことです。

**DNS**

Domain Name Systemの略で、インターネットで通信を行うコンピュータにアクセスしやすくするため、ネットワークやコンピュータにドメインネーム(ドメイン名)と呼ばれる名前を付けて管理するシステムです。

**GB**(ギガバイト)

HDD／USB-HDD、ブルーレイディスクやDVDの容量を表す単位で、数値が大きいほど最大録画時間が長くなります。

**HDD**(ハードディスクドライブ)

パソコンや家庭用ディスクレコーダーなどで使われている大容量データ記録装置の1つです。大量のデータの読み書きを高速で行うことができ、記録されているデータの検索性にすぐれています。本機は、このHDDを内蔵しています。(お客様ご自身でHDDを交換できません。)

**HD放送**(ハイビジョン画質)

高精細度テレビジョン放送のことで、走査線数(画面を構成する絵素の輝度または色の数)を増やし、かつワイドアスペクト比(16：9)を採用することにより、鮮明な映像を実現したテレビジョン放送です。

**HDMI**

High Definition Multimedia Interfaceの略で、ブルーレイディスクレコーダーやDVDレコーダーなどのデジタル機器と接続できるデジタルAVインターフェースです。

映像信号と音声信号を1本のケーブルで接続でき、非圧縮のデジタル音声・映像信号を伝送できます。

**HDMI-CEC**

HDMI-CEC(Consumer Electronics Control)は、HDMIケーブルで接続することにより、対応機器間の相互連動動作を可能にした業界標準規格です。

**IPアドレス**

ネットワーク上の機器を識別するために指定する番号のことです。

**JPEG**(ジェイペグ)

Joint Photographic Experts Groupの略で、静止画像データの圧縮方式の1つです。

ファイル容量を小さくでき、画質の低下が少ないため、デジタルカメラの保存方式などで広く使われています。

**LAN**(ラン)

ローカルエリアネットワークのことで、ケーブルや無線などを使って、同じ建物の中にあるネットワーク機器同士を接続し、データをやり取りするネットワークのことです。

**MPEG**(エムペグ)

MPEGはMoving Picture Experts Groupの略で、動画音声圧縮方式の国際標準です。MPEG-2は、DVDの記録などに使われる方式です。MPEG-4 AVC／H.264は、ハイビジョン画質の映像の記録などに使われる方式です。

**NTSC**

日本やアメリカなどで採用されているテレビ方式です。ヨーロッパなどで採用されているPALまたはSECAM方式とは互換性がないため、ヨーロッパなどで買ってきたDVD-Videoは視聴できないことがあります。

**PINコード**(ピンコード)

Personal Identification Numberの略で、個人の識別や認証に用いられる番号のことです。

**SSID**

Service Set IDentifierの略で、無線LANルーターと接続するためのアクセスポイントを識別するためのIDのことです。

**USB-HDD**(ユーエスビーハードディスクドライブ)

USB端子付きの外付けHDDです。USBケーブルを使って本機背面のUSB端子につなぐことができます。

**USB機器**

主に本機のUSB端子に接続されたUSBメモリーを指します。動画の再生や、JPEGファイルの再生も可能です。

**USBハブ**

USB機器を複数接続するためのハブのことでUSBハブを使うとUSBポートを増やすことができます。

# 用語の説明(つづき)

## あ

**アッテネータ**

信号を弱くする装置(減衰器)のことです。設定を**[入]**にすると強すぎる信号レベルが適正なレベルになり、信号品質が良くなるときがあります。

**アンテナレベル**

地上／BS･110度CSデジタル放送の放送電波の受信強度をあらわしたもので、一定レベル以上の電波が受信できれば視聴が可能になります。

**お知らせメール**

本機や放送局から送られてくるメールや、110度CSデジタル放送に関する情報や案内が記載されたボード(掲示板)のことです。

## か

**画面表示**

視聴中や再生中の番組情報や、再生中や録画中などの本機が動作している状態が表示されます。

**かんたん一括設定**

ホーム **➡[設定／お知らせ]➡[放送受信設定]➡[かんたん一括設定]**で、以下の設定をやり直すことができます。

チャンネル設定／ネットワーク設定／その他設定

**機能設定**

映像や音声、接続および本機を活用するためのいろいろな各種設定･変更ができます。

**緊急警報放送**

緊急警報放送とは、電波法施行規則第2条で規定する緊急警報信号を使用して、地震など大規模災害が発生した場合や、津波警報が発表された場合など、災害の発生に伴う被害の予防や軽減に役立たせることを目的とした放送です。

**クイック起動**

電源「入」時に本機が使用できるまでの時間を短縮します。故障の原因となりますので、電源プラグをコンセントから抜く場合は、できるだけ**[クイック起動]**を**[切]**に設定して、本機の電源を切ってから抜くことをおすすめします。

**降雨対応放送**

衛星放送では、雨の影響で電波が弱くなったとき急激に画質が劣化することがあります。BSデジタル放送では、最低限必要な情報は電波が弱くなっても受信できるようなデータを送ることができます。降雨対応放送が行われている場合は、電波が弱くなると引き続き受信できるように降雨対応放送へ自動的に切り換わります。降雨対応放送では少し画質、音質が悪くなり、番組情報などのデータも表示されない場合もあります。

**コピーワンス番組**（1回だけ録画可能番組）

地上／BS･110度CSデジタル放送の番組は、何度コピーしても画質が落ちないため、著作権保護･違法コピー防止のため、放送局側が録画回数を制限して放送できるようになっており、1回だけ録画することが許可されている番組のことをコピーワンス番組といいます。

## さ

**サブネットマスク**

IPアドレスのうちネットワークアドレスとホストアドレスを識別するための数値のことで、同じLAN(同じネットワーク)にいる相手なのかどうかを判断するために利用されます。

**視聴制限**

デジタル放送で設定された視聴を制限するための機能です。レベルの強弱によって、暴力シーンなどを子供に見せないように設定できます。

**スライドショー**

選択した一連の画像(写真)を順次表示する動作のことです。

**双方向通信サービス、通信**

視聴者が自宅にいながら、クイズ番組への参加、アンケートの回答、買い物などをすることができます。利用するためにはネットワークの接続と設定が必要です。



次ページへつづく

## た

**ダウンロード**

ソフトウェアなどを、サーバーからネットワークなどを使って機器に転送することです。

**チューナー**

放送電波を受信する装置のことです。

本機には地上デジタル用と衛星放送用の2種類が搭載されています。

**データ放送**

お客様が見たい情報を選んで画面に表示させることなどができます。例えば、お客様がお住まいの地域の天気予報をいつでも好きなときに表示させることができます。

また、テレビ放送や、ラジオ放送に連動したデータ放送もあります。

その他に、ネットワークを使用して視聴者参加番組、ショッピング、チケット購入などの双方向(インタラクティブ)サービスなどがあります。

**デジタルハイビジョン**

デジタル放送のハイビジョン画質のテレビ放送です。

有効走査線数1080本です。

**デフォルトゲートウェイ**

LANなどの内部のネットワークから、外部にあるネットワークに通信を行うときに、出入り口の役割を果たすためのネットワーク設定のことです。

**伝送レート**

ビットレートともいいます。数値が高いほど高画質になります。

**同軸ケーブル**

電気信号を転送するための電線の一種です。テレビのアンテナ用ケーブルによく用いられます。

**独立データ放送**

番組の内容と関係なく、ニュースや天気予報、株価といった情報を視聴することができる放送サービスのことです。

## は

**ハイビジョン画質、HD(エイチディー)放送**

HDはHigh Definitionの略で、ハイビジョン画質のデジタルテレビ放送です。有効走査線数は720本または1080本です。

SD放送(Standard Definition)と呼ばれる標準画質よりも、高画質・高音質な映像・音声が楽しめます。

**番組表**

放送を予定している番組を、各放送局と放送時間に分けて表形式でまとめている一覧です。個々の番組を選ぶと、詳細情報を見たり、録画を予約したりすることができます。

**ファイル**

お持ちのビデオカメラで撮影した動画やデジタルスチルカメラで撮影したJPEGファイルなどの総称です。

**ブロードバンド**

高速通信ができるインターネット接続サービスのことをいいます。

**プロキシ**

プロキシとは「代理」という意味があり、プロバイダーから指示があるときは、プロキシを設定する必要があります。

**分波器**

アンテナ線からの信号を地上デジタルとBS・110 度CSデジタル信号に分ける機器のことです。

**放送受信設定**

地上デジタル放送のチャンネルやアンテナなど、お住まいの地域に合わせて設定する機能を指します。

**放送の種類**

地上デジタル放送は、地上にあるデジタル方式の無線局から放送信号を受信するテレビ放送のことです。BS放送のBSとは、Broadcast Satelliteの略で、放送衛星を用いたテレビ放送のことです。また、110度CSデジタル放送のCSとは、Communication Satelliteの略で、通信衛星を用いたテレビ放送のことです。BS、CSいずれの放送信号も、東経110度にある衛星のアンテナから受信しています。

**ホームメニュー**

本機の主たる機能を一覧で表示させるメニュー画面のことです。

**ホームネットワーク**

家庭内にある家電・モバイル・パソコンなどを相互につないだネットワークのことです。

# 用語の説明(つづき)

## ま

**マルチ番組**（マルチビュー）

1チャンネルで主番組、副番組の複数映像が送られる放送です。例えば、野球放送の場合は、主番組は通常の野球放送、副番組でそれぞれのチームをメインにした野球放送が行われます。

**無操作電源オフ**

電源「入」状態で本機を使わないとき、節電のために自動的に電源を切るかどうかの設定が行えます。

**メッセージ**

本機で処理された結果や注意を促したい場合に、それらの情報を画面に表示します。また、システムにエラーが発生した場合は、エラーメッセージが画面に表示されます。

**文字スーパー**

設定された言語(日本語または英語)で表示される文字情報のことです。ニュース速報や気象警報発令時などでは強制的に表示される場合もあります。

**文字入力**

番組名の変更や番組検索、通信設定などに使用します。

## や

**有料放送事業者**

別途料金がかかる放送事業者のことです。WOWOWやスカパー！などがあります。

## ら

**ラジオ放送**

BSデジタル放送および110度CSデジタル放送で行われているラジオ放送のことです。番組によって音楽用CD並みの高音質なラジオ放送を楽しむことができます。

**リモコン**

本機と離れた場所から、遠隔で操作･制御できる小型の操作盤(ユニット)を指します。

**録画**

放送中の番組や外部入力からの映像･音声信号を記録することを指します。

# 無線LANを使う際のお願い

- 本機は、日本国の電波法に基づく無線設備（無線LAN）を内蔵しています。
- 本機に搭載されている無線LAN設備は、日本国内専用です。海外で使用することはできません。
- 本機の無線LANが使用する周波数帯は2.4GHz帯と5GHz帯ですが、他の無線機器も同じ周波数を使用している場合があります。本機の内蔵無線LANをお使いになる際は、他の無線機器との間で電波干渉が発生しないように、以下の注意事項に留意してご使用ください。

本機の無線LANが使用する周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

無線LANを使用する場合は、以下をお読みください。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、すみやかに無線LANの使用を停止し、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいは、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、下記のお客様ご相談窓口へお問い合わせください。

**連絡先：船井電機　お客様ご相談窓口**

固定電話からのご利用は

**0120-055-271**（通話料：無料）

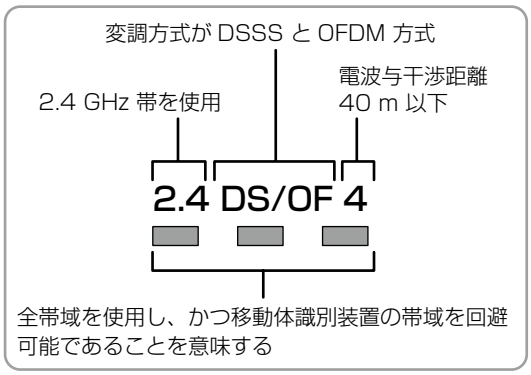
携帯電話からのご利用は

**0570-008-271**（通話料：有料）

※ 間違い電話が増えております。電話番号をよくお確かめのうえ、おかけいただきますようお願いいたします。

- 5GHz帯の電波を使用して、屋外で通信しないでください。5GHz帯の無線設備を屋外で使用することは、法令により禁止されています。屋外で本機の無線LANを使用する場合は、5GHz帯を使用せずに2.4GHz帯をご使用ください。

- 本機背面の定格銘板に記載されている周波数表示は、以下の内容を示しています。




- 本機の無線LANは、以下の規格にも対応しています。ご使用になる無線LANアクセスポイントも、この規格に対応した製品をお使いください。

**IEEE802.11b／g／n**

**IEEE802.11a／n／ac**

~~J52~~ **W52** **W53** **W56**

| 規格 | | チャンネル | 周波数帯（中心周波数帯） |
|---|---|---|---|
| IEEE802.11 b／g／n | | 1 ～ 13 | 2.412 ～ 2.472GHz |
| IEEE802.11 a／n／ac | W52 | 36,40,44,48 | 5.18 ～ 5.24GHz |
| | W53 | 52,56,60,64 | 5.26 ～ 5.32GHz |
| | W56 | 100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140 | 5.50 ～ 5.70GHz |

※ 本機は従来の無線規格であるJ52には対応していません。

- 無線LANの性能や環境条件による影響など。
  - 無線LANのデータ転送速度は、通信距離・障害物などの環境条件、電子レンジなどの電波環境要素、ネットワークの使用状況などに影響されます。
  - 本機はIEEE802.11a／b／g／n／acの規格に準拠していますが、すべての無線LAN機器との接続や通信を保証するものではありません。
  - 2.4GHz帯の機器（電子レンジなど）をお使いの場合は、無線LANの通信が途切れることがあります。
  - 2.4GHz帯の無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、USB3.0対応のUSB-HDDを使用すると、無線LAN通信が途切れることがありますので、USB-HDD、USBハブおよびUSBケーブルは本機内蔵の無線LANアンテナ部からできるだけ離して配置してください。
  - 5GHz帯に対応した無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。

## 無線LAN製品ご使用における セキュリティに関するご注意

- 無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁など)を超えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合は、以下のような問題が発生する可能性があります。

**通信内容を盗み見られる**
- 悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、メールなどの通信内容からIDや暗証番号またはクレジットカード番号などの個人情報を盗み見る可能性があります。

**不正に侵入される**
- 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す(情報漏えい)、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)、傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)、コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)などの行為をされてしまう可能性があります。

- 本来、無線LAN製品はセキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで上記問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身が判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

### ▷本機は日本国内専用です
- 本機を使用できるのは日本国内だけです。
This apparatus is designed for use in Japan only.

### ▷取扱いに関すること
- 非常時をのぞいて、電源が入っている状態では絶対に電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。
- 故障の原因となりますので、電源プラグをコンセントから抜く場合は、できるだけ**[クイック起動]**を**[切]**に設定して、本機の電源を切ってから抜くことをおすすめします。
- 引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃や振動を与えないでください。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはがれたりする原因となります。
- たばこの煙や煙を出すタイプの殺虫剤、ほこりなどが機器内部に入ると故障の原因となります。
- 長時間ご使用になっていると上面や背面が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- 本機は精密電子機器です。長くご愛用いただくためにできるだけ丁寧に取り扱ってください。

### ▷使用しないときは
- ふだん使用しないとき
電源を切ってください。
- 長期間使用しないとき
電源プラグを抜いてください。

### ▷置き場所に関すること
- 本機は水平で安定した場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いているところなど不安定な場所で使わないでください。本機を設置する場所は、本機の重さが十分に耐えられることを確認してください。また本機が転倒や落下した場合に、けがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。
- 本機を他のテレビやラジオなどの近くに置く場合は、本機を使用中、組み合わせによっては画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合は、他のテレビやラジオなどからできるだけ離してください。
- 直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど温度が高くなる場所や、熱源になるような機器の上には置かないでください。故障の原因となります。

# 著作権などについて

### ▷商標・登録商標について

- TiVo、Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米国TiVo Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
  Gガイドは、米国TiVo Corporationおよび／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
  米国TiVo Corporationおよびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- HDMIとHDMI High-Definition Multimedia Interface用語およびHDMIロゴは、米国およびその他国々において、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。
- 本製品に搭載されている「UD新ゴR」、「UD新丸ゴR」は、株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。
- ACCESS、ACCESSロゴ、NetFront、NetFrontロゴは日本国、米国及びその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。© 2017 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

ACCESS™ NetFront®

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Audioおよびダブルd 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

DOLBY AUDIO™

- Sonic Emotion and sonic emotion are registered trademarks of sonic emotion ag.
- SeeQVault text and logo are trademarks of NSM Initiatives LLC.

SeeQVault™

NETFLIX

- Netflixは、Netflix, Inc.の登録商標です。

YouTube

- YouTube™およびYouTubeロゴ、Androidは Google Inc.の商標または登録商標です。

YouTube and the YouTube logo, Android are trademarks of Google Inc.

dTV

- 「dTV」は、株式会社NTTドコモの商標です。

U-NEXT

- 「U-NEXT」とU-NEXTロゴは株式会社U-NEXTの商標または登録商標です。

- 本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客さまが個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用をのぞいてはライセンスされておりません。詳細については米国法人MPEG LA, LLC（http://www.mpegla.com）をご参照ください。
  - AVC規格に準拠する動画を記録する場合
  - 個人的かつ非営利活動に従事する消費者によって記録されたAVC規格に準拠する動画を再生する場合
  - ライセンスを受けた提供者から入手されたAVC規格に準拠する動画を再生する場合

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

# 著作権などについて（つづき）

## ▷ソフトウェアについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数のソフトウェアコンポーネントで構成されています。それぞれ当社または第三者の著作権が存在します。

- 本製品は、FreeTypeを使用しています。

Portions of this software are copyright (C) 1996-2000 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.

- 本製品は、OpenSSLを使用しています。

OpenSSL License
This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)
Original SSLeay License
This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

- 本製品は、ntpdateを使用しています。

Copyright (C) University of Delaware 1992-2009
Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both the copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name University of Delaware not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. The University of Delaware makes no representations about the suitability this software for any purpose. It is provided “as is” without express or implied warranty.

- 本製品は、libxml2を使用しています。

libxml2 is free software available under the MIT License.
The MIT License
Copyright (C) 1998-2003 Daniel Veillard. All Right Reserved.
Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions: The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.
THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser NX、NetFront Browser DTV Profile BML Edition、NetFront DRM Client Marlin IPTV-ES Edition、NetFront Media Playerを搭載しています。
- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

本製品には、以下のオープンソースのソフトウェアが搭載されています。

- 第三者の著作権が存在し、フリーソフトウェアとして配布されるソフトウェア
- GNU General Public License（以下、GPL）に基づき利用許諾されるソフトウェア
- GNU Lesser General Public License（以下、LGPL）に基づき利用許諾されるソフトウェア

本製品に組み込まれたGPLソフトウェアおよびLGPLソフトウェアについて、お客様にこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。当該ソースコードは現状有姿で提供され、当社は、当該ソースコードに関し、第三者の権利を侵害していないという保証、特定目的への適合性についての保証など、いかなる保証責任または担保責任も負いません。また、当該ソースコードに関して発生するいかなる問題も、お客様の責任と費用負担で解決されるものとします。詳細については、ホーム ➡ **[設定／お知らせ]** ➡ **[ライセンス情報]** でご確認いただけます。

組み込まれたGPLおよびLGPLのオープンソースのソフトウェア・リストおよびソースコードの入手方法については、以下の連絡先にご連絡ください。

〒574-0013
大阪府大東市中垣内7丁目7番1号　船井電機株式会社
なお、オープンソースのソースコードの内容に関するお問い合わせはご遠慮ください。

当社または第三者が著作権を持つソフトウェアについては、ソースコードの配布対象ではありません。

# さくいん


## 数字・アルファベット順

10 秒戻し …… 100
30 秒スキップ …… 100
ARC（オーディオリターンチャンネル）…… 40
BS・110 度 CS アンテナ …… 36
BSデジタル放送 …… 172
CATV（ケーブルテレビ）放送 …… 64
HDD …… 185
　残量時間表示 …… 98
　初期化 …… 103
HDMI …… 185
　HDMI 接続設定 …… 39
　機器連携設定 …… 140
　HDMI-CEC …… 140
JPEG …… 185
　形式（本機で再生できる JPEG ファイル） …… 105
　JPEG ファイルの再生（スライドショー） …… 108
LAN …… 185
miniB-CAS カード …… 34
　カード情報 …… 78
　有料放送の契約 …… 172
MPEG …… 185
USB-HDD …… 185
　USB-HDD について …… 114
　USB-HDD の登録 …… 119
　名前を変更 …… 122
USB 機器 …… 185
　USB メモリーについて …… 105

## あ

アイコン …… 184
アッテネータ …… 157
アフターサービス …… 175
アンテナレベル …… 157
お知らせメール …… 76
　放送メール …… 76
　CS1 ボード／CS2 ボード …… 77
音声の再生中の切り換え …… 100
音声の視聴中の切り換え …… 54

## か

画面表示 …… 56
画質設定 …… 124
かんたん一括設定 …… 43
機器連携設定 …… 151
クイック起動 …… 163

## さ

再生 …… 98
　一時停止 …… 100
　追っかけ再生 …… 101
　写真（JPEG ファイル） …… 107
　早戻し …… 100
　早送り …… 100
　録画した番組の再生 …… 98
　録画一覧 …… 98
サブネットマスク …… 186
視聴 …… 50
　チャンネルで選局 …… 50
　番組表から選局 …… 69
　本機で受信できる放送 …… 172
　視聴制限 …… 136
　デジタル放送の視聴制限 …… 136
字幕の再生中の切り換え …… 100
字幕の視聴中の切り換え …… 57
スライドショー …… 108
接続 …… 36
　HDMI ケーブル …… 39
　USB-HDD …… 115
　USB 機器 …… 105
　アンテナ線 …… 36
　映像・音声接続コード …… 38
　オーディオ機器 …… 40
　電源プラグ …… 42
設定の初期化 …… 167
双方向通信サービス、通信 …… 172
ソフトウェア …… 192

## た

ダウンロード …… 169
　バージョンを確認 …… 169
　デジタル放送電波で更新 …… 165
　サーバーで更新 …… 169
データ放送 …… 52
デフォルトゲートウェイ …… 187
独立データ放送 …… 52

## な

ノイズ補正 …… 126

## は

HD 放送（ハイビジョン画質） …… 185
番組表 …… 60
　受信 …… 64
　番組の詳細内容 …… 68
付属品 …… 25
ブロードバンド …… 70
プロキシサーバー …… 148
放送受信設定 …… 152
放送の種類 …… 187
ホームメニュー …… 72
ホームネットワーク …… 187
本機 …… 16
　前面 …… 16
　背面 …… 17

## ま

マルチ番組 …… 188
　視聴中の切り換え …… 74
無操作電源オフ …… 135
無信号電源オフ …… 135
メッセージ …… 182
文字スーパー …… 159
文字入力 …… 120

## や

有料放送事業者 …… 188

## ら

リモコン …… 15
　乾電池の入れかた …… 25
　ボタン名とはたらき …… 22
録画番組 …… 98
　消去 …… 103
　録画一覧 …… 98
　保護 …… 101
録画予約 …… 87
　ワンタッチ録画 …… 87
　番組検索 …… 65
　番組表予約 …… 88
　毎週／毎日録画 …… 89
　予約が重なったとき …… 95
　予約の取り消し …… 93
　予約を修正 …… 92
　予約を確認 …… 92
　録画制限 …… 94
　録画の停止 …… 87

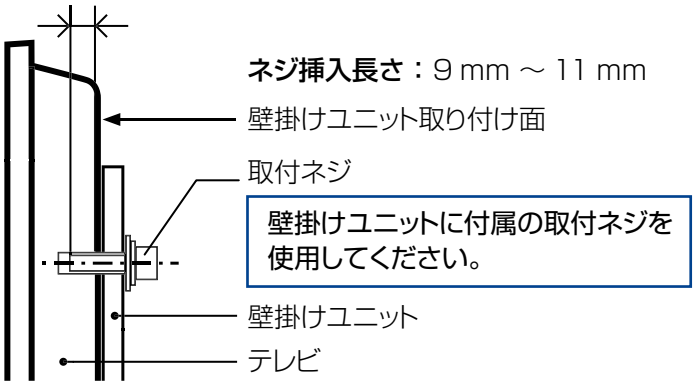
# 壁掛けユニット取り付け時について

## 壁掛けユニット（市販品）取り付け時の注意

- 壁掛け工事は必ず専門業者に依頼してください。
- 壁掛けの場合は、通風孔からの空気の流れにより、壁を汚す原因となる場合があります。
- 壁掛け工事が不完全ですと、けがの原因になります。
- 壁掛けユニット（市販品）を取り付ける際は、壁掛けユニットに付属の取付ネジを使用してください。
- 壁掛けユニットに付属の取付ネジ以外は使用しないでください。
- 壁掛けユニット取り付け面からのネジ挿入長さは下図のように設定されています。
- 必ず設定範囲内の長さのネジを使用して取り付けてください。
- ケーブルの端子形状／サイズによっては壁面と干渉しご使用できません。設置前にご確認ください。

**FL-65UP5000 ／ FL-55UP5000 ／ FL-49UP5000**
**FL-65UD4100 ／ FL-55UD4100 ／ FL-49UD4100 ／ FL-43UB4000**

**ネジ挿入長さ**




**取り付け部断面図**

**⚠注意**

**ネジの長さが短すぎるとテレビの重さを維持することができず、落下してけがの原因となることがあります。また、長すぎるとネジを完全に締めることができません。壁掛けユニット取り付け面からのネジの長さは非常に重要です。**

※ 本機に対応する壁掛けユニットについては、当社のホームページ（funai.jp/cs/）でご確認ください。

FUNAI

船井電機株式会社

AA88ZJH-65UX
AA8RZJH-55UL
AA81ZJH-49UL
A628AJH-65UX
A62RAJH-55UL
A621AJH-49UL
AA8V0JT-43UL
バージョン：3.5